

社会福祉法人 三徳会

令和4年度事業報告書

令和4年4月1日～令和5年3月31日

(2022.4.1～2023.3.31)

介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）成幸・戸越台・荏原・平塚橋
通所介護事業（デイサービス）成幸・戸越台・荏原・小山
短期入所生活介護施設（ショートステイ）成幸・戸越台・荏原・平塚橋
在宅介護支援センター（居宅介護支援事業、老人介護支援センター、地域包括支援センター）
成幸・戸越台・杜松・荏原・小山・小山台
障害者計画相談支援事業所（特定相談支援事業）荏原
高齢者多世代交流支援施設（ゆうゆうプラザ）平塚橋

目 次

(頁)

1 概 要	1
2 役員会	2
3 施設整備の主なもの	6
4 法人事務局	8
5 施設運営局	13
1. 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）成幸・戸越台・荏原・平塚橋	13
2. 通所介護事業（デイサービス）成幸・戸越台・荏原・小山	25
3. 短期入所生活介護事業（ショートステイ）成幸・戸越台・荏原・平塚橋	34
4. 在宅介護支援センター（居宅介護支援事業、老人介護支援センター、 地域包括支援センター）成幸・戸越台・杜松・荏原・小山・小山台	39
5. 障害者計画相談支援（特定相談支援事業）荏原	42
6 高齢者多世代交流支援施設（ゆうゆうプラザ）平塚橋	43
7 安全への取り組み	45
8 研修報告	46
9 地域活動	47
10 その他	48
11 業 績	48
12 新型コロナウイルス感染症の対応	49

資料編

1. 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	53
1) 令和4年度の利用者動向	53
2) 利用者の入退所状況	56
3) 利用者の日常生活自立度	65
4) 家族などの訪問(面会)者数・外泊状況	65
5) 三徳懇談会	66
6) セルフチェックシート（自己評価表）	68
栄養・調理	
7) 個別の栄養状態に着目した栄養ケアマネジメントに基づいた特別な対応	71
8) 残菜・嗜好調査	72
9) 選択食、団らん食、お楽しみ食、その他	73
10) 栄養出納表（年間平均）	77
健康管理	
11) 受診状況	78
12) 利用者の診断病名	79
13) 入院・退所状況	80

14) 入院者病名および件数	80
15) その他	81
16) 機能訓練	82
2. 在宅サービス	84
1) 年間利用者状況	84
①通所介護事業（デイサービス）	84
②短期入所生活介護事業（ショートステイ）	100
2) 機能訓練	104
3) 食事サービス（ショートステイ・デイサービス・配食）	104
4) 健康管理	105
5) 栄養調理	106
3. 在宅介護支援センター（居宅介護支援事業、老人介護支援センター、 地域包括支援センター）	108
1) 年間利用者状況	108
2) 介護保険利用者状況	120
3) 障害者計画相談支援	132
4) 認知症サポーター養成事業・認知症サポーターレベルアップ事業	134
4. 高齢者多世代交流支援施設（ゆうゆうプラザ）	135
1) 各事業参加状況	135
2) 地域ミニデイ実施状況	136
3) 利用者状況	138
5. 防災	140
1) 防災委員会の開催	140
2) 防災訓練の実施	142
6. 委員会活動	144
1) 苦情解決・サービス向上委員会	144
2) 安全衛生委員会	146
3) 給食委員会	148
7. その他	150
1) 研修報告	150
2) 実習生受入れ	157
3) 見学	158
4) 近隣との交流	158
5) ボランティア事業報告	159
6) 令和4年度行事表	161

1 概 要

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症がより感染力の強いオミクロン株に変異した影響を受けた。当法人において11件のクラスターが発生し、200名を超える施設利用者・職員が罹患した。

特別養護老人ホームは、クラスターの影響もあり、当初目標としていたベッド稼働率が達成できなかった。デイサービス、ショートステイでは、新規利用者の減少等もあり目標稼働率を大きく下回る結果となった。

このような厳しい状況のなか三徳会は、令和4年に創立40周年を迎えた。法人は創立以来、「正義」、「友愛」、「奉仕」をミッションとし、「福祉はサイエンス」を基本方針として地域福祉の一翼を担うべく邁進してきた。40周年を記念した座談会として5月に「高齢者の福祉～人生100年時代の生きかた～」、6月には「多世代の福祉～子どもから高齢者を対象とした言語・聴覚相談～」を開催した。令和4年は法人創立40年という節目を迎え、この先の10年を見据えた事業運営に軸足を置き、将来に向かい事業承継と発展への方針を定めた。

また、法人組織の再構築に向けて、理念や組織目標を達成できる体制づくりの検討を重ねるとともに、役職者の責任体制の明確化、事業部制の廃止を行った。さらに、内部管理体制を確立するため、内部管理体制の基本方針の制定および関連規程の改正を行った。

令和3年度から始動した「経営改善プロジェクト」は、安定した経営基盤を築くため、次世代のリーダーを中心としたメンバーで構成され「人材確保」、「利用者満足度の向上」、「業務の改善」をテーマに、行動計画を策定した。「人材確保」については、介護職員の離職を防ぐと共に、就職希望者には随時面接を実施し、遠距離からの応募にはリモートを駆使するなど、機会を逃すことなく対応した。

さらに、事務局に専任の採用担当者を配置したことで、迅速かつきめ細やかな対応が可能となり「品川区外国人受入環境整備補助」を活用した採用が円滑に進み、ミャンマーとインドネシアの9名の採用を始め、介護職経験のある入職者が増加した。法人の全事業所は「T O K Y O働きやすい福祉の職場」に認証され、東京都福祉人材バンクシステム「ふくむすび」に掲載された。

荏原ホームでは令和5年8月に着工する大規模改修工事に向け、実施設計を策定した。工事期間は2年8ヵ月におよぶため、関連部署が「居ながら工事」に向けての準備を開始した。

戸越台ホーム、平塚橋ホームを中心にI C T化の検討を行い、ナースコールと介護記録システムの連動や、自動音声入力ソフトを使った業務効率化を目指した。

2 役員会

1) 令和4年度評議員会の開催状況および審議の概要は、次の通りである。

開催日時	審議事項
第74回定時評議員会 令和4年6月25日(土) 平塚橋ホーム 1階 コミュニティ室	1. 令和3年度決算報告書(案)および監事監査報告について 2. 理事の選任について ※報告事項 ①令和3年度事業報告について
第75回評議員会 令和4年12月3日(土) スクエア荏原 3階 会議室	1. 令和4年度第一次補正収支予算(案)について ※報告事項 ①社会福祉法人三徳会事務局内部における会計処理について ②新型コロナウイルス感染症発生について ③令和4年度(9月末)収支状況報告について ④顧問の選任について
第76回評議員会 令和5年3月18日(土) スクエア荏原 3階 会議室	1. 令和4年度第二次補正収支予算(案)について 2. 理事の選任について 3. 令和5年度事業計画(案)について 4. 令和5年度収支予算(案)について ※報告事項 ①新型コロナウイルス感染症について

2) 令和4年度理事会の開催状況および審議の概要は、次の通りである。

開催日時	審議事項
第222回理事会 令和4年6月4日(土) 平塚橋ホーム 1階 コミュニティ室	1. 令和3年度事業報告(案)について 2. 令和3年度決算報告書(案)および監事監査報告について 3. 理事候補者の推薦について 4. 第74回定時評議員会の開催について
第223回理事会 令和4年8月6日(土) (書面開催)	※報告事項 ①社会福祉法人三徳会 令和4年度 事業計画の進捗状況について
第224回理事会 令和4年10月1日(土) 荏原ホーム 2階 多目的室	1. 社会福祉法人三徳会 運営管理規程の一部改正(案)について 2. 社会福祉法人三徳会 非常勤職員就業規則の一部改正(案)について 3. 第75回評議員会の開催について ※報告事項 ①社会福祉法人三徳会事務局内部における会計処理について
第225回理事会 令和4年12月3日(土) スクエア荏原 3階 会議室	1. 令和4年度第一次補正収支予算(案)について 2. 顧問の選任について 3. 第76回評議員会の開催について ※報告事項 ①新型コロナウイルス感染症発生について ②令和4年度(9月末)収支状況報告について ※協議事項 ①組織体制の再構築(案)について
第226回理事会 令和5年3月18日(土) スクエア荏原 3階 会議室	1. 令和4年度第二次補正収支予算(案)について 2. 令和5年度委託業務契約(案)について 3. 理事候補者の推薦について 4. 組織規程の制定(案)について 5. 業務運営組織管理規程の廃止について 6. 定款施行細則の一部改正(案)について 7. コンプライアンス管理規程の一部改正(案)について 8. 内部管理体制の基本方針の制定(案)について 9. 就業規則の一部改正(案)について 10. 非常勤職員就業規則の一部改正(案)について 11. 給与規程別表の一部改正(案)について 12. 令和5年度事業計画(案)について 13. 令和5年度収支予算書(案)について ※報告事項 ①新型コロナウイルス感染症について

3) 令和4年度監事監査の開催状況の概要は、次の通りである。

開催日時	開催状況
監事監査 令和4年5月23日(月) 荏原ホーム 2階 多目的室	1. 各サービスの事業状況、会計についての監事監査

4) 役員等名簿

理事長	内野滋雄	医療福祉関係者	
理事	鈴木恂子	医療福祉関係者	
〃	井上幸彦	学識経験者	
〃	内野正隆	医療福祉関係者	
〃	村和男	学識経験者	
〃	小林光俊	医療福祉関係者	
〃	山口由美子	施設長代表	
〃	野村寛	医療福祉関係者	【令和4年6月25日退任】
〃	西村信一	医療福祉関係者	【令和4年6月25日就任】
〃	小濱哲二	医療福祉関係者	【令和5年3月18日就任】
任期	令和3年6月26日～令和5年定時評議員会		

評議員	酒井隆	医療福祉関係者	
〃	阿世知堯	地域の代表者	
〃	武藤健一	医療福祉関係者	
〃	國分幹郎	地域の代表者	
〃	宮坂衛	家族代表	
〃	高橋初美	家族代表	
〃	谷口政隆	学識経験者	
〃	宮良恵美子	家族代表	
〃	片岡玲子	学識経験者	
〃	平田実	学識経験者	
〃	戸田光則	地域の代表者	
任期	令和3年6月26日～令和7年定時評議員会		

監事	銅谷勝子	医療福祉関係者	
〃	碓井憲男	学識経験者	
任期	令和3年6月26日～令和5年定時評議員会		

3 施設整備の主なもの

1) 成 幸

【工 事】	(単位：千円)
1 C A T V増幅器交換工事	2 9 7
2 館内エアコン部品交換修理	2 8 7
3 床走行リフト修理	2 6 9
4 給湯器部品交換修理	2 6 5
計	<u>1, 1 1 8</u>

【備品購入】	(単位：千円)
1 温冷配膳車 1台	3, 0 0 3
計	<u>3, 0 0 3</u>

2) 戸越台

【工 事】	(単位：千円)
1 利用者室空調用リモコン交換工事	6 5
2 7階汚物流し排水つまり修理工事	2 6
計	<u>9 1</u>

【備品購入】	(単位：千円)
1 ベッドセンサー付きベッド 1台	3 5 1
2 歩行器 3台	1 0 9
3 エアマット 1台	1 0 5
計	<u>5 6 5</u>

3) 荏原

【工 事】	(単位：千円)
1 小山の家内装改修工事	778
2 荏原複合施設自動フラッシュバルブ取替	732
3 荏原複合施設非常照明誘導灯および消火設備部品等修繕	428
4 荏原複合施設特養3階・4階電気錠制御盤用UPS交換工事	264
5 荏原複合施設特養洗濯室回転乾燥機修理	253
6 荏原複合施設中水加圧給水ポンプ分解修繕	230
7 荏原複合施設特養浴槽ろ過装置修繕	215
計	<u>2,900</u>

【備品購入】	(単位：千円)
1 食器洗浄機	7,873
2 コピー機	396
3 エアーマットレス 3台	365
4 車椅子 2台	278
5 業務用ミキサー	122
6 リネンワゴン	112
計	<u>9,146</u>

4) 平塚橋

【工 事】	(単位：千円)
1 非常用発電機修理代	693
2 1階厨房用室外機部品等修繕	341
3 介護用リフト修理 (バッテリー、ケーブル交換)	337
計	<u>1,371</u>

【備品購入】	(単位：千円)
1 見守りシステム 3台	990
2 デスクトップパソコン 1台	190
計	<u>1,180</u>

4 法人事務局

国が推進するクラウド化・ペーパーレス化を踏まえ、業務改善プロジェクトと連携し、「勤務変更届」の省略化を実施した。またグループウェア（サイボウズ）を活用し、ネット上における情報共有の充実に取り組んだ。

また、事業計画にはなかったが、人材確保のを強化に取り組んだ。

1) 人材育成による組織力の強化

法人全体では、人材の多様性の視点も踏まえ、新たに外国人材を9名採用し、定期的な集団研修を行い、事業所を超えたコミュニケーションの機会を設けた。また精神的に孤立しないよう支援し、生活の支援も行った。

人材育成を強化するため介護職員の資格取得支援を行い、職員のスキルアップに努めた。

東京都福祉保健局「働きやすい福祉の職場宣言」事業に参加し、認証を受けた。また「働きやすい福祉の職場宣言コーディネーター派遣事業」に参加し、全職員対象に「組織」という視点で研修を実施した。

また、グループウェア（サイボウズ）の利用範囲の拡大により、情報伝達・共有機能の充実を図った。

人材確保につながるよう、「TOKYOかいごチャレンジインターンシップ」等、新たに東京都の事業に参加し、年間をとおして三徳会の認知度向上に努めた。多方面へのアプローチが功を奏し、三徳会ホームページへのアクセス件数が増加し、その結果、採用者が増加した。その一方、採用人数を上回る離職者があり、人材確保のみならず、定着、育成に向けた取組みの重要性を認識させられた。

2) 各事業計画の理解と柔軟な対応力の強化

新たに採用した職員の人材育成等が優先となり、当初計画していた各係における研修計画には着手することができなかった。

職務範囲の明確化という係制の利点を認識する一方、法人の円滑な運営のため担当者不在時も柔軟な対応が可能となるよう、事務局会議において係制を一部見直すことを確認した。

3) DXの推進および事務のデジタル集中処理体制に関する整備

社会保険料定時決定手続き等のオンライン化を実施することにより、紙による提出に比べ業務の効率化が図られた。

同様にインターネットバンキングの利用を促進し、業務の効率化を図った。

※DX：デジタル技術を用いた業務フローの改善

4) ICT機器の活用による業務推進

事務職員のITスキルの向上が必須であると考え計画の一つであったが、思い通りにITスキルアップを進めることができず、積み残しの課題となった。

5) 職員等の状況

令和5年3月31日現在の職員数

正職員	220	名
嘱託職員	15	名
非常勤職員	105	名

6) 職員の採用実績

正職員

(単位：人)

採用実績(正職員)	介護職員	介護補助等職員	看護職員	訓練指導員	相談員	栄養士	事務職員	計
令和4年4月1日採用	—	—	—	2	—	—	—	2
対象年度中途採用	11	—	3	—	1	—	3	18
計	11	—	3	2	1	—	3	20

非常勤職員

(単位：人)

採用実績(非常勤職員)	介護職員	介護補助等職員	看護職員	訓練指導員	相談員	栄養士	事務職員	計
対象年度中途採用	12	5	4	1	1	—	—	23

7) 職員の退職

年度内の正職員離職率 9.7%

(単位：人)

雇用形態	介護職員	介護補助等職員	看護職員	訓練指導員	相談員	栄養士	事務職員	計
正職員	13	—	—	2	1	—	3	19
非常勤職員	10	8	5	1	—	1	—	25
計	23	8	5	3	1	1	3	44

8) 育児・介護休業取得の状況

令和5年3月31日現在、育児休業中の職員は2名、うち6か月以上育児等休業をしていた職員は1名であった。

法人事務局 事務課 事業報告
(運営管理係)

《重点目標》

1. 施設の円滑な運営のため、建物・設備の維持管理
2. 各種災害に対応できるようなBCPの更新等
3. 施設内ネットワークや情報通信機器等を管理

1. 施設の円滑な運営のため、建物・設備の維持管理

令和5年度以降の荏原複合施設大規模改修工事の工事期間中の業務が円滑に行われるように、打ち合わせ等に参加し、工事全体の流れを把握した。

令和4年度小山の家の改修の手続きや引っ越し先でのPC設定等を行い、小山の家の業務が円滑に行われるようサポートした。

また、法人全体においては維持管理に努め、特に大きな修繕は発生せず、来年度への計画に円滑につなげた。

2. 各種災害に対応できるようなBCPの更新等

新型コロナウイルス感染症対応に追われ、各種災害に対応できるBCPの更新までは、着手できなかった。

品川区から指定を受けている福祉避難所について、品川区と連携し、「福祉避難所開設・運営マニュアル」を作成した。

3. 施設内ネットワークや情報通信機器等を管理

通常の管理は滞りなく管理でき、また、ネットワークの中心のルーターの交換を全拠点で行った。機器の交換により、ネットワークの不具合のリスクは軽減された。

施設でのICT化推進のため、戸越台および平塚橋において打ち合わせ等を行い、区と調整し、令和5年度に戸越台において実施できるよう進めた。

法人事務局 事務課 事業報告
(人事総務係)

《重点目標》

1. 緊急時にも業務が止まらない係運営
2. 労務管理業務の知識習得およびデジタル技術の活用促進
3. 業務のペーパーレス化および労務管理の電子化の促進

1. 緊急時にも業務が止まらない係運営

- ・依然として収束しないコロナウイルス感染症に伴う事務手続、通勤災害等の急務である事象が増加した年であったが、迅速に手続きを行った。
- ・経営改善プロジェクトの連携、勤怠管理について見直しを行い、「勤務変更届」のペーパーレス化を実行した。
- ・外国人人材確保および未経験者のインターンシップ事業に参画する等、多様な人材の活用を図った。

2. 労務管理業務の知識習得およびデジタル技術の活用促進

- ・デジタル技術の活用については、令和3年度に導入を開始した給与等の新システムを軌道に乗せることができた。システム上からの届出が可能なものもあり、業務効率は上昇した。
- ・係間で共有の強化、統一化された事務手続きを図ってきたが、担当者不在時の円滑な業務遂行体制について検討を始め、次年度へ向け、新しい体制づくりを図った。
- ・法改正への対応は当然ながら、既存の規定についても「働きやすい環境づくり」を視点に休日数の増加および年休付与時期等の見直しを図った。

3. 業務のペーパーレス化および労務管理の電子化の促進

- ・給与等の新システムにより、給与明細のペーパーレス化、WEB照会を実施し、効率化を図った。
- ・社会保険関連の手続等、従来の紙からWEB上にて提出・確認を実施し、業務の効率化を図った。
- ・ストレスチェック実施方法をWEB方式に変更し、紙による回収作業の省力化、回収率および分析結果がWEB上で確認できるようになり、業務の効率化を図った。

法人事務局 事務課 事業報告
(経理会計係)

《重点目標》

1. 会計処理能力の向上および業務停滞を起こさない仕組みの構築
2. 資金管理の適正化をおよび業務軽減の促進
3. 情報の一元管理と適切な財務状況の把握
4. 社会福祉法等の法令遵守

1. 会計処理能力の向上および業務停滞を起こさない仕組みの構築

- ・同一職員が単独で業務遂行および管理することで生じる弊害を認識し、チェック機能の強化を図った。
- ・事務職員全員を対象とした予算管理の会計研修を実施した。システムの有効活用の必要性を認識することができた。
- ・新人職員の採用に伴い、円滑な業務遂行の継続が優先課題となった。その結果若手職員を含め担当が切磋琢磨し、停滞なく業務遂行した。

2. 資金管理の適正化をおよび業務軽減の促進

- ・積極的にインターネットバンキングを活用し、業務効率の向上と現金取扱いリスクを減少させた。

3. 情報の一元管理と適切な財務状況の把握

- ・財務会計システムを活用し、定期的に財務状況の把握を行った。

4. 社会福祉法等の法令遵守

新人経理担当者には、一から経理規程の説明を行い、社会福祉法人の会計についてのルールを学んだ。

5 施設運営局

1. 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

（成幸・戸越台・荏原・平塚橋）

令和4年度も新型コロナウイルス感染症の猛威にさらされ、イベントやレクリエーションを制限するなどサービスの縮小を余儀なくされた年だった。家族の面会に関しては、感染症の状況に応じてリモート面会や対面式の面会を行ったが、家族からはそろそろ外出させたい等の要望が多かった。

（1）感染症対策

令和2年から始まった新型コロナウイルス感染症の長期化により、利用者、家族、職員にとっては今年度も引き続き忍耐の1年となった。マスク・フェイスシールドの着用、発熱時の感染対策、館内消毒、換気などの感染対策を行った。新型コロナウイルス感染症発生時には、保健所、行政などと連携をとりながら拡大防止に努めた。職員においては、週1回スクリーニング検査を行った。

（2）安定した稼働率の維持とサービスの向上

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響で、入所の手続きに手間取ったり、入所すると面会ができなくなる等の理由で入所の順番がきても断られるケースがあった。

また、施設内での新型コロナウイルス感染症発生により、入所を制限しなければならぬ期間もあるなど、なかなか稼働を安定させることができなかった。

（3）職員の資質向上と人材育成

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響で集合型の勉強会をなかなか開催することができず、オンライン動画を使用して研修を実施した。しかし令和5年3月には新型コロナウイルス感染症が落ち着いてきたため、常勤職員全員を対象とした「組織」をテーマとしたリモート活用での集合型研修を実施することができた。

（4）看取り介護の充実

新型コロナウイルス感染症の影響で対面式の面会ができない時期もあったが、看取り介護の方には感染対策を行ったうえで、居室などで直接面会を実施した。家族からは、最期まで本人が住み慣れた施設で過ごすことができよかった、との意見をいただいた。今後も一人ひとりのニーズに合わせながら看取り介護を行っていきたい。

（5）介護保険法改正への対応

令和4年10月介護報酬改定で介護職員の収入を3%程度（月額9,000円相当）引き上げるための措置として介護職員等ベースアップ等支援加算が創設された。

利用者状況（令和5年3月31日現在）

区分	性別	定員 (人)	最高年齢 (歳)	平均年齢 (歳)	平均 要介護度	年度内 総入所者 (人)	平均 稼働率 (%)
成 幸	男性	15	99	86.4	3.6	6(5)	88.8
	女性	65	101	89.3	3.4	40(29)	
	計	80	—	87.9	3.6	46(34)	
戸 越 台	男性	12	101	85.9	3.4	14(9)	93.6
	女性	60	106	89.8	3.8	45(15)	
	計	72	—	89.1	3.8	59(24)	
荏 原	男性	15	96	87.3	3.5	11(7)	95.6
	女性	105	106	90.6	3.7	69(32)	
	計	120	—	90.2	3.7	76(39)	
平 塚 橋	男性	30	97	88.2	3.6	12(4)	91.2
	女性	70	105	91.4	3.5	39(24)	
	計	100	—	90.8	3.5	51(28)	

※（ ）内の数字は実入所者数。一時利用含む

1) 生活全般の支援サービス

(1) 介護サービス

①食事

コロナ禍においてさまざまなイベントが制限されるなかで、食事は利用者の大きな楽しみの一つである。美味しく、楽しく、安心して安全な食事を提供することに努めるとともに、給食委託業者と連携し、食品衛生法に基づき衛生的で安全な食事提供に努めた。また、多職種連携により栄養ケア・マネジメントを実施し、適切な食事サービスを目指した。

②入浴

利用者個々の状態に合わせて介助浴や機械浴などの方法を検討した。また、季節を感じる行事として菖蒲湯、柚子湯を実施した。

③排泄

利用者個々のリズムに合わせることができるよう支援すると同時に、身体状況に合ったオムツの使用、回数なども検討した。また、よりよい排泄介助のために、オムツ業者の選定も行っている。

④その他サービス

施設の状態に応じて、外部業者により理美容サービスを提供し、本人の要望に応じたヘアスタイルを提供した。また、爪切りや耳垢清掃、髭剃りなども定期的に行った。

(2) 健康管理

今年度も新型コロナウイルス感染症が全国的にまん延したため、昨年度同様に感染症対策に取り組んだ。だが、成幸ホームは12月から令和5年1月にかけて新型コロナウイルス感染症が発生し、利用者14名、職員5名が罹患した。戸越台ホームは10月から11月にかけて新型コロナウイルス感染症が発生し、利用者39名、職員19名が罹患した。荏原ホームでは、①4月から5月、②8月から9月、③令和5年1月から2月の計3回新型コロナウイルス感染症が発生し、①は利用者3名、②は利用者25名、職員8名、③は利用者12名、職員5名が罹患した。平塚橋ホームは、①4月、②9月、③12月の計3回新型コロナウイルス感染症が発生し、①は利用者4名、職員2名、②は利用者2名、職員2名、③は利用者41名、職員22名が罹患した。

入所者の加齢、重度化により、嚥下機能、身体的機能の低下に伴い医療行為や処置件数が増加傾向にある。皮膚トラブルを起こしやすく、褥瘡のリスクも高くなっている。

※新型コロナウイルス感染症の詳細は49～52頁を参照

(3) 機能訓練

利用者それぞれのADL(日常生活動作)の維持・安定を目的に、機能訓練を実施した。具体的には、ベッドでの起居動作・立ち座り動作・歩行動作訓練などを訓練指導員が実施したり「生活リハビリ」として実際の生活の中で、多職種連携で取り組んだ。

また、利用者ごとに福祉用具(杖・歩行器・車いすなど)の選定を行い、定期的に安全性や使いやすさの見直しを行った。その他、誤嚥性肺炎の予防を目的に嚥下体操やマッサージを行い、より安全な食事姿勢の確保に努めた。

感染予防対策として、利用者同士の間隔を確保した訓練を実施し、使用する器具の徹底した消毒を行った。また、換気を十分にできる場所での訓練と、利用者に触れる前の手指消毒の徹底などに努め環境を整えた。

(4) レクリエーション

新型コロナウイルス感染症により、さまざまな行事やレクリエーションを中止せざるを得ない状況であった。集合型のレクリエーションが難しいため、園芸や外気浴など個別でできることを中心に実施した。

①行事

新型コロナウイルス感染症の影響で一部を除き中止。

②ボランティアによるイベント

新型コロナウイルス感染症の影響で中止。

③フロアレクリエーション活動

新型コロナウイルス感染症の影響で集合型ではなく個別で実施。

④外出

新型コロナウイルス感染症の影響で実施できず、ベランダなどで外気浴を実施。

2) その他のサービス

(1) 三徳懇談会

毎月、サービス向上を目的とし、利用者への情報提供と意見交換や要望などを聞く機会を設けた。新型コロナウイルス感染症のため、集合せずに各階ごとに行うなど工夫をして実施した。また、感染状況等により延期や休止をした。

区 分	参加延べ人数
成 幸	85人
戸 越 台	169人
荏 原	66人
平 塚 橋	41人

(2) クラブ活動への参加

感染対策を講じながら、利用者の希望する活動に参加していただき、単調になりがちな日常生活に活気のある生活を過ごしていただけるように努めた。

3) 相談・情報提供

(1) 相談サービス

①家族懇談会

新型コロナウイルス感染症のまん延防対策で、ここ数年集合型の懇談会は見合わせていたが、今年度は感染対策を講じながら開催することができた。施設サービス計画書、栄養ケア計画書、個別機能訓練計画書は更新のたびに送付をして同意を得た。

介護保険の改正や介護保険負担限度額申請等の案内は書面を送付し、問い合わせには個別に説明を行った。また、面会等で家族が来所されたときは対面で情報提供をした。

②苦情相談窓口

苦情対応窓口や意見箱に寄せられた意見や提案などは迅速に対処して、定期的
に開催される苦情解決・サービス向上委員会に報告した。

(2) 生活だより

利用者の施設における生活状況を家族に伝えるものとして、各施設で広報紙を発行した。

4) その他

(1) 福祉サービス第三者評価

戸越台ホーム、平塚橋ホームは第三者評価を受審した。主な内容は、利用者調査、職員自己評価、訪問調査（ヒアリング）であり、受審結果を基にサービスの質の向上を図り、利用者本位の福祉の実現を目指していく。また、成幸ホームは、利用者調査（ヒアリング）のみを実施した。

調査機関：公益社団法人 長寿社会文化協会

(2) セルフチェックシート（自己評価）

品川区ではサービス向上の仕組みとして、施設サービス向上研究会で開発したセルフチェックシートを用いて、施設サービスの評価を行った。評価結果をもとに改善すべき課題を明確化して計画的に進めた。

5) 各施設の取り組み

成幸ホーム 事業報告

《重点目標》

1. 感染症対策の継続
2. 基本をふまえた介護と習得した技術の実践
3. 業務の効率化と省力化、情報の共有
4. 適正稼働率に向けた入所調整と加算の取得

成幸ホームでは令和4年12月～令和5年1月にかけてコロナウイルス感染症が発生した。昨年度の経験を踏まえ迅速かつ科学的根拠に基づきながら、フロア内のゾーニングや消毒作業を実施し感染拡大防止に努めた。また、家族面会をできる限り継続すると共に、行事を可能な範囲で実施しご利用者に季節を感じていただけるよう努めた。

1. 感染症対策の継続

感染症が発生した際の職員間での情報共有について昨年度課題であったが、更新情報を他フロア職員にも毎日貼り出すことで周知・共有することができ、結果として感染拡大予防に繋がった。

2. 基本をふまえた介護と習得した技術の実践

介護機器の使用においては職員の大半が安全な使用方法について習得しており介助における身体的負担を職員・利用者共に軽減することができた。今後も適切な介護機器の使用法、介護技術の向上が行えるよう勉強会や相談できる環境を整えていく。

オンライン動画研修についてもそれぞれの時間に合わせて効率的に実施することができた。

3. 業務の効率化と省力化、情報の共有

マニュアルの見直しを適宜行うことで、現在の職員配置で業務が取り組めるよう努めた。引き続きICTの活用や最新の情報把握を行いながら効率化や省力化を図っていく。

外国人従事者との意思疎通や情報共有がスムーズに行えるよう取り組みを検討していくことが次年度の課題となっている。

4. 適正稼働率に向けた入所調整と加算の取得

年間平均稼働率 88.8%

2年続けてコロナウイルス感染症が発生したことにより入所調整が進まない時期があり結果として目標を下回った。

加算取得においては適宜条件を確認しながら適切な時期に算定できるよう努めた。

戸越台ホーム 事業報告

《重点目標》

1. 感染症予防対策の強化
2. 業務の効率化、省力化
3. 職員のスキルアップ、サービスマナーの向上
4. 安定した事業運営

戸越台ホームでは、令和4年10月下旬から11月上旬にかけて、新型コロナウイルス感染症が発生した。フロア内のゾーニングや消毒、ガウンテクニックの徹底など、感染が拡大しないよう努めた。また、各セクションと連携、協働し、療養期間中に低下した利用者のADLやQOLが回復できるよう取り組んだ。

1. 感染症予防対策の強化

標準的な感染予防対策を行いながら、発生時には迅速かつ適切な対応が取れるようシミュレーションを行っていたが、クラスターがはじめて発生した。東京都の感染症専門員による指導を受け、一丸となって感染症対策に取り組んだ。発生時の初動体制についての課題を残した。

2. 業務の効率化、省力化

見守りセンサーや介護リフトなどの介護機器の使用などICTシステムを活用することで、利用者の事故防止や職員の身体的、精神的な負担の軽減を図った。

また、業務シフトの役割分担を見直すことで当番業務など一極集中していた業務負担の均衡化を図り、派遣職員や外国人職員など多様化する職員体制にも対応した。

3. 職員のスキルアップ、サービスマナーの向上

定期的にケア向上委員会や介護技術勉強会、サービスマナー勉強会を開催し、職員間で課題や改善点を話し合い、介護に関する知識の習得や技術の向上を図った。

職員ミーティングでは、虐待防止や身体拘束防止、褥瘡予防の研修に加え、認知症の症状や行動について理解するとともに、利用者への対応方法について学んだ。

4. 安定した事業運営

年間平均稼働率 93.6%

年度の始めと終わりは96%台の稼働率を維持したが、新型コロナウイルス感染症のクラスター発生により、東京都感染症対応施設の入所や体調を崩され入院される方が多く見られた。また、職員や家族の感染により適正な人員配置が難しい状況であった。

荏原ホーム 事業報告

《重点目標》

1. 利用者の視点に立ったケアの実践
2. 感染症予防・対策の強化
3. 人材定着と人材育成
4. 業務効率化の促進
5. 安定した事業運営

荏原ホームでは令和4年8月～9月に3Fフロア、4月～5月、令和5年1月～2月に4Fフロアにおいて新型コロナウイルス感染症が発生した。4Fフロアでは引き続きノロウイルス感染が発生し2月末に収束となった。これまでの経験から初期対応ならびに効率的なフロア内のゾーニングや消毒の徹底など感染拡大防止に努めることができた。

1. 利用者の視点に立ったケアの実践

虐待防止検討委員会を毎月開催し、不適切なケアの防止や虐待について、事例紹介を含めて勉強会を行った。令和4年10月に虐待の芽チェックリストを実施し、その結果を職員間で共有し、改善のための意見交換を行った。

利用者懇談会の中で、希望の多かったデリバリーサービスの利用を試みた。利用者が好みのメニューを選択し、いつもと違う昼食を楽しんでいただく機会の提供を行った。

2. 感染症予防・対策の強化

感染症拡大に備え、必要な資材の備蓄、初期対応の振り返り研修などを行った。作成したBCP第1版（業務継続計画）に関してはクラスター拡大時の見直しを行った。しかし、新型コロナウイルス感染症、ノロウイルス感染症など、感染対策の違いに関しては、平時の備えの大切さを実感した。

複数職員の罹患時は、東京都代替職員の確保による応援体制強化事業を利用した。

3. 人材定着と人材育成

定期的な学習機会の確保を目的とした動画研修に関しては、職員は、時間を効率的に使用し受講することができた。外部研修に関しては積極的に勧奨し、ハイブリッド研修の利点を生かし、リーダー層および中堅層の受講機会を増やすことができた。また、介護現場における生産性向上研修へ参加し、主任・副主任を中心としたプロジェクトを開始した。次年度も継続的に取り組みを続けていくこととなった。

4. 業務効率化の促進

情報共有に関してはPC上の掲示板ソフトを使い全体連絡やフロアごとの連絡をカテゴリーごとに発信することができた。各々、PCで確認することができ、効率的な情報共有が行えた。また、ホワイトボードの有効活用も行った。

5. 安定した事業運営

年間平均稼働率 95.6%

計画的な入所調整を行うことで、待機者がすみやかに入所できるように取り組んだ。また、適正な人員配置のために、必要に応じて多様な採用方法を活用した。

平塚橋ホーム 事業報告

《重点目標》

1. 介護の質の向上
2. 利用者の事故防止
3. 職員の負担軽減
4. 感染症の予防
5. 適正な稼働率の維持

令和4年度に入り、施設内で新型コロナウイルス感染症が発生した。特に12月にはクラスターとなり、利用者・職員を含め多数の方々が感染した。フロア内のゾーニングやアルコール消毒の徹底などの感染拡大防止に努めた。また、面会に関してはオンラインからビニールカーテン越しの直接面会に切り替えた。

1. 介護の質の向上

ケアプラン会議などで取り上げた利用者のポジショニングやシーティングなどに関しては、訓練指導員が中心となり直接介護職員に伝えた。

食事時のむせ込みや、食事姿勢などのアドバイスをもらうために、定期的にゆうゆうプラザの言語聴覚相談室を活用した。介護職・訓練指導員・栄養士などが立ち会い、言語聴覚士から直接アドバイスをいただくことで知識・技術面の向上に役立った。また、いただいたアドバイスは書面にして誰もが閲覧できるようにした。

2. 利用者の事故防止

毎月実施しているリスクマネジメント委員会で、集計した事故報告をもとになぜ事故が起こったのか、予防策はないかなどの分析を行った。皮下出血の集計も行っており、原因究明・予防策などを検討した。また、見守りセンサーも追加購入し、行動観察に役立てた。

3. 職員の負担軽減

移乗機器については、何度かデモを行ったが導入には至らなかった。虐待の芽チェックリスト等でWEBのアンケートフォームを活用し、手作業での集計作業が軽減された。

4. 感染症の予防

感染対策を講じていたが、年末に新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生した。この時期は国内でも感染者数が多かったために、感染したほとんどの利用者はホームでの療養となった。東京都実施疫学調査チームにも来所していただき、感染拡大防止についてアドバイスをいただいた。

5. 適正な稼働率の維持

年間平均稼働率 91.2%

新型コロナウイルス感染症や介護職員不足により、相談員が介護現場に入ることによって入居調整が滞り、目標の95%を下回る結果となった。

6) 各施設共通（栄養・医務訓練）

栄養室 事業報告

《重点目標》

1. 栄養ケア・マネジメントの充実
2. 多職種や委託業者と連携し安全な食事づくりに取り組む
3. 充実した食事への取り組み
4. 地域に向けた取り組み
5. 栄養室の業務や厨房の設備環境などを計画的に行い安定した運営

多職種連携により栄養ケア・マネジメントを実施し、科学的介護推進に関する評価につなげた。そして、美味しく、楽しい食事提供に努めるとともに、委託業者と連携し、食品衛生法に基づき、摂食・嚥下機能に合わせた安全な食事づくりを行った。また、各施設の状況に合わせ、感染予防対策に配慮するとともに、新型コロナウイルスを含む感染症の情報収集や情報共有を行い感染拡大防止に努めた。

1. 栄養ケア・マネジメントの充実

食事形態や療養食など利用者の疾病、症状、嗜好に合わせた対応をし、また、食事時間の変更や食器具など柔軟な対応を行った。多職種連携のもと、個々の栄養状態安定を図り、個別対応（嚥下困難、低栄養、褥瘡、看取り）をした。

2. 多職種や委託業者と連携し安全な食事づくりに取り組む

委託業者と連携し食品衛生法に基づいた食事提供を行った。併せて感染症対策の見直しと強化を図った。また、感染症専門医のアドバイスを受け、成幸ホームでは、3が日のお節料理の提供や団欒食、戸越台ホームでは、ホーム喫茶を行った。新・再入所（居）時は情報を共有し、利用者に応じた食事提供を行った。非常食の備蓄管理を行い、利用者や職員への啓蒙に努めた。

3. 充実した食事への取り組み

季節感のある行事食やさまざまなイベント食などを提供した。残菜調査、給食委員会、ミールラウンドなどで利用者のニーズを把握して食事づくりへ反映させた。

4. 地域に向けた取り組み

デイサービスおよび配食については、疾病や障害を考慮した食事を提供した。介護者教室の一環として継続していた「高齢者と介護者のための料理教室」は、感染拡大予防の見解から実施を見合わせた。在宅の利用者および家族へは、食のアプローチとして三徳会レシピを作成し、配布した。

5. 栄養室の業務や厨房の設備環境などを計画的に行い安定した運営

業務の見直しや、献立の検討などを含め、栄養業務を行った。委託業者との契約内容に基づき、栄養ソフトについても検討し実情に合わせたものに変更した。また、安全な厨房環境を整えるために厨房設備の計画、保守や早期修繕、必要に応じて機器や備品交換を行った。成幸ホームでは、温冷配膳車、荏原ホームでは、食器洗浄機を購入した。

《重点目標》

1. 新型コロナウイルスを始めとする感染症の蔓延を防ぐ
2. 利用者の日々の健康管理に努める
3. 終末期においても安心した生活を送れるように支援する
4. 多職種間の連携・協働体制を進める
5. 職員の健康に留意し、相談や管理指導に努める

新型コロナウイルス感染症蔓延に伴い、例年以上に感染対策を強化してきた。だが、4施設の利用者、職員が新型コロナウイルス、ノロウイルス感染症等に罹患してしまった。

1. 新型コロナウイルスを始めとする感染症の蔓延を防ぐ

利用者、職員の健康管理。速やかに情報収集を行った。
感染対策責任者を中心とした職員教育や啓発を行った。
感染対応として、マスクの着用、ソーシャルディスタンス、密回避、換気、清掃の徹底を行ってきたが利用者、職員が感染症に罹患してしまった。

2. 利用者の日々の健康管理に努める

利用者の健康診断は予定通り行った。
専門科の回診は各施設の感染状況に応じて休止、調整して対応した。

3. 終末期においても安心した生活を送れるように支援する

看取り介護指針を遵守した継続的な支援を行った。
施設ごとに面会の方法を工夫し看取りの場合は状況に合わせ、直接面会をしていた。
配置医師および協力医院等との情報共有と介護の連携を行った。
利用者の状態観察と必要な処置、安楽の援助を行った。
なかなか来所できないご家族への状態説明や看取りの同意などオンラインで行うこともあった。

4. 多職種間の連携・協働体制を進める

感染予防に向けて職員教育と体制づくりを行った。
多職種間との連携および情報の共有を図り、生活リハビリ、介護用品の検討などチームケアを推進した。
体調不良者や低栄養高リスク者の把握に努め、適切な助言と指示を行った。
緊急対応マニュアル、各指針類の見直し、確認を行った。

5. 職員の健康に留意し、相談や管理指導に努める

職員の健康管理を実施し体調管理や医療相談の窓口とし産業医と連携を行った。
ストレスチェックを実施した。高ストレス者で面談を希望した職員の窓口となり産業医につないだ。

医務訓練室（訓練） 事業報告

《重点目標》

1. 生活機能に重点を置いた「個別訓練」、「集団訓練」の実施
2. 日常生活の維持・向上を目指した訓練計画の立案と実施
3. 適切な福祉用具の導入・管理・指導の実施
4. 嚥下障害への取り組み
5. 職員の腰痛予防への取り組み
6. 感染症対策を考慮した訓練の取り組み

令和4年度の機能訓練は、コロナの影響が長引き訓練の実施の仕方に柔軟な思考をもって対処した。施設サービスでは訓練室使用が制限された中で、状況に応じて「集団訓練」を控え、「個別訓練」に力を入れることで、利用者の自立支援と介護の負担軽減になるよう訓練を実施した。在宅サービスでは、安心安全な在宅生活を送れるよう個別に機能訓練を実施し、身体機能・認知機能の低下予防・向上に努めた。また、長期療養による利用者には心身機能の回復に重点を置き訓練を実施した。

1. 生活機能に重点を置いた「個別訓練」、「集団訓練」の実施

自立支援・介護負担軽減を踏まえ日常生活に沿った「個別訓練」を実施した。また、拘縮・褥瘡を他職種と情報共有しながら改善するよう努めた。感染対策による制限もあったが、集団の中にいることの安心感・社会参加を意識し「集団訓練」を実施した。

2. 日常生活の維持・向上を目指した訓練計画の立案と実施

利用者を個別に他職種と情報共有の上、介助負担増加予防・日常生活の維持について検討し計画書を立案・実施した。

3. 適切な福祉用具の導入・管理・指導の実施

定期的に福祉用具の管理・点検・メンテナンスを行い、できる限り安全を保ちながら継続使用に努めた。また修理不能なものについては、計画的に新規購入した。

4. 嚥下障害への取り組み

自主的に食事摂取が行えるよう他職種と協働で姿勢改善・自助具の選定・巧緻性訓練を実施した。

他職種(栄養士・ST等)と協働で誤嚥リスクの高い利用者へ対応した。

5. 職員の腰痛予防への取り組み

腰痛予防体操を行い、職員に基本的な体力維持作りの意識づけを行った。

リフトなどの介護補助機器の使用を推進し、介護負担軽減の取り組みを行った。

6. 感染症対策を考慮した訓練の取り組み

訓練中は消毒・換気に努め、マスク・フェイスシールドによる飛沫感染防止を行った。

感染症の時期や性質により消毒液を変えながら器具・備品の消毒を行った。

2. 通所介護事業（デイサービス）

（成幸・戸越台・荏原・小山）

（1）新型コロナウイルス感染症の影響

昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者の休みや新規利用者の受け入れは減少、ボランティア、クラブ講師の受け入れ制限、密になる行事の中止や見直しなどせざるを得ない一年となった。

成幸においては4日間利用者の受け入れを入浴者に限定した縮小運営をした。また成幸、戸越台はホームへの職員派遣、小山は荏原への職員派遣等、セクション、施設を超えて協力体制を築くことができた。

（2）介護保険制度の改正

令和4年度は介護職員等ベースアップ等支援加算が新たに始まった。申請手続きにおいては事務室の協力もあり適正に実施した。また利用者（家族）への説明や同意も得られ、算定することができた。

（3）職員の資質の向上

品川区が開催した認知症対応型通所介護事業所連絡会に参加し、他施設と情報共有を図り、高齢者虐待研修、福祉カレッジ「認知症の人と共によりよく生きる事のできる地域づくりに向けて」、介護事業者支援研修「介護サービスにおける認知症利用者ケアについて」に参加し、他職員との情報共有により、職員の質の向上へとつながった。また、利用者満足度向上プロジェクトでは職員のスキルアップなどについての検討も行った。来年度もメンバーを変え継続的に行うこととなった。

（4）大規模改修工事など

荏原では複合施設の大規模改修工事に向けて、利用者や職員が快適で安全に過ごせるように、昨年度に続き実施に向けて検討を行った。

小山は浴室等の改修工事が約3ヶ月間あったが、その間は荏原在宅サービスセンターの機能訓練室を使用して、相互の職員協力の下、運営を行った。

（5）その他

法人の魅力ある職場づくりに向けて、目指すべき理想の姿を設定し、法人一丸となって理想の姿を実現するための3つのプロジェクトにデイサービス職員もメンバーに入り検討を行った。

施設への理解を深めてもらうためにパンフレットを作成し、見学者、居宅介護支援事業所等に配布することにより、デイサービス利用へとつながったケースもあった。

基本デイサービス・認知症デイサービス総計（単位：人）

区 分	R 4 年度	R 3 年度	R 2 年度
成 幸	5,377	5,344	6,343
戸越台	6,657	6,855	6,044
荏 原	10,375	11,130	11,434
小 山	1,094	1,589	1,713

1) 基本デイサービス（予防事業・介護給付）

個々の利用者に対して、本人、家族の希望を尊重し、その人の必要に応じた通所介護計画を作成し同意を得て交付、それをもとにクラブ活動、機能訓練、入浴、食事等を提供した。高齢者は、体調が変化しやすいので家族との連絡を密にとり、利用中の小さな変化も見落とさず、迅速に的確な対応が行えるように努めた。また、年間を通して感染症対策を行い事業運営を行った。

区 分		R 4 年度		R 3 年度		R 2 年度	
		延べ利用者数	稼働率	延べ利用者数	稼働率	延べ利用者数	稼働率
成 幸 定員20人	予防	1,330	3,810 62.1%	1,183	3,564 59.6%	1,591	4,370 70.9%
	介護給付	2,480		2,381		2,779	
戸越台 定員30人	予防	2,273	6,386 69.1%	2,178	6,635 71.7%	1,445	6,011 65.3%
	介護給付	4,113		4,457		4,566	
荏 原 定員40人	予防	2,496	8,406 68.2%	2,723	9,088 73.8%	2,945	9,565 77.7%
	介護給付	5,910		6,365		6,620	

※成幸 新型コロナウイルスの影響で利用者の受け入れを入浴者のみに限定し（令和4年12月24日～12月28日の4日間）、営業を継続した。また、成幸、戸越台はホームへの職員の派遣を行った

2) 地域密着型認知症対応型デイサービス

成幸・戸越台・荏原・小山

利用者一人ひとりが自分らしく生きがいのある生活を送れることを目標に、家族、ケアマネジャーと連携をとり、また、担当者会議により情報交換とケアプランの検討・再検討を行い、サービスを提供した。年間を通して感染症対策を行い事業運営を行った。

区 分	R 4 年度		R 3 年度		R 2 年度	
	延べ利用者数	稼働率	延べ利用者数	稼働率	延べ利用者数	稼働率
成 幸 定員10人	1,567	51.0%	1,780	59.7%	1,973	64.1%
戸越台 定員10人	271	8.6%	220	7.1%	33	1.4%
荏 原 定員10人	1,969	63.9%	2,039	66.2%	1,869	60.7%
小 山 定員10人	1,094	35.6%	1,589	52.3%	1,713	55.6%

※成幸 新型コロナウイルスの影響で利用者の受け入れを入浴者のみに限定し（令和4年12月24日～12月28日の4日間）、営業を継続した。また、成幸、戸越台はホームへの職員の派遣を行った

3) 介護予防事業（身近でトレーニング）

戸越台・荏原

在宅生活の継続を支援するサービスとして、自宅でも「体力づくり」「運動習慣づくり」に取り組めるよう、椅子など身近な道具を使った運動方法を指導した。

（単位：人）

区 分		R 4 年度	R 3 年度	R 2 年度
戸越台	実人数	135	114	60
	延人数	438	389	223
荏 原	実人数	110	166	169
	延人数	400	537	353

※荏原 小山の改修工事の関係で下期は休止

4) その他

(1) 入浴サービス

自宅での入浴が困難な方に、健康面と衛生面を保持するために利用者のADLに合わせて介助浴、機械浴の2タイプの入浴方法で対応した。また、家庭で入浴しているような雰囲気を作り、気分転換や情報交換の場としての活用も図った。

(単位：人)

区 分	R 4 年度	R 3 年度	R 2 年度
成 幸	延3,486	延3,539	延3,820
戸越台	延3,773	延3,685	延3,854
荏 原	延5,807	延5,864	延5,661
小 山	延 232	延 530	延 744

(2) 機能訓練

生活機能の向上を目的に、基本プログラムとグループ・選択別プログラムを設けて機能訓練を実施した。訓練を通じて、生活機能の改善や転倒予防、意欲の向上などを図るとともに、自宅での役割や地域活動への積極的参加を促した。

また、機能訓練加算については、通所介護個別機能訓練加算 I（成幸、戸越台、荏原）を算定し、義務付けられた3か月に一度の訪問を、訓練指導員・相談員・介護職員で分担して行い、「活動」と「参加」の向上を図った。

(単位：人)

区 分	R 4 年度	R 3 年度	R 2 年度
成 幸	延1,984	延1,561	延2,001
戸越台	延6,123	延6,085	延5,324
荏 原	延3,702	延3,862	延3,672

(3) 食事サービス（通所、訪問）

食事サービスについては、栄養相談を行い疾病や障害を考慮した食事を提供した。在宅の利用者および家族へは、高齢者へ食のアプローチとして三徳会レシピの配布や情報提供を行った。

(単位：件)

区 分		R 4 年度	R 3 年度	R 2 年度
成 幸	通所サービス	5,377	5,516	6,150
	訪問給食	1,100	1,188	833
戸越台	通所サービス	5,969	6,640	5,969
	訪問給食	2,559	2,177	1,664
荏 原	通所サービス	10,247	10,983	11,315
	訪問給食	932	745	657

(4) クラブ活動

感染症対策として講師やボランティアの受け入れを見合わせたなかでも、楽しく参加できるように工夫をして、音楽リハビリ・習字・生け花・手芸・切り紙クラブなどを行った。作品は施設内に展示することにより、創作意欲の向上や、活動への

励みとなった。

(5) 保険外サービス

障害者や介護保険非該当の方、また長時間利用が困難な方の食事、入浴等のサービスを行った。

(6) 介護者教室

年4回、4施設の管理栄養士が協働で料理教室を開催予定であったが、新型コロナウイルス拡大予防対策のため中止とした。今年度は、三徳だよりにレシピやコラムを掲載し、また、三徳レシピを作成し配布した。。

(7) 健康管理

年々、重介護を必要とする利用者や、さまざまな慢性疾患をもつ利用者が増えてきている。安心して利用していただくための事前訪問、来園時のバイタルチェック、全身状態の観察を利用時には毎回実施した。

また、新型コロナウイルス感染症予防のため、来所時の体温測定をそのつど行い、体調確認を実施した。

(単位：件)

区 分	R 4 年度	R 3 年度	R 2 年度
成 幸	10,376	10,507	11,923
戸越台	10,971	11,237	10,937
荏 原	12,654	13,663	14,085

(8) 四季の行事

花見、夏まつり（納涼祭）、バスハイク、クリスマス会、餅つき、節分、ひな祭りなど、四季折々の行事を実施予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響で花見、夏まつり、バスハイクなどの密になる行事を中止や見直しをして行った。

(9) 認知症対応型通所介護運営推進会議

認知症対応型通所介護のサービスの質をより向上し、利用者のニーズに合ったサービス内容とするため、利用者とその家族、行政（品川区高齢者福祉課）、地域の関係者などにお集まりいただき、事業所ごとに6か月に1回開催した。

5) 各センターの取り組み

成幸デイサービス 事業報告

《重点目標》

1. 多職種連携を密にする
2. 家族との連携により個別の援助を充実させる
3. 専門職としてのスキルアップを図る
4. 「介護職はサービス業である」という自覚を持つ
5. 感染対策について

令和4年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、様々な活動の制限のみならず、営業時間を短縮するまでに波及した1年であった。そんな中でも運営推進会議を実際に開催することができた等、徐々に以前の姿を取り戻しつつある。

1. 多職種連携を密にする

ケアマネジャーはもとより、機能訓練指導員、看護職と積極的に情報交換を行った。特に感染拡大防止のため、書面による会議開催を積極的に行う等、それぞれが活動する領域において知り得た情報を交換し、現状の状態像をより明確にすることができた。

2. 家族との連携により個別の援助を充実させる

送迎時のご家族との会話や連絡ノートを通じて情報量を増やす事に努めた。これにより自宅での様子や本人の嗜好等、デイサービスでの活動以外の把握もでき、個別支援につなげることができた。

3. 専門職としてのスキルアップを図る

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、対面による研修への参加は自粛としたが、WEB研修には参加し情報の共有化や個別援助に関する課題を検討する等、専門職としてのスキルアップに努めた。

4. 「介護職はサービス業である」という自覚を持つ

「介護職はサービス業である」というスローガンのもと、誰が聞いても気持ちの良い丁寧な言葉遣いを引き続き意識し、各個人が「WEBによるサービスマナー研修」にも参加した。これにより、職員間でもお互いの「声掛け」だけでなく、「話し方」にも注意が向くようになった。

5. 感染対策について

手洗い、うがい、換気、消毒等、基本的な感染対策を継続。食事も引き続き、食堂とデイルームの2か所に分ける対応とした。さらにデイサービス玄関での来所持検温の継続及び、発熱者の一時待機場所も設置した。また、季節による消毒液の使い分けも継続し、感染状況に応じた対応を行った。

年間平均稼働率 基本事業62.1% 認知症対応型事業51.0%

戸越台デイサービス 事業報告

《重点目標》

1. 感染症対策を講じながら安定した事業運営
2. 個別性を重視したリハビリを継続
3. 専門職としてのスキルアップを図る
4. 地域拠点としての役割

今年度も新型コロナウイルス感染症によりボランティアなどの受け入れを休止、外出行事も見送りとなったが、施設内で各種行事を実施して夏祭りでは盆踊りを楽しんでいただけた。戸越台中学生とのリモートによるクリスマス演奏会の世代間交流も利用者に好評であった。

1. 感染症対策を講じながら安定した事業運営

年間平均稼働率 基本事業69.1% 認知症対応型事業8.6%

利用者や職員が新型コロナウイルス感染症に罹患したが、こまめな体調観察や連絡調整を行い、事業を休止することなく継続することができた。

稼働率についてはコロナ感染症の影響により7割の目標値には届かず、認知症事業については、利用中の入院や施設入所されるなど、稼働を二桁に上げることはできなかった。

2. 個別性を重視したリハビリを継続

サービス計画書に沿って個別訓練計画書を作成、定期的に評価と見直しを実施した。リハビリの様子を家族と情報共有し、在宅生活の維持・向上につなげた。個別訓練や集団体操、レクリエーションリハビリを継続し、個々の生活スタイルに合わせた運動習慣が身につくよう対応した。

3. 専門職としてのスキルアップを図る

法人内の勉強会やリモートの外部研修に参加。参加目標は1人3回以上にしたが、子育て中の職員や非常勤職員は勤務時間内での実施が難しかった。

朝礼や終礼時に各専門職が連携を図り、認知症ケアやレクリエーションリハビリなどについて情報共有が図れた。

4. 地域拠点としての役割

パンフレットの配布や空き情報などを民生委員やケアマネジャーに随時、情報提供し認知症事業の発信に努めた。

地域の感染状況を把握しながら実習生や中学生の職場体験を受け入れた。また、戸越台中学生とリモートによるクリスマス演奏会や、中学校の作品展に利用者の作品を展示するなど世代間交流が図れた。

介護予防事業の身近でトレーニングを実施し、地域高齢者の介護予防や自立支援につなげた。

荏原デイサービス 事業報告

《重点目標》

1. 利用者が可能な限り居宅で自立した日常生活を送ることができるようにする
2. 感染対策を強化しながら事業を健全・安全に運営する
3. 職員が安心しチームを意識して働くことができる職場環境を整える
4. 大規模改修工事に向けた検討を進める

令和4年度も新型コロナウイルスの影響を受け、クラブ講師やボランティアの受け入れ中止や行事の見直しをせざるを得なかった。その中でも楽しく過ごしていただけるように手芸、切り紙クラブ等の充実、同世代の人との交流の時間を意識した運営を行った。

1. 利用者が可能な限り居宅で自立した日常生活を送ることができるようにする

利用者と良好なコミュニケーションを築き、家族、ケアマネジャーとの連携を図りながらアセスメントを取り、その内容を通所介護計画へと反映させた。

利用にあつたては目的を明確にし、日々のミーティング等で職員に周知をし、継続性のあるサービス提供を実施した。

認知症事業では認知症対応型運営推進会議を2回開催した。利用者、外部委員、支援センター、行政担当者と意見交換を行い、開かれた施設運営を行った。

介護予防事業、身近でトレーニング(太極拳)を通して、運動の習慣の形成や体力向上、仲間づくりを支援した。

2. 感染対策を強化しながら事業を健全・安全に運営する

感染予防委員会(毎月)に参加し、他セクションと連携を図り、継続的に感染症対策を実施できた。感染拡大リスクの高い行事の一部は内容を見直しながら実施した。また、実習生、職場体験の受け入れに関しては、地域貢献の一環として継続した。

年間平均稼働率 基本事業68.2% 認知症対応型事業 63.9%

特に、認知症対応型事業については臨時利用や利用困難な方についても、積極的に受け入れられるよう関係機関と連携を図った。

3. 職員が安心しチームを意識して働くことができる職場環境を整える

ケアの質の向上と、職員のスキルアップを目的に、認知症ケア、認知症の人と共によりよく生きることのできる地域づくり、虐待予防研修等に参加し、事業所内での伝達研修を行った。また、機能訓練、看護、栄養などの各職種とのコミュニケーションを密にすることで、連携を強化することができた。

4. 大規模改修工事に向けた検討を進める

利用者や職員ができる限り快適で安全に過ごせるように、他セクションとも連携を図り計画をたてた。

小山の家 事業報告

《重点目標》

1. その方らしい生活を維持することができるよう支援していく
2. 感染対策を徹底しながら安定した事業運営に努める
3. 専門職としての質を高める
4. 改修工事に備え検討を進めていく

令和4年度も新型コロナウイルス感染症の対策に重点を置いた。その中でも、今年度は散歩や買い物などの外出活動は、感染状況を見ながら、再開する事ができた。一方、利用者の利用終了が続き、低下した稼働率の回復に苦慮した。

建物の老朽化に伴い、浴室等改修工事を実施した。工事期間中は荏原ホームに場所を移し、サービス提供を継続した。工事期間中のサービスについても大きな混乱なく、実施することができた。3月13日からは小山の家でのサービスを再開した。

1. その方らしい生活を維持することができるよう支援していく

小山の家に来られている間、少しでも多くの笑顔でいる事、自分らしくいられるために、ご利用者個々の個性を知る事に力を注ぎ、不安なく楽しい時間を提供することができた。利用者とはしっかりと向き合いながら支援を行った。また、小山の家での様子などは、家族やケアマネジャー等に報告を行い、情報の共有を行った。

2. 感染対策を徹底しながら安定した事業運営に努める

安定した事業運営については年間稼働率目標の65%には届かなかった。新規相談が少なく稼働率も低下する一方となってしまった。新しく作成したパンフレットを活用しながら、在宅介護支援センターや居宅介護支援事業所に空き状況をお知らせした。徐々に新規相談、利用申し込みが増え、稼働率は少しずつ回復してきている。感染症については、利用者、職員ともに感染することがなく、安定したサービス提供を行うことができた。

年間平均稼働率 35.6%

3. 専門職としての質を高める

参加した研修内容については、職場内にて情報の共有を行い、業務の中で活かせる様にした。また、ご利用者のケア方法など、常日頃から職場の中で検討しあい、よりよいケアとなるように努めた。

4. 改修工事に備え検討を進めていく

小山の家の改修工事が令和4年12月19日～令和5年3月12日の期間で行われた。工事期間中は荏原ホームにおいてサービス提供となるため、入念に事前準備を行った。荏原ホームでのサービスについては環境が全く異なるため、できる事を予測しながらサービス内容を組み立てた。散歩や買い物を中心に行ったが、大きな混乱はなく荏原ホームの協力もあり無事に乗り切る事ができた。

3. 短期入所生活介護事業（ショートステイ）

令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響による利用制限のため、思うように利用につながらない1年となった。

ショートステイは在宅生活継続のためには欠かせないサービスのため、安心して利用していただけるように感染対策を強化し、心身機能の維持・向上のための機能訓練やレクリエーションの提供に努めた。

また、利用期間中の体調変化についても家族、ケアマネジャーなどと連携し、適切に対応できるように努めた。

区 分	R 4年度		R 3年度		R 2年度	
	延べ利用者数	稼働率	延べ利用者数	稼働率	延べ利用者数	稼働率
成 幸 定員16人	763	13.3%	2,469	42.3%	3,298	57.5%
戸越台 定員8人	1,112	38.1%	360	16.7%	—	—
荏 原 定員30人	8,536	77.9%	7,899	72.2%	8,192	74.7%
平塚橋 定員12人	1,589	36.8%	2,028	46.4%	2,797	64.7%

※戸越台は大規模改修工事により令和元年度・2年度は休止し令和3年7月より再開した

1) 各施設の取り組み

成幸ショートステイ 事業報告

《重点目標》

1. アセスメントを重視した個別ケアの実践
2. 遵守事項を守りサービスマナーを向上
3. 利用満足度の向上と感染症対策
4. 業務の効率化と省力化

感染症対策を継続する中、ご利用者に楽しんでもらうため雰囲気作りの取り組みを行った。昨年に続きホーム内にてコロナウイルス感染が発生した際には、より生活面において制限される場面もあり利用者や家族に協力や理解をいただきながら対応した。ショートステイ利用中における感染症の罹患がなく過ごすことができた。

年間平均稼働率 13.3%

1. アセスメントを重視した個別ケアの実践

今年度も継続し利用者の生活主体が自宅であることを念頭におき職員間でケア方法を統一することで、利用者に安心していただくことができた。入退園時に家族と接する際の会話の中からもアセスメントを行うよう取り組んだ。

2. 遵守事項を守りサービスマナーを向上

高齢者虐待防止や身体拘束適正化、サービスマナー等の研修をオンライン動画にて実施することで職員の知識や意識向上に繋がった。

3. 利用満足度の向上と感染症対策

感染症対策として利用前の体調確認を継続、利用中はテーブルの間隔を広げるなど行い感染予防対策を実施した。結果として、ショートステイ利用期間中に感染症に罹患する方を出さずに対応することができた。

一方で満足度に関しては、これまで定期的に行っていた作品作りが行えなかったことやクラブ活動にも参加いただけない時期があるなど、今後さらに取り組み方法を検討していかなければならない点が多くあると感じた。

4. 業務の効率化と省力化

マニュアルの見直しを適宜行うことで、現在の職員配置で業務が取り組めるよう努めた。

戸越台ショートステイ 事業報告

《重点目標》

1. 感染症対策の強化と拡大防止
2. 利用者満足度の向上
3. 新規利用者、緊急ショートステイの積極的な受け入れ
4. 安定した事業運営

戸越台ホームでは標準的な感染症予防対策を講じていたが、令和4年10月下旬から11月上旬に新型コロナウイルスが発生したため、受け入れを休止して感染拡大防止と収束に努めた。感染予防対策の徹底が、安心してサービスを利用していただけのためには不可欠であることを再認識した。

1. 感染症対策の強化と拡大防止

利用前の健康状態の確認や利用中の検温、手指消毒やマスクの着用など、利用者に必要な感染予防対策を行っていただくとともに、換気やアクリル板の使用、密を避けた座席配置など、安心して利用していただけるよう環境整備に努めた。

職員についても健康管理の徹底と、感染症発生時の対応方法の勉強会を実施した。

2. 利用者満足度の向上

利用者、家族との交流を深め、馴染みの関係を築き上げることで信頼を得られるよう対応した。アセスメントを行い、本人の状態や性格、生活歴などを把握するとともに本人や家族の希望や要望に柔軟に対応することで、ショートステイ利用時も本人のペースで過ごせるよう配慮した。

寄せられた苦情に関しては職員間で情報を共有し、原因の分析と再発防止に向けた対応策について検討、サービスマナーの勉強会を通してコミュニケーション技術を習得するなど、サービスの質の向上につなげた。

3. 新規利用者、緊急ショートステイの積極的な受け入れ

困難な状況にある利用者、家族に対しても、柔軟にサービスの提供ができるよう関係機関やケアマネジャーと連絡調整を行った。また、各セクションと情報の共有化を図ることで、新規利用者や緊急ショートステイの相談や受け入れについて迅速に対応することができた。

4. 安定した事業運営

年間平均稼働率 38.1%

長期利用者の受け入れやリピーターの獲得に努めたが、新型コロナウイルス感染症の影響や、窓口対応の固定した人員体制がとれず、目標稼働率40%以上に達することはできなかった。

荏原ショートステイ 事業報告

《重点目標》

1. 感染対策、リスク管理を徹底し、清潔で安心できる環境をつくる
2. 個別ケアの充実を図り、体力低下を防ぎ「楽しい」ショートステイを目指す
3. 地域での役割を果たす
4. 安定した運営を目指す

ホーム内では、令和4年4月～5月、8月～9月、令和5年1月～2月にかけて新型コロナウイルス感染症が発生した。これまでの経験を活かし、ホームとの交差を可能な限り遮断し、初期対応ならびに効率的なフロア内のゾーニングや消毒を徹底し、ショートへの感染防止に努めることができた。

1. 感染対策、リスク管理を徹底し、清潔で安心できる環境をつくる

感染対策の勉強会を毎年2回行っている。1回目は昨年度の発生状況を振り返り、感染対応マニュアルの修正に当たった。2回目は嘔吐物処理の実践勉強会を行った。

ヒヤリハットや事故報告書は月別・年度別に集計した。特養ホームと行うリスク会議で他セクションからの意見やアドバイスを受け再発を防止に努めた。

2. 個別ケアの充実を図り、体力低下を防ぎ「楽しい」ショートステイを目指す

サービス計画書作成の際に、「午前、午後と立ち上がりを10回行う」など、具体的な目標を掲げて積極的に運動を取り入れ体力の低下を防ぐようにした。万歩計を購入したので来年度も体力維持に努めていく。

介護技術については、7月に「介護技術の基本を見直す」勉強会を行った。声掛けしないまま車いすを動かす体験を各自が行い、相手の気持ちに寄り添うことを再確認した。11月は自分の介護技術を分析。項目別の自己チェックを行った。

接遇マナーとして「虐待の芽チェックリスト」を6月に行った。認知症の利用者が多くなると精神的な余裕がなくなり、丁寧な対応ができないことがさらにストレスになる。職員間のコミュニケーションや、業務に優先順位をつけるなどの案が出た。

3. 地域での役割を果たす

利用中の様子はケアマネジャーをはじめとする各関係機関と共有を行った。特に初回利用者は、次回につなげるべく家族の情報も含め支援することを意識した。

計画予定以外、延泊の相談はできるだけ受け入れた。在宅生活困難者や虐待などの緊急ケースは、30件受け入れた。

年末年始も利用できる態勢を整え15名が年越しされた。

4. 安定した運営を目指す

新型コロナウイルス感染症の発生による利用控えがあった。

年間平均稼働率 77.9%

平塚橋ショートステイ 事業報告

《重点目標》

1. 介護の質の向上
2. 利用者の事故防止
3. 職員の負担軽減
4. 感染症の予防
5. 適切な稼働率の維持

平塚橋ホームでは令和4年4、9、12月、令和5年1月にご利用者、職員の新型コロナウイルス感染症陽性者が出た。ショートステイのある4階で発生した際には、消毒等を行うとともに、速やかに利用者、家族、ケアマネジャーに連絡、状況説明を行うなどの対応をした。

1. 介護の質の向上

ケアプラン会議などで取り上げた利用者のポジショニングやシーティングなどについて、訓練指導員が中心となり直接介護職員に伝えた。

食事時のむせ込みや、食事姿勢などのアドバイスをもらうために、定期的に1階ゆうゆうプラザの言語聴覚相談室を活用した。介護職・訓練指導員・栄養士などが立ち会い、直接アドバイスをいただくことで知識・技術面の向上に役立った。また、いただいたアドバイスは書面にして誰もが閲覧できるようにした。

2. 利用者の事故防止

毎月実施しているリスクマネジメント委員会で、集計した事故報告をもとになぜ事故が起こったのか、予防策はないかなどの分析を行った。皮下出血の集計も行っており、原因究明・予防策などを検討した。また、見守りセンサーも追加購入し、行動観察に役立てた。

3. 職員の負担軽減

移乗機器については、何度かデモを行ったが購入には至らなかった。今後も継続して検討していきたい。虐待の芽チェックリスト等でWEBのアンケートフォームを活用し、手作業での集計作業が軽減された。

4. 感染症の予防

感染対策を講じていたが、年末に新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生し受け入れを中止した。この時期は国内でも感染者数が多かったために、感染したほとんどの利用者はホームでの療養となった。東京都実施疫学調査チームにも来所していただき、感染拡大防止についてアドバイスをいただいた。

5. 適正な稼働率の維持

新型コロナウイルス感染症によるキャンセルやショートステイの休止、介護職員不足により、相談員が介護現場に入ることによって積極的な利用に繋げることができず、目標の48.0%に届かなかった。

年間平均稼働率 36.8%

4. 在宅介護支援センター（居宅介護支援事業、老人介護支援センター、地域包括支援センター）

（成幸・戸越台・杜松・荏原・小山・小山台）

品川区の在宅介護支援センターは、老人介護支援センター、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所の3つの機能を1か所で担っている。これにより、「身近な地域のワンストップ」窓口の機能、社会資源を活用した総合的なケアマネジメント機能、高齢者の状況変化に対応した柔軟かつ継続的なサポート機能を果たした。

また、共生型社会に向けた障がい者等への対応も求められているなか、「品川区荏原障害者計画相談支援事業所」の運営を開始し、高齢障害者に対する包括的な相談支援に努めた。

《重点目標》6支援センターの業務の平準化を図る

6つの在宅介護支援センターを運営していることから各支援センターの業務システムの平準化を図る必要がある。運営面と並行して個々のケアマネジメントの質が一定レベルは担保されるように資質の向上を図るため「適切なケアマネジメント手法の実践」「S-SOAI Pの実践」を重点目標として掲げ、以下の3点に取り組んだ。

- ①高齢者・障がい者等が住み慣れた地域で、いきいきとしたその人らしい生活が続けられるように共生型社会を目指し支援する。
- ②保健・医療・福祉・行政・住民団体などの各関係機関と多職種連携を念頭にネットワークづくりを進める。
- ③相談員としての総合的な力量をつける。

《在宅介護支援センター業務》

- ・ 高齢者の総合相談、実態把握
- ・ 包括的・継続的マネジメントの支援
- ・ 要介護認定調査
- ・ 臨時給付金申請補助業務委託
- ・ 東京都・品川区主催の研修の受講
- ・ 品川区在宅介護者の集いへの協力
- ・ 介護給付費通知の実施に伴う在宅介護支援センター送付説明業務
- ・ 令和4年度障害者の包括支援相談体制整備促進事業の受託
- ・ 新型コロナウイルスワクチン接種補助業務
- ・ その他、品川区からの委託事業や協力要請に基づく業務
- ・ 介護予防のケアマネジメント
- ・ 居宅介護支援事業
- ・ 高齢者見守りアイテム登録
- ・ 高齢者熱中症等予防対策の普及啓発
- ・ 法定研修の受講
- ・ 認知症サポーター養成講座・レベルアップ講座

在宅介護支援センター 事業報告
(成幸・戸越台・杜松・荏原・小山・小山台)

《重点目標》

1. 6支援センターの業務平準化
2. 「適切なケアマネジメント手法」を理解したケアマネジメントの実践
3. F-SOAI Pの記録法を理解し、記録を実施する
4. アドバンス・ケア・プランニング（ACP）講演会の企画・開催
5. 新しい働き方への転換

1. 6支援センターの業務平準化

共通のシステムによって業務を行い、担当職員不在時も円滑に利用者対応が行える。異動等で配属が変わっても基本の業務が円滑に行われ、異動の負担が軽減できる。また、共通システムで業務を行うことで管理体制を高めることができるように、統一の帳票作成しナンバーリング管理を図り活用した。

2. 「適切なケアマネジメント手法」を理解したケアマネジメントの実践

ひとつの指標に基づき、どの介護支援専門員であっても最低限もたなければならない視点に基づき、アセスメントを行うことができる。科学的根拠をもったケアプランが作成されるケアマネジメントが行われるように、「基本ケア」「疾患別ケア」研修に参加し多くの優秀賞の受賞者を出すことが出来た。また、品川区令和3-4年度委託事業「IoTを活用したケアマネジメント向上支援事業」にもほとんどの支援センターから参加し事例発表も行った。

3. F-SOAI Pの記録法を理解し、記録を実施する

生活モデルの観点から、当事者ニーズや観察、支援の根拠、働きかけと当事者の反応等をF-SOAI Pの項目で可視化した記録を書く。また、記録の項目を立てることで、専門職としての実践課程・思考過程を可視化する記録を書くことができる。ケースの共有・検討の場において項目を用い端的に説明および指導が行うことができるようになるように研修に参加し、日々実践を行った。

4. アドバンス・ケア・プランニング（ACP）講演会の企画・開催

人生の最終段階における医療・ケアチーム等との話し合い、共有する「アドバンス・ケア・プランニング（ACP）」。厚生労働省は「人生会議」と愛称をつけて国民に普及を図っている。コロナ禍において人々の意識も変化したこともあり、この動向のなか、三徳会の介護支援専門員として利用者や地域住民の意思決定支援活動を推進する講演会を開催する予定であったが、感染症が収まらなかったことから延期をした。

5. 新しい働き方への転換

カンファレンスやサービス担当者会議・研修等がリモートで行われる時代の対応力をつけた。

要介護認定調査 (単位：件)

区 分	R 4年度	R 3年度	R 2年度
成 幸	113	145	193
戸 越 台	175	230	198
杜 松	261	287	255
荏 原	140	166	156
小 山	252	314	279
小 山 台	198	169	105

相談件数 (単位：件)

区 分	R 4年度	R 3年度	R 2年度
成 幸	14,706	16,374	15,546
戸 越 台	12,133	13,177	13,675
杜 松	14,464	15,918	15,395
荏 原	11,331	12,119	11,690
小 山	15,278	15,588	14,869
小 山 台	7,249	7,103	7,110

国保連への請求数 (単位：件)

区 分	R 4年度		R 3年度		R 2年度	
	介護給付	延	介護給付	延	介護給付	延
成 幸	1,302	延4,484	1,687	延4,649	1,743	延4,671
	3,182		2,962		2,928	
戸越台	1,434	延3,667	1,391	延3,903	1,358	延3,863
	2,233		2,512		2,505	
杜 松	1,081	延3,650	1,373	延3,985	1,388	延3,835
	2,569		2,612		2,447	
荏 原	1,526	延3,608	1,353	延3,587	1,384	延3,743
	2,082		2,234		2,359	
小 山	1,598	延4,659	1,819	延4,782	1,917	延4,800
	3,061		2,963		2,883	
小山台	942	延2,494	1,113	延2,709	1,220	延2,753
	1,552		1,596		1,533	

※「予防」の件数は令和元年度より予防給付件数と総合事業原則型および簡略型ケアマネジメント件数の総計。

5. 障害者計画相談支援（特定相談支援事業）

障害者計画相談支援 事業報告

《重点目標》

1. 在宅介護支援センターと連携
2. 障害者に対する包括的な相談支援
3. 地域において必要な社会資源の改善及び開発に努める

本年度は事業の本格的稼働となった。荏原西地区における事業の対象者へ相談支援の実施を行った。初めての障害者支援を行う部署として、関係機関との連携を始め試行錯誤の中で事業展開を行い、確かな知識と実践を身につけた。一方で様々な課題も見つかり、次年度以降、障害者福祉課および拠点計画相談支援事業所等の意見交換をより活発に行っていく必要を感じた。

1. 在宅介護支援センターと連携

併設する荏原在宅介護支援センターほか、同地区の小山、小山台在宅介護支援センターと綿密な情報交換、カンファレンス等を図り、クライアントへの支援実施を行うことができた。

2. 障害者に対する包括的な相談支援

障害者福祉課、拠点計画相談支援事業所との連絡相談体制を構築し、支援のタイミングを逸せず、タイムリーな相談支援体制の構築に努めた。

3. 地域において必要な社会資源の改善及び開発に努める

本年はクライアントに対しての支援を行うことを中心に事業を進めてきた。そのため必要な社会資源の開発や改善に着手することが困難であった。次年度も同様の目標を持ち取り組む予定である。

令和4年度	利用者数	160
	身体障害	108
	重症心身障害	9
	知的障害	38
	高次脳機能障害	2
	その他	3
	計画相談件数	55
	新規作成	49
	更新作成	3
	モニタリング	3

6 高齢者多世代交流支援施設(ゆうゆうプラザ)

今年度もコロナ禍の影響をうけ、事業の縮小があり、多世代交流の機会が少なくなっていたが、感染対応をしながら徐々にイベントの開催を再開した。3月22日～5月22日のリバウンド警戒期間は開館時間が通常に戻り、感染対策は継続しながら、目的内利用人数の制限解除、目的外の受付を再開した。声を出す活動(カラオケ等)は7月1日から再開したが、感染拡大により8月1日に再制限、10月17日に再開となっている。

令和5年3月13日よりマスク着用は個人判断となったが、地域交流スペース、ラウンジ、脱衣所等(不特定多数の方がご利用になる場所)はマスク着用をお願い、各部屋でのマスク着用に関しては各団体の判断としている。

1) 感染症対策のため中止した内容

新型コロナウイルス感染状況に応じて徐々に本来のイベント等を開催する予定だったが、収束に至らず、結果的に令和4年度は次の内容を中止した。

- ・カラオケ大会(個人、団体)
- ・ゆうゆうカフェ
- ・ゆうゆうまつり(熱中症、コロナ不安から参加団体より辞退申し出あり)
- ・障害者との交流イベント

2) 新たな視点による支援

長期化する新型コロナ感染症に伴い、依然として本来の活動を計画どおり実施できなかった。令和4年度も入浴サービスおよび健康増進室は、事前予約、時間および人数制限を行った。

引き続き、使用後の設備消毒を利用者に協力いただいた。

令和4年度も住民代表の「もりあげ隊」と、ゆうゆうプラザの発展および住民が現に抱えている「困り事」の意見交換を行った。また、脳活3種類は継続し、外出の機会、交流の場を設け、介護予防に努めた。この脳活によって新しい交流の輪が広がったと好評いただいた。

平塚橋ゆうゆうプラザ 事業報告

《重点目標》

1. ゆうゆうプラザ目的内事業の適切な運営に努める
2. 地域を基盤とする自主事業の企画を計り、事業内容の発展および地域住民のつながりを支援する
3. 福祉ニーズの顕在化をふまえた福祉連絡会「もりあげ隊」の定期的開催

1. ゆうゆうプラザ目的内事業の適切な運営に努める

個人登録および団体登録更新時期にあたるため、利用者や各登録団体には更新時期や受付時期等のわかりやすい案内、説明を心掛けた。また、各登録団体にアンケートを行い、利用者の意向を確認し、目的内の適正利用に努めた。

引き続き利用者には部屋の使用後の消毒、換気、人数制限に協力していただきながら、環境整備に努めた。

カラオケ（目的内）の再開にあたり、利用者には使用時のルールをお伝えし、安心してカラオケを楽しんでいただけるように感染対策に努めた。利用者より様々な意見や要望があり、その都度利用についてのルールを説明し、ご理解いただくよう努めた。

2. 地域を基盤とする自主事業の企画を計り、事業内容の発展および地域住民のつながりを支援する

「施設サービス全般」に対する満足度アンケートを実施し、89%の満足度が得られた。

言語聴覚相談については、成人枠も昨年よりも43人増えた。子どもの相談は今年度も80%の相談があり、1月からは新規相談は1時間枠とし、ゆっくりと面談できるよう体制を変更した。

3年ぶりに作品展を開催し、登録団体（7団体）と自主事業講座（4講座）の作品展示を行うことができた。アンケートには「皆さんの作品に刺激を受けた」等好評の意見をいただいた。また活動の成果を作品展に出品することで、利用者の作品作りへの意欲向上にもつながっている。

「平塚橋ゆうゆうポイント」を活用し、イベントでは協力員となり、もりあげ隊と共にイベントを盛り上げた。

住民主体の「つながりサロン」は定着し、参加者も増えつつある。定期的に体操、脳トレを行い、利用者同士の活発な交流の場となっている。3種類の「脳活」は好評で、特に「おとなの塗り絵」はすぐに定員になるため、利用者の要望をうけて、月2回に増回した。

地域交流スペースは囲碁や将棋を楽しむ利用者の姿が増えており「憩いの場」となっている。また近隣の小、中高校生の勉強場所としても使用されている。子ども、保護者とも安心して利用してもらえる場所として、また、気軽に立ち寄っていただけるスペースとして居心地のよい環境づくりに努めた。

3. 福祉ニーズの顕在化をふまえた福祉連絡会「もりあげ隊」の定期的開催

「もりあげ隊」の打合せを4回開催した。利用者代表である「もりあげ隊」から意見や要望をうかがい、事業運営に反映できるようにした。

7 安全への取り組み

令和3年度の介護保険法改正において新たに介護事故予防に向けた取り組みが運営基準の中で義務づけられ、介護事故予防に向けた取り組みを推進する担当者を配置した。指針に基づき、毎月、リスクマネジメント委員会、身体拘束廃止推進委員会、感染症対策委員会、虐待防止検討委員会を設置し、安全な施設運営へ取り組みを続けている。

事故報告件数（品川区報告）

（単位：人）

	成幸ホーム	成幸デイサービス	戸越台ホーム	戸越台デイサービス	荏原ホーム	荏原ショートステイ	荏原デイサービス	小山デイサービス	平塚橋ホーム	支援センター	合計
身体的不自由に起因											
転倒・転落	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	3
誤嚥性肺炎	-	-	7	-	2	1	-	-	1	-	11
骨折	4	-	2	-	3	3	-	-	2	-	14
設備に起因	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染症・食中毒・疥癬等（※）	1	-	1	-	3	1	-	-	7	2	15
交通事故	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
震災・風水害・火災	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
利用者間トラブル	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
職員の行為（不注意等）											
誤薬等	3	-	1	-	5	4	-	-	-	-	13
離設・徘徊	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
個人情報取扱不備	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
不注意	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他 救急搬送等	4	1	5	1	9	8	1	-	-	-	29
合計	13	1	16	1	23	18	3	-	10	4	89

支援センターは6か所の合計

その他 救急搬送等は 病状の悪化、意識障害など

（※）の数は報告件数

8 研修報告

1) 国内外研修

新型コロナウイルス感染症の影響で、実施できなかった。

2) 施設外研修

東京都高齢者施設福祉部会をはじめとする各種研修、研究会などは、新型コロナウイルス感染症の影響もまだあり、オンラインでの開催が多かったが、参加型、オンラインとの併用での開催も始まり参加した。

3) 施設内研修

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、引き続き必須の研修は集合型ではなく、資料配布やオンライン動画研修などを取り入れた。

9 地域活動

1) 生と死を見つめる懇談会（地域公益活動）

例年は開催しているが、新型コロナウイルス感染症の影響により開催することができなかった。

2) 広報紙「三徳だより」の発行

法人の各種事業内容や福祉情報を地域の方々や関係機関に広報することを目的に、広報紙「三徳だより」を発行した。新型コロナウイルス感染症の影響のために刊行が遅れた。

発行後は、地域や休止しているボランティアに幅広く送付した。

3) ホームページの活用

定期的にホームページを更新し、各種サービスの情報を発信した。

4) 地域交流会（地域公益活動）

新型コロナウイルス感染症の影響で開催できなかった。

5) 高齢者と介護者のための料理教室

年4回、4施設の管理栄養士が共働で開催予定であったが新型コロナウイルス感染拡大予防対策のため引き続き中止とした。今年度も、三徳だよりにレシピやコラムを掲載した他、レシピを広く配布した。

6) ボランティア懇談会

新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかった。

7) 地域行事への参加

新型コロナウイルス感染症の影響で各行事が中止となり参加できなかった。

10 その他

1) 実習生・研修生

感染予防に配慮しながら、人材育成と社会貢献などを目的として計画的に受け入れた。

2) 防災対策

火災や震災などを想定した防災訓練を継続的に実施した。併せて消防設備の機能、活用方法の確認や、緊急時の職員の連絡訓練も実施した。町会、荏原消防署の協力による同防災訓練は、感染対策を講じながら縮小して実施した。

3) 感染症対策

新型コロナウイルス感染症の予防のために、各施設では徹底した消毒や面会制限などさまざまな対策を講じたが、感染症が発生した施設もあった。今後も新型コロナウイルス感染症に限らず、インフルエンザ、ノロウイルスなどの感染症に対しても継続して予防していきたい。

11 業績

1) 表彰など

◇東京都社会福祉協議会 東京都社会福祉協議会会長感謝状（永年勤続功績者）

受賞：倉石亜季、齋藤勝己、富田淑子、平田芙未、磯田斉明

久保寛明、猪股悠子、新庄祐子、青木健、加藤由美子、末吉加奈子

邊見正明、猪股藤彰、福島智子、喜村優貴、倉重隆秀、杉山和代

石沢正行、白井美奈、石田由香、山田悦子、中島麻実、安久学、飯泉優子

◇東京消防庁 消防総監表彰状(自衛消防隊)受賞：成幸ホーム

◇東京消防庁 予防部長表彰状(自衛消防隊)受賞：戸越台ホーム

◇東京消防庁 荏原消防署長表彰状(防火管理者)受賞：山口由美子

◇東京消防庁 荏原消防署長表彰状(自衛消防隊)受賞：荏原ホーム

12 新型コロナウイルス感染症の対応

1) 新型コロナウイルス感染症の発生

令和4年度は、感染の主流がデルタ株からオミクロン株に変わり、持病がない若い世代を中心に軽症で済む人が多くなり、またワクチン接種がすすんだことで重症化する人の割合が減少した。しかし11月から発生した第8波は非常に感染力が強く、家庭内感染者が増加し、出勤停止や勤務制限をした職員も生じた。

【感染症発生後の主な事業継続対応】

- ・館内のゾーニングを実施し、感染防護具を着用
- ・入浴は中止し清拭対応
- ・東京都医療支援チームによるゾーニング等の助言指導

各施設、サービスごとの感染状況と対応は以下のとおりである。

(1) 成幸ホーム

期 間：12月16日～令和5年1月12日（解除日）

感染者累計：利用者14名（3名入院、1名入院中ご逝去）、職員5名

〈利用者〉

12月20日 3階利用者 集団PCR検査 陽性1名

抗原検査 陽性13名

利用者合計 14名

〈職員〉

スクリーニング検査 陽性1名

抗原検査 陽性4名

職員合計 5名

(2) 成幸在宅サービスセンター

期 間：12月24日～12月28日（解除日）

感染者累計：利用者6名、職員4名

〈利用者〉

後日判明した陽性利用者と同じ送迎車だった利用者5名が次々に感染した形と思われるが、感染経路は特定に至らず。

〈職員〉

12月23日1名、12月24日2名、12月27日1名。3名は自宅療養。1名は宿泊施設にて療養。

〈時間短縮営業〉

12月24日～12月28日 4日間（入浴利用者だけの営業。日曜を除く）

サービス利用の方で独居の方、希望者には配食サービスの臨時利用で対応した。
配食サービス利用者は4日間、延18名。

(3) 戸越台ホーム

期 間：10月21日～11月10日（解除日）

感染者累計：利用者39名（ショート2名含む）、職員19名

〈利用者〉

10月21日 利用者4名発熱、23日までに23名が感染
10月23日 東京都即応支援チームの指導
10月26日・11月1日・11月7日 東京都医療支援チーム・品川区保健所の指導

〈検 査〉

10月27日 PCR検査実施 対象：利用者・職員全員
11月2日・9日 PCR検査実施 対象：利用者

〈職 員〉

発症期間中、出勤前に抗原検査を実施、また週1回スクリーニングでのPCR検査を実施

(4) 戸越台在宅サービスセンター

〈利用者〉

令和5年1月27日に陽性職員と接触のあった利用者1名が、PCR検査で陽性となる。他利用者4名が濃厚接触者疑いとして自宅で健康観察を行った。

〈職 員〉

令和5年1月25日に職員1名の陽性が判明し自宅療養となった。

(5) 荏原ホーム

①期間：4月27日～5月7日（解除日）

感染者累計：4Fフロア 利用者3名

②期間：8月23日～9月12日（解除日）

感染者累計：3Fフロア 利用者25名、職員8名

③期間：令和5年1月25日～2月11日（解除日）

感染者累計：4Fフロア 利用者12名、職員5名

(6) 平塚橋ホーム

①期間：4月9日～23日（解除日）

感染者累計：利用者4名、職員2名

②期間：9月7日～17日（解除日）

感染者累計：利用者2名、職員2名

③期間：12月11日～令和5年1月5日（解除日）

感染者累計：利用者41名（入院8名）、職員22名

〈利用者〉

東京都実地疫学調査チーム指導、令和4年12月21日～令和5年1月5日までショートステイ受け入れ中止

2) 令和3年度より継続している対応

(1) 特別養護老人ホーム

- ・面会制限、オンライン面会の実施、見学者の制限
- ・ボランティア活動の制限・休止、実習生受け入れの制限
- ・納涼祭、敬老の式典などの縮小、ホーム喫茶などの変更
- ・利用者の体調・施設の状況に合わせて食事内容を変更
- ・感染症予防・感染症拡大防止のため使い捨て食器を使用

(2) デイサービス・ショートステイ

- ・アクリルボードの設置、プログラムの一部変更
- ・運営推進会議等各種会議の工夫、一般介護予防事業の人数減
- ・密にならないような環境整備、利用者の体調・施設の状況に合わせて食事内容を変更、感染症予防・感染症拡大防止のため使い捨て食器を使用
- ・営業日以外の配食提供、デイサービスの中止、利用者の意向に合わせて配食サービスに切り替え
- ・送迎車両の消毒と換気

(3) 支援センター

- ・訪問時の配慮、在宅勤務、オンライン研修の実施、地区ケア会議の変更

(4) ゆうゆうプラザ

- ・入浴サービス 定員の半分以下の利用

(5) 中止した主な事業

ボランティア懇談会／高齢者と介護者のための料理教室／生と死をみつめる懇談会／地域交流会／介護者教室／地域交流事業／つながりクッキング／国内外職員研修派遣／職員懇親会 等

(6) PCR検査

感染症対策強化事業(東京都)

特養新入所者(入所時)

施設職員、委託業務職員等（無症状者のスクリーニング検査・週1回）

(7) 抗原検査

感染症対策強化事業（東京都）

感染症が発症した施設では該当するフロアの利用者へのスクリーニング検査として抗原検査を実施した。職員においては感染解除期間まで、抗原検査を実施して陰性を確認後に業務に従事した。

また、品川区では濃厚接触者となった介護従事者等に対し、自宅待機期間短縮等支援事業として、申し込みによる抗原検査キットの配布があった。（在宅介護支援センター）

3) 集団コロナワクチン接種について

〈利用者〉

令和4年度の利用者集団ワクチン接種は、各施設内で以下のとおり4回(①～④)実施した。

成幸ホーム ①8月29日(月) ②9月20日(火) ③12月23日(金)、
④令和5年1月18日(水)

戸越台ホーム ①6月17日(金) ②12月23日(金) ③9月20日(火)
④令和5年1月18日(水)

荏原ホーム ①6月28日(火) ②9月20日(火) ③12月20日(火)
④令和5年1月18日(水)

平塚橋ホーム ①8月22日(月) ②9月20日(火) ③令和5年2月7日(火)
④令和5年3月22日(水)

資料編

1. 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

1) 令和4年度の利用者動向（令和5年3月31日現在）

端数処理は小数点第二位を四捨五入した。

平均年齢

（単位：歳）

区分	成 幸 定員80名	戸越台 定員72名	荏 原 定員120名	平塚橋 定員100名
合計	88.8	89.1	90.2	90.8
男性	86.4	85.9	87.3	88.2
女性	89.3	89.8	90.6	91.4
男性 最高年齢	99	101	96	97
女性 最高年齢	101	106	106	105

年齢別男女構成比

		64～69歳		70～74歳		75～79歳		80～84歳		85～89歳		90～94歳		95歳以上		100歳以上		男女比	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
成 幸	合 計	1人		4人		3人		7人		22人		26人		10人		3人			
		1.3%		5.3%		3.9%		9.2%		28.9%		34.2%		13.2%		3.9%			
	区 分	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	人 数	—	1	2	2	—	3	3	4	4	18	4	22	1	9	—	3	14	62
	%	—	1.6	2.6	2.6	—	3.9	3.9	5.3	5.3	23.7	5.3	28.9	1.3	11.8	—	3.9	18.4	81.6

		64～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	100歳以上										
戸越台	合計	1		1		4人		10		20		18人		9人		6人		男女比	
		1.4%		1.4%		5.8%		14.5%		29.0%		26.1%		13.0%		8.7%			
	区分	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	人数	1	-	1	-	-	4	2	8	4	16	2	16	1	8	-1	5	12	57
	%	1.4	-	1.4	-	-	5.8	2.9	11.6	5.8	23.2	2.9	23.2	1.4	11.6	1.4	7.2	17.4	82.6
荏原	合計	-		-		5人		11人		28人		42人		22人		6人		男女比	
		-		-		4.4%		9.6%		24.6%		36.8%		19.3%		5.3%			
	区分	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	人数	-	-	-	-	1	4	3	8	5	23	2	40	3	19	-	6	14	100
	%	-	-	-	-	0.9	3.5	2.6	7.0	4.4	20.2	1.8	35.1	2.6	16.7	-	5.3	12.3	87.7
平塚橋	合計	-		1人		2人		15人		15人		30人		20人		5人		男女比	
		-		1.1%		2.3%		17.0%		17.0%		34.1%		22.7%		5.7%			
	区分	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	人数	-	-	-	1	2	-	4	11	2	13	4	26	3	17	-	5	15	73
	%	-	-	-	1.1	2.3	-	4.5	12.5	2.3	14.8	4.5	29.5	3.4	19.3	-	5.7	17.0	83.0

2) 利用者の入退所状況

(成 幸)

		月末入所者数								
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月		
末日 利用者数	男性	12	14	13	14	14	14	14		
	女性	53	56	59	60	59	60	59		
	合計	65	70	72	74	73	74	73		
入所者数	在宅	男性	—	1	—	—	—	—	—	
		女性	1	2	3	1	1	3	—	
	病院	男性	—	—	—	—	—	—	—	
		女性	1	1	—	—	—	—	—	
	再入所	男性	—	1	—	—	—	—	—	
		女性	1	—	3	—	—	—	1	
	その他	男性	—	—	—	1	—	—	—	
		女性	1	2	—	1	—	—	—	
	合計	男性	—	2	—	1	—	—	—	
		女性	4	5	6	2	1	3	1	
実入所者合計		3	6	3	3	1	3	—		
退所者数	短期入院	男性	—	—	—	—	—	—	—	
		女性	1	2	1	—	—	1	1	
	長期入院	男性	—	—	—	—	—	—	—	
		女性	—	—	—	—	—	—	1	
	短期入院中死亡	男性	—	—	—	—	—	—	—	
		女性	—	—	—	—	—	—	—	
	施設内死亡	男性	—	—	1	—	—	—	—	
		女性	2	1	1	—	2	1	1	
	その他	男性	—	—	—	—	—	—	—	
		女性	—	—	—	1	—	—	—	
合計	男性	1	—	1	—	—	—	—		
	女性	2	3	2	1	2	2	3		
実退所者合計		2	1	2	1	2	1	2		
要介護度別内訳	要介護1	3	3	3	3	3	3	3		
	要介護2	4	4	4	4	3	3	3		
	要介護3	24	26	28	29	29	28	28		
	要介護4	18	21	21	22	23	25	25		
	要介護5	16	16	16	16	15	15	14		
平均介護度		3.8	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6		
延人数		1,896	2,051	2,100	2,268	2,282	2,222	2,279		
月稼働率 (%)		79.2	82.9	88.0	91.5	92.0	92.8	92.1		

- 注) 1. 平均介護度、本月稼働率の端数処理は、小数点第二位を四捨五入する。
 2. 本月稼働率は、調査月の延べ人数を定員×月日数で割り%明記する。
 3. 短期入院は3カ月以内の入院、長期入院は3カ月以上の入院

(単位：人)

	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	平均
	13	14	15	15	14		13.8
	60	58	57	56	62		58.3
	73	72	72	71	76		72.1
	—	1	—	—	—	2	0.2
	1	—	1	—	1	14	1.2
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	2	0.2
	—	—	—	—	—	1	0.1
	1	1	1	1	2	11	0.9
	1	—	1	—	—	3	0.3
	2	1	—	1	5	13	1.1
	1	1	1	—	—	6	0.5
	4	2	2	2	8	40	3.3
	4	2	2	1	6	34	2.8
	—	—	—	—	—	—	—
	—	1	2	1	1	11	0.9
	1	—	—	—	—	1	0.1
	—	1	—	—	—	2	0.2
	—	—	—	—	—	—	—
	—	1	—	—	—	1	0.1
	1	—	—	—	1	3	0.3
	2	2	1	1	1	15	1.3
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	1	0.1
	2	—	—	—	1	5	0.4
	2	5	3	2	2	29	2.4
	4	4	1	1	2	23	1.9
	3	3	3	3	3		3.0
	4	4	4	4	4		3.8
	29	29	30	31	34		28.8
	23	23	22	21	24		22.3
	14	13	13	12	11		14.3
	3.6	3.5	3.5	3.5	3.5		3.6
	2,156	2,207	2,183	1,955	2,232	25,831	2,153
	90.3	89.3	88.5	87.5	92.0		88.8

(戸越台)

		月末入所者数							
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
末日 利用者数	男性	11	12	11	12	10	11	8	
	女性	58	58	58	57	55	55	48	
	合計	69	70	69	69	65	66	56	
入所者数	在宅	男性	—	1	—	1	—	—	—
		女性	—	—	—	—	1	—	—
	病院	男性	1	—	—	—	—	1	—
		女性	—	2	—	—	—	—	1
	再入所	男性	—	—	—	—	—	1	—
		女性	—	—	1	—	—	1	1
	その他	男性	1	—	—	—	—	—	—
		女性	—	—	1	1	—	1	—
	合計	男性	2	1	—	1	—	2	—
		女性	—	2	2	1	1	2	2
実入所者合計		2	3	1	2	1	2	1	
退所者数	短期入院	男性	—	—	—	—	1	—	3
		女性	1	—	1	—	—	—	6
	長期入院	男性	1	—	—	—	—	1	—
		女性	—	2	—	—	1	2	2
	短期入院中死亡	男性	—	—	1	—	—	—	—
		女性	—	—	—	1	—	—	—
	施設内死亡	男性	—	—	—	—	1	—	—
		女性	—	—	1	1	3	—	—
	その他	男性	—	—	—	—	—	—	—
		女性	—	—	—	—	—	—	—
合計	男性	1	—	1	—	2	1	3	
	女性	1	2	2	2	4	2	8	
実退所者合計		1	1	2	1	4	1	1	
要介護度別内訳	要介護1	—	—	—	—	—	—	—	
	要介護2	3	2	2	2	3	3	3	
	要介護3	21	23	23	24	24	26	21	
	要介護4	27	27	26	27	24	24	20	
	要介護5	18	18	18	16	14	13	12	
平均介護度		3.9	3.9	3.9	3.8	3.8	3.7	3.7	
延人数		2,056	2,177	2,061	2,137	2,078	1,953	2,033	
月稼働率(%)		95.3	97.5	95.4	95.7	93.1	90.4	91.1	

- 注) 1. 平均介護度、本月稼働率の端数処理は、小数点第二位を四捨五入する。
 2. 本月稼働率は、調査月の延べ人数を定員×月日数で割り%明記する。
 3. 短期入院は3カ月以内の入院、長期入院は3カ月以上の入院

(単位：人)

	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	平均
	9	17	10	11	12		11.2
	57	67	59	59	57		57.3
	66	84	69	70	69		68.5
	—	1	—	—	—	3	1.0
	2	—	1	—	1	5	1.3
	—	—	—	—	—	2	1.0
	—	—	—	—	—	3	1.5
	3	1	—	—	—	5	1.7
	26	—	1	—	—	30	6.0
	—	1	—	1	1	4	1.0
	2	—	1	1	—	7	1.2
	3	3	—	1	1	14	1.2
	30	—	3	1	1	45	3.8
	4	2	2	2	2	24	2.0
	1	—	—	—	—	5	1.7
	21	—	—	—	1	30	6.0
	—	1	—	—	—	3	1.0
	—	—	—	—	—	7	1.8
	1	—	1	—	—	3	1.0
	—	—	—	1	—	2	1.0
	—	—	—	—	—	1	1.0
	—	1	—	—	2	8	1.6
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	2	1	1	—	—	12	1.0
	21	1	—	1	3	47	3.9
	3	1	2	2	2	21	1.8
	—	—	—	—	—		—
	3	3	3	4	4		2.9
	24	26	27	28	27		24.5
	23	24	24	24	23		24.4
	16	14	15	14	15		15.3
	3.8	3.7	3.7	3.7	3.7		3.8
	1,817	2,063	2,104	1,957	2,160	24,596	2,050
	84.1	92.4	94.3	97.1	96.8		93.6

(荏 原)

		月末入所者数								
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月		
末日 利用者数	男性	13	12	13	13	13	11	10		
	女性	105	107	105	107	101	96	102		
	合計	118	119	118	120	114	107	112		
入所者数	在宅	男性	—	—	1	—	—	—	—	
		女性	1	2	—	3	—	1	—	
	病院	男性	1	—	—	—	—	—	—	
		女性	—	—	—	—	—	—	—	
	再入所	男性	—	—	—	—	1	2	—	
		女性	—	4	1	1	—	10	3	
	その他	男性	—	—	—	—	—	—	—	
		女性	2	1	1	4	—	1	3	
合計	男性	1	—	1	—	1	2	—		
	女性	3	7	2	8	—	12	6		
実入所者合計		4	3	2	7	—	2	3		
退所者数	短期入院	男性	—	—	—	—	1	2	—	
		女性	—	4	1	1	—	13	—	
	長期入院	男性	—	—	—	—	—	1	—	
		女性	—	—	—	—	1	1	—	
	短期入院中死亡	男性	—	—	—	—	—	—	—	
		女性	—	1	2	1	1	—	—	
	施設内死亡	男性	—	1	—	—	—	1	1	
		女性	1	—	1	—	4	3	—	
その他	男性	—	—	—	—	—	—	—		
	女性	—	—	—	—	—	—	—		
合計	男性	—	1	—	—	1	4	1		
	女性	1	6	4	2	6	17	—		
実退所者合計		1	1	3	1	6	6	1		
要介護度別内訳	要介護1	1	1	1	1	1	1	1		
	要介護2	5	6	6	6	6	6	7		
	要介護3	37	35	36	36	36	37	37		
	要介護4	48	50	47	49	44	40	42		
	要介護5	27	27	28	28	27	23	25		
平均介護度		3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.7	3.7		
延人数		3,475	3,604	3,523	3,689	3,628	3,289	3,404		
月稼働率(%)		96.5	96.9	97.9	99.2	97.5	91.4	91.5		

- 注) 1. 平均介護度、本月稼働率の端数処理は、小数点第二位を四捨五入する。
2. 本月稼働率は、調査月の延べ人数を定員×月日数で割り%明記する。
3. 短期入院は3カ月以内の入院、長期入院は3カ月以上の入院

(単位：人)

					年度合計	平均
11月	12月	1月	2月	3月		
13	14	13	13	14		12.7
102	103	102	99	100		102.4
115	117	115	112	114		115.1
2	—	—	—	—	3	0.3
2	1	1	—	—	11	0.8
—	1	—	—	—	2	0.2
—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	1	—	4	0.5
2	3	—	10	3	37	2.5
1	—	—	—	1	2	0.2
2	1	2	2	2	21	1.7
3	1	—	1	1	11	0.9
6	5	3	12	5	69	5.8
7	3	3	2	3	39	3.3
—	—	—	1	—	4	0.7
5	—	—	13	2	39	5.6
—	—	—	—	—	1	0.1
—	—	—	—	—	2	0.2
—	—	—	—	—	—	—
—	—	2	—	—	7	0.9
—	—	1	—	—	4	0.4
1	4	2	2	2	20	1.3
—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—
—	—	1	1	—	9	1.3
1	4	4	15	4	64	5.8
1	4	5	2	2	33	2.8
1	1	1	1	2		1.1
7	7	7	7	7		6.4
39	42	43	41	42		38.4
40	39	38	40	40		43.1
28	28	26	23	23		26.1
3.8	3.7	3.7	3.7	3.7		3.8
3,416	3,599	3,589	3,156	3,527	41,899	3,192
94.9	96.7	96.5	93.9	94.8		95.6

(平塚橋)

		月末入所者数								
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月		
末日 利用者数	男性	19	19	19	18	18	17	17		
	女性	75	76	78	77	75	75	75		
	合計	94	95	97	95	93	92	92		
入所者数	在宅	男性	—	—	—	1	—	—	—	
		女性	1	1	—	1	1	—	—	
	病院	男性	—	—	—	—	—	—	—	
		女性	—	—	—	—	—	—	—	
	再入所	男性	2	—	—	—	—	2	—	
		女性	2	1	—	1	2	3	—	
	その他	男性	—	—	—	—	—	—	—	
		女性	1	1	3	—	—	2	1	
	合計	男性	2	—	—	1	—	2	—	
		女性	4	3	3	2	3	5	1	
実入所者合計		2	2	3	2	1	2	1		
退所者数	短期入院	男性	2	—	—	—	—	2	—	
		女性	3	1	—	1	3	1	—	
	長期入院	男性	—	—	—	1	—	—	—	
		女性	—	—	—	1	1	—	—	
	短期入院中死亡	男性	—	—	—	—	—	—	—	
		女性	—	—	—	—	—	1	—	
	施設内死亡	男性	—	—	—	1	—	1	—	
		女性	1	—	1	1	1	3	1	
	その他	男性	—	—	—	—	—	—	—	
		女性	—	1	—	—	—	—	—	
合計	男性	2	—	—	2	—	3	—		
	女性	4	2	1	3	5	5	1		
実退所者合計		1	1	1	4	2	5	1		
要介護度別内訳	要介護1	3	3	3	5	5	5	5		
	要介護2	5	5	5	6	6	9	9		
	要介護3	40	40	41	41	41	37	37		
	要介護4	24	25	25	22	20	23	23		
	要介護5	22	22	23	21	21	18	18		
平均介護度		3.6	3.6	3.6	3.5	3.5	3.4	3.4		
延人数		2,801	2,908	2,897	2,955	2,909	2,804	2,851		
月稼働率(%)		93.4	93.8	96.6	95.3	93.8	93.5	92.0		

- 注) 1. 平均介護度、本月稼働率の端数処理は、小数点第二位を四捨五入する。
 2. 本月稼働率は、調査月の延べ人数を定員×月日数で割り%明記する。
 3. 短期入院は3カ月以内の入院、長期入院は3カ月以上の入院

(単位：人)

	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	平均
	18	17	18	16	15		17.6
	70	67	67	72	73		73.3
	88	84	85	88	88		90.9
	—	—	1	—	—	2	0.2
	—	—	—	1	—	5	0.4
	—	—	—	—	1	1	0.1
	—	—	—	—	—	—	—
	—	1	2	1	—	8	1.6
	—	3	1	2	—	15	1.9
	1	—	—	—	—	1	1.0
	—	3	—	6	2	19	2.4
	1	1	3	1	1	12	1.0
	—	6	1	9	2	39	3.3
	1	3	1	7	3	28	2.3
	—	2	1	1	2	10	1.7
	—	3	1	3	—	16	2.0
	—	—	—	—	—	1	0.1
	—	1	—	—	—	3	0.3
	—	—	—	1	—	1	0.1
	1	2	—	—	—	4	0.3
	—	—	—	1	—	3	0.3
	4	3	—	1	—	16	1.8
	—	—	1	—	—	1	0.1
	—	—	—	—	1	2	0.2
	—	2	2	3	2	16	1.3
	5	9	1	4	1	41	3.4
	5	6	1	3	1	31	2.6
	5	5	4	4	4		4.3
	9	9	10	9	9		7.6
	34	34	33	35	34		37.3
	21	20	22	24	24		22.8
	19	16	16	16	17		19.1
	3.5	3.4	3.4	3.4	3.5		3.5
	2,695	2,693	2,605	2,430	2,735	33,283	2,774
	89.8	86.9	84.0	86.8	88.2		91.2

平均入所期間

	成 幸		戸越台		荏 原		平塚橋	
	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)
1年未満	30	39.5	19	27.5	32	28.1	23	26.1
1年以上～2年未満	9	11.9	10	14.5	28	24.6	24	27.3
2年以上～3年未満	9	11.9	15	21.7	15	13.2	10	11.4
3年以上～4年未満	8	10.5	6	8.7	11	9.6	7	8.0
4年以上～5年未満	4	5.3	1	1.4	8	7.0	3	3.4
5年以上～6年未満	6	7.9	3	4.3	2	1.8	3	3.4
6年以上～7年未満	3	3.9	4	5.8	9	7.9	18	20.5
7年以上～8年未満	2	2.6	6	8.7	1	0.8	—	—
8年以上～9年未満	2	2.6	3	4.3	3	2.6	—	—
9年以上～10年未満	2	2.6	—	—	1	0.8	—	—
10年以上	1	1.3	2	2.9	4	3.5	—	—

年間総入院回数

		成 幸		戸越台		荏 原		平塚橋	
		人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)
入院回数	1回	9	81.8	45	93.8	52	96.3	21	84.0
	2回	—	—	3	6.2	2	3.7	3	12.0
	3回	1	9.1	—	—	—	—	1	4.0
	4回	1	9.1	—	—	—	—	—	—
	5回以上	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計	11	100.0	48	100.0	54	100.0	25	100.0
延べ年間総入院者数		16	—	51	—	54	—	45	—
総入院日数		451	—	1,027	—	909	—	1,120	—
1人あたりの入院日数		28.2日		20.1日		16.8日		23.3日	

3) 利用者の日常生活自立度

認知症高齢者の日常生活自立度

	区分	正常	I	II a	II b	III a	III b	IV	M
成 幸	人数	1	2	7	17	27	8	13	1
	%	1.3	2.7	9.2	22.4	35.5	10.5	17.1	1.3
戸越台	人数	—	2	3	13	22	17	12	—
	%	—	2.9	4.3	18.8	31.9	24.6	17.4	—
荏 原	人数	—	3	12	16	43	17	20	3
	%	—	2.6	10.5	14.0	37.7	14.9	17.5	2.6
平塚橋	人数	3	6	6	17	34	8	19	1
	%	3.2	6.4	6.4	18.1	36.2	8.5	20.2	1.1

障害高齢者の日常生活自立度

	区分	自立	J 1	J 2	A 1	A 2	B 1	B 2	C 1	C 2
成 幸	人数	—	—	1	5	14	14	32	5	5
	%	—	—	1.3	6.6	18.4	18.4	42.1	6.6	6.6
戸越台	人数	—	1	—	4	9	14	28	9	4
	%	—	1.4	—	5.8	13.0	20.3	40.6	13.0	5.8
荏 原	人数	—	—	1	12	21	24	36	13	7
	%	—	—	1.0	10.5	18.4	21.1	31.6	11.4	6.1
平塚橋	人数	1	1	2	12	20	22	26	9	1
	%	1.1	1.1	2.1	12.8	21.3	23.4	27.7	9.6	1.1

4) 家族などの訪問(面会)者数・外泊状況

新型コロナウイルス感染対応のため、令和4年度も面会は制限をつけての実施となり、時期によりリモートを活用するなどしたが、各施設、施設の状況を踏まえつつ、面会場所、回数、事前予約など、家族に配慮をして行った。

①訪問(面会)者数

(単位：人)

	年度合計	月平均
成 幸	342	28.5
戸 越 台	443	36.9
荏 原	964	80.3
平 塚 橋	1,084	90.3

②外泊状況

外泊は控えていただき実績はない。

5) 三徳懇談会

利用者懇談会

(成 幸)

(単位：人)

開催日	実施階	主な懇談内容	参加人数
4. 4. 3	2. 3. 4	選択食・お楽しみ食について	8
4. 5. 1	2. 3. 4	今日は何の日？立夏について	5
4. 6. 5	2. 3. 4	当月の予定・理美容サービスについて	8
4. 7. 3	2. 3. 4	外国人従事者・当月の予定について	10
4. 8. 7	2. 3. 4	コロナウイルスワクチン接種について	7
4. 9. 4	2. 3. 4	敬老式典・品川区長選挙期日前投票について	6
4.10. 2	2. 3. 4	全館停電・当月の予定について	8
4.11. 6	2. 3. 4	実習生・当月の予定について	5
4.12. 4	2. 3. 4	クリスマス会・ワクチン接種について	6
5. 1.22	2. 3. 4	コロナウイルス発生状況について	6
5. 2. 5	2. 3. 4	当月の予定について	7
5. 3. 5	2. 3. 4	防災訓練・当月の予定について	9

※参加人数は2・3・4階利用者の合計人数

(戸越台)

(単位：人)

開催日	実施階	主な懇談内容	参加人数
4. 4.13	7	「お困りごとはないですか？」	13
4. 5.19	5	「ホームのお食事、食べたい物は？」	14
4. 6.14	6	インタビュー「私のねがい」	15
4. 7. 6	7	インタビュー「夏と言えば？」	15
4. 8.18	5	インタビュー「私が望むこと」	15
4. 9.20	6	「敬老式典について」	15
4.10.19	7	インタビュー「もしも願いが叶うなら」	15
4.11.24	5	「風邪の予防について」	12
4.12.22	6	インタビュー「クリスマスと言えば？」	13
5. 1. 5	7	「今年の願いごと」	13
5. 2.21	5	「私はこうありたい」	15
5. 3.14	6	「私のおもい」	14

(荏原)

(単位：人)

年	実施階	主な懇談内容	参加人数
4.4.29	3	こどもの日の思い出 全館停電について	15
		館内コロナ感染のため実施せず	—
4.6.25	3	梅雨、夏の思い出について	13
4.7.23	4	七夕の思い出、この夏に食べたいメニュー調べ	6
		館内コロナ感染のため実施せず	—
		館内コロナ感染のため実施せず	—
4.10.23	3	外出したい場所思い出に残っている場所について	11
4.11.20	4	旅行の思い出	6
5.1.18	3	お正月について、食べ物の思い出、大規模修繕工事について	15
		館内コロナ感染のため実施せず	—
		館内コロナ感染のため実施せず	—

(平塚橋)

(単位：人)

年	実施階	主な懇談内容	参加人数
4.5.12	3	館内コロナ感染のため実施せず	
		感染症について、昔の思い出について	4
4.6.9	4	面会方法の変更について、施設での楽しみについて	6
4.7.7	2	不在者投票について	5
4.8.10	3	コロナワクチン接種について、感染症について	5
		館内コロナ感染のため実施せず	
4.10.13	2	感染症について、電気設備点検による停電について	6
4.11.3	3	食事について、施設での生活について	6
		館内コロナ感染のため実施せず	
		館内コロナ感染のため実施せず	
5.2.2	3	コロナワクチン接種について	4
5.3.9	4	面会について、食事について	5

6) セルフチェックシート（自己評価表）

平成15年から区内施設の自主的な取り組みとして、「品川区施設サービス研究会」が立ち上げられ、セルフチェックシートの開発、運用を行ってきた。セルフチェック（自己評価）を実施し、19年を経過し定着してきている。

今回のセルフチェックは一昨年までの「A」「B」「C」3段階の評価を踏襲しつつ、さらに分析できるように「S」（「A」が50%以上）、「D」（「C」が50%以上）を加えた5段階で集計を行い、向上、改善への活用を図ることとした。

成 幸

セルフチェックの総括

今年度は介護、看護、訓練の職務経験3年以上の職員24名を対象とした。集計すると「A」の割合が84.8%、「B」が4.8%、「C」が10.4%となった。1の食事の項目で「食堂の雰囲気づくり」の部分がC評価になってしまったが、コロナ禍の感染症対策で感染防止に重点を置いていることが要因と考えられる。しかし、その中でも職員はなるべく仲の良い利用者同士が近くに座れるよう席の配慮をしている。また「食事の衛生管理」の（1）の部分がC評価になっているが、コロナ禍において感染防止に重点を置いているにもかかわらず、ご自身で出来ない方の手洗い支援が徹底できていないことが判明した。

感染防止において手指の衛生管理は最重要事項なので、再徹底をしていく。6の「外出援助」では4つの項目すべてがC評価となった。コロナ禍における感染症対策で外出支援が行えず、地域との交流もできなかったことが大きな要因と考えられる。しかし令和5年5月にはコロナが「5類」に移行されるため、ホームでも外出制限の解除や地域活動の再開を検討していく。なお、レクリエーションを提供したり、屋上で外気浴を行ったりするなど、利用者が気分転換を図れるような対応は今後も継続していく。8の「生活づくり」の3つの項目すべてがC評価となった。コロナ禍の感染症対策で感染防止に重点を置いていることから、利用者が望むようなカラオケや集団でのレクリエーション、行事などが実施できていないことが要因と考えられる。しかし節分の日には個別に豆まき実施し、お正月に実施できなかったお雑煮を行ったところ、利用者はとても喜ばれた。今後は個別でも楽しめるような行事やレクリエーションを企画していく。

10の「認知症利用者への対応」が8つの項目のうち7つがA評価となった。異食をされる方、徘徊される方、声出しをされる方など様々な認知症利用者があるが、それぞれの症状に合わせて個別に対応できている。また定期的に認知症相談を受け、精神科医との連携体制ができていることもA評価につながっていると思われる。23の「働きやすい職場環境」の4つの項目すべてがA評価となった。特に労働力不足への配慮に関しては特定技能の外国人を2名雇用するなど、新たな試みをしている。

戸越台

セルフチェックの総括

今回も介護、看護、栄養、訓練の各セクションの常勤職員を対象とし、23名が評価を行った。今回135項目中S評価がA評価85.2%、B評価は11.8%、C評価は3.0%（新型コロナウイルス感染症のため実施できなかったもの）であった。

例年通り、新型コロナウイルス感染症の感染予防に努めていたが、発熱者の早期対応や職員の体調把握の甘さが要因となり、クラスターが発生してしまった。感染力が想像以上だったことや適切なゾーニングなどの初動対応が不十分であった。利用者の体調管理、食堂の席配置の工夫など、初動対応を適切に行い感染予防に努めいく必要がある。

日常生活の援助サービスについて、職員の経験や技術の違いで介護の質が大きく変わってしまうことがある。今後も未経験の職員や派遣職員が増えていくなかで、介助時の声かけが画一的になってはいないか、利用者の意欲を引き出す声かけを心がけているかなど、介護の基本である声かけの重要性を再認識して利用者との関係性を良好に保ち、安心していただけるよう取り組んでいく。また職員相互に気を配り注意し合える環境づくりなどコミュニケーションの活性化に取り組んでいく。

介護職員の確保については年々厳しさを増しており、法人あげて対応しているが、職員一人ひとりへの負担が増していることは否めない。昨年に引き続き、ICTの活用や補助職員への業務の棚卸をするなど、業務の省力化・効率化を進めている。働きやすい環境を整えると同時に介護の価値観の統一、魅力を感じ、気持ちにゆとりを持ってケアすることで介護離職を防ぎ、利用者満足度の向上につなげていく。

荏原

セルフチェックの総括

今年度は特養、ショートステイ、相談員の計42名の職員を対象としてセルフチェックを実施した。

結果、食事の項目「食事の衛生管理」でC評価となった内容があった。分類を見ると約67%の職員が概ねできていると評価しているが、30%の職員が不十分と評価している。コロナ感染が各階で起きてしまったことから今の対応では不十分と感じている表れと考えられる。より衛生面について取り組んでいく必要がある。

自立支援（リハビリテーション）に関しては、「自助具や介護用品の工夫」「動作介護技術の訓練について」の評価が下がっている。続くコロナ禍でリハビリ実施の機会が減ったことが要因のひとつであるが、今後取り組むべき課題と考えている。

一方、生活づくりの項目に関してプログラムの充実、個別性への対応が昨年度はC評価となっていたが、今年度は3項目すべてが評価を上げている。少しでも楽しんでいただく時間が増えるように、ケアワーカーが中心となって工夫し、それぞれのフロアでレクリエーション活動を実施できたことが評価向上につながったと考えられる。

これに関しては引き続き取り組んでいきたい。

また、ボランティアや地域との交流に関してはD評価となっているが、これはコロナでの影響であると判断している。

ショートステイにおいては昨年度B評価の項目がすべてS評価となっている。家族との事前の確認、医療処置に関する家族との話し合い、ケアマネジャーが作成した介護計画を反映したサービス内容の実施の項目である。自分たちがきちんと取り組んでいるという姿勢は、よりよいサービス提供にもつながると思うため、これを続けていけるよう取り組んでいく。

全体を通して評価が変わっていない項目についても課題として考えていく。

平塚橋

セルフチェックの総括

今年度も、介護、看護、訓練、栄養の各セクションで在職3年以上を対象とし、32名で実施した。

「D」評価となった項目で、外出や地域住民との交流という点では、コロナ禍ということもあり積極的には実施できなかった反面、季節に応じた館内の装飾や、菜園で収穫した野菜などを献立のメニューに加えるなどの工夫をしていた。今後は感染対策が緩和されるに伴い、どのように予防しながら外出や地域交流をしていくかが課題となってくる。利用者、家族とも協力を得ながら実現していきたい。

労働力不足への配慮においては、人員不足が慢性的となっており、職員の超過勤務が課題となっている。その中で、令和4年度には外国人を3名採用したことが明るい話題となっている。今後も積極的に採用につなげていきたい。

「C」評価の中では、災害時の協力やボランティアの項目で、職員に周知できていない面があるため、理解できるように周知していきたい。

「B」評価の中でも、利用者へのことばづかい、職員相互の注意の項目がやや低い数値になっている。ユニット型は利用者との距離が近くなるため、言葉が崩れてしまう面があるため、再度適切な言葉遣いについては周知し、利用者の生活がよりよいものとなるようにしていきたい。

栄養・調理

7) 個別の栄養状態に着目した栄養ケアマネジメントに基づいた特別な対応

<療養食の対応>

(単位：件)

項目	成幸	戸越台	荏原	平塚橋
糖尿病食	3	1	2	—
腎臓食	1	1	—	2
心臓病食	—	—	1	1
肝臓食	—	—	—	—
胃潰瘍食	—	—	—	—
貧血食	—	3	—	—
膵臓食	—	—	—	—
脂質異常症	—	—	—	1
痛風食	—	—	—	—

<個人対応>

(単位：件)

項目	成幸	戸越台	荏原	平塚橋
摂食障害	34	33	66	55
摂食嚥下	32	65	74	37
低体重	34	17	53	11
栄養障害	39	30	49	36
過体重	6	4	10	11
機能障害	37	52	38	47
その他	79	80	147	31

<食事形態>

(単位：件)

項目	成幸	戸越台	荏原	平塚橋
常食・刻み	31	28	43	46
極刻み(ソフト禁)	18	—	17	—
ソフト食	11	29	36	32
ペースト食	10	6	15	12
ゼリー食	—	—	—	—
その他	3	7	1	3

8) 残菜・嗜好調査

今年度は、特別養護老人ホーム、在宅の利用者において、副菜の常食と介護食の残菜率を比較した。

【残菜調査】

実施期間：第1回調査 令和4年11月（それぞれ1週間を調査期間とする）

第2回調査 令和5年2～3月

方 法：今回は、副菜（ほうれん草、大根）の料理について残菜調査を行った。

- ・サラダ：ミモザサラダ、大根サラダ
- ・炒め物：ソテー、金平
- ・他：胡麻和え、ふろふき大根胡麻味噌

四施設の残菜率

（単位：％、在宅：デイサービス・ショートステイ）

		四施設平均				成 幸				戸越台				荏 原				平塚橋				
		特養		在宅		特養		在宅		特養		在宅		特養		在宅		特養		在宅		
		常食	介護食	常食	介護食	常食	介護食	常食	介護食	常食	介護食	常食	介護食	常食	介護食	常食	介護食	常食	介護食	常食	介護食	
ほう れん 草	①	ミモザサラダ	7.0	6.3	5.1	4.9	6.1	15.3	4.5	0.8	4.8	0.8	4.2	0.0	7.7	4.2	5.1	18.8	9.5	5.1	6.5	0.0
	②	ソテー	7.2	8.0	7.5	0.0	8.8	8.1	6.7	0.0	4.6	5.6	9.6	0.0	7.1	5.4	2.2	0.0	8.5	12.8	11.7	0.0
	③	胡麻和え	9.1	7.7	6.2	9.5	10.2	20.7	2.9	38.1	8.5	7.0	2.4	0.0	9.4	2.2	5.7	0.0	8.4	1.1	14.0	0.0
大 根	①	大根サラダ	9.1	6.5	9.2	3.8	2.2	13.3	0.0	0.0	14.4	4.0	1.9	0.0	5.3	5.2	5.0	15.2	14.7	3.4	29.8	0.0
	②	金平	8.4	5.9	7.2	3.3	0.0	13.7	1.2	13.3	8.2	6.2	5.0	0.0	12.9	0.3	11.5	0.0	12.5	3.6	11.0	0.0
	③	ふろふき大根 胡麻みそ	4.4	3.6	5.8	1.6	2.8	7.4	1.1	6.4	5.0	2.7	2.8	0.0	0.5	2.0	4.8	0.0	9.4	2.3	14.5	0.0
平均			7.5	6.3	6.8	3.9	5.0	13.1	2.7	9.8	7.6	4.4	4.3	0.0	7.2	3.2	5.7	5.7	10.5	4.7	14.6	0.0

今回は、野菜について残菜調査を行った。

特養と在宅を比較すると、在宅では、ソテーの残菜率が高い傾向にあった。特養に合わせて食べやすくすると、軟らかすぎて在宅の方のソテーのイメージとは異なっていることや、色彩なども関係しているのではないかと考えられる。

特養では、残菜率が低い料理はミモザサラダ、ふろふき大根であった。ミモザサラダは、マヨネーズで和え、味ははっきりし、視覚的にも食欲がそそる料理であると考えられる。また、ふろふき大根は、軟らかく、味噌の味ははっきりしているので、食べやすくなったと考えられる。

一方、残菜率が高い料理は、大根サラダであり、水が出やすく、味がうすめとなったことで、好まれなかったと思われる。

野菜を食べていただくために、ご利用者が好まれる味の工夫や料理方法を検討していきたい。

9) 選択食、団らん食、お楽しみ食、その他

[行事食]

利用者が楽しみにしているものであり、生活に変化や潤いを持たせるために導入している。

a) 選択食

喫食者が自由に食べ物を選択できる機会を広げた。

利用者から2つのメニューから事前に選択してもらい実施した。

成 幸ホーム：年36回	主菜選択(24回)、主食選択(12回)
戸越台ホーム：年36回	主菜選択(24回)、主食選択(12回)
荏 原ホーム：年36回	主菜選択(11回)、主食・主菜選択(25回)
平塚橋ホーム：年36回	主菜選択(24回)、主食選択(12回)

b) 団らん食・おやつ作り

できるだけ家庭の団欒の雰囲気近づけるため、各フロアにて対応するとともに料理をすることで機能低下を防ぎ、回想法も取り入れ実施している。

実施に際しては、利用者からメニューの希望を伺い行った。

令和4年度も新型コロナウイルス感染予防対策を行いながら実施した。

成 幸ホーム：年1回(麻婆茄子)
戸越台ホーム：年1回(おでん)
荏 原ホーム：未実施
平塚橋ホーム：未実施

c) お楽しみ食：選択制とし、日常とは異なった食材を取り入れ、より利用者が楽しめる料理を提供した。

(成 幸)

実施日	内 容
4.4.8	桜ご飯、春野菜天ぷら、うど入り酢味噌和え、露土佐煮など
4.5.9	筍ご飯、天ぷら、露山吹和え、メロンなど
4.6.16	天ぷら・海老かき揚げ、茗荷酢味噌和え、そら豆ひすい煮など
4.7.6	七夕ちらし、ズッキーニレモンマリネ、そうめん清汁など
4.8.23	茗荷ご飯、夏野菜天ぷら、蟹寄せ、焼き茄子、和菓子など
4.9.17	松茸ご飯、天ぷら、菊花和え、梨、紅白テリーヌ風など
4.10.17	栗ご飯、天ぷら、茶蕎麦入り茶碗蒸し、柿なますなど
4.11.15	吹き寄せご飯、秋の天ぷら、空也蒸し、柚子風味和え、石狩汁など
4.12.10	海老チキンピラフ、クリスマスミートローフ、洋風茶碗蒸しなど
5.1.1	祝い雑煮、寿三点盛、数の子山葵和え、柚子釜、栗きんとんなど
5.1.1	鰻井、岩石玉子、梅花田楽、昆布巻き、清汁など
5.2.8	あさりご飯、茶碗蒸し雲丹ソース、春風豆、芹梅風味和えなど
5.3.3	弥生ちらし、はまぐり風味茶碗蒸し、海老団子お吸い物など

(戸越台)

実施日	内 容
4.4.15	桜ご飯、刺身、天ぷら、春野菜酢味噌がけ、いちご、和菓子など
4.5.16	しぐれご飯、天ぷら、露山吹和え、湯葉浸し、和菓子、メロンなど
4.6.16	天ぷら、夏野菜炊合わせ、冷し空也蒸し、じゅんさい清汁、和菓子など
4.7.6	茗荷ご飯、天ぷら、冬瓜水晶煮、ピリ辛和え、メロン、和菓子など
4.8.8	押し寿司、天ぷら、冷やし茶碗蒸し、白瓜シソ和え、メロン、和菓子など
4.9.17	松茸ご飯、天ぷら、菊花和え、蟹寒天、紅白清汁、梨、巨峰など
4.10.17	栗ご飯、天ぷら、サーモンロール、柿なます、松茸清汁、無花果など
4.11.15	吹き寄せご飯、刺身、飛竜頭、菊花辛子和え、テリーヌ、柿ゼリーなど
4.12.16	冬ちらし、天ぷら、海老芋含め、芹胡麻和え、茶碗蒸し、和菓子など
5.1.1	祝い雑煮、寿三点盛、数の子山葵和え、栗きんとん、屠蘇など
5.1.1	鰻井、岩石玉子、梅花田楽、昆布巻き、清汁など
5.2.8	赤飯、天ぷら、カルパッチョ、蟹あんかけ、いちご、和菓子など
5.3.3	弥生ちらし、山菜天ぷら、菜の花胡麻和え、豆腐清汁、いちごなど

(荏原)

実施日	内 容
4.4.8	桜鯛飯、天ぷら、蕪と春野菜煮物、桜デザートなど
4.5.30	筍ご飯、天ぷら、春人参胡麻和え、サーモンロールなど
4.6.16	焼豚炒飯、豆腐冷菜、八宝菜、蒸し鶏棒棒鶏ソースなど
4.7.6	ビビンバ、参鶏湯風スープ、チョレギサラダなど
4.8.22	茗荷ご飯、天ぷら、冬瓜と鶏肉煮物、伊達豆腐など
4.9.17	松茸ご飯、海老あられ天ぷら、あおさ茶碗蒸し、じゅんさい清汁など
4.10.17	栗ご飯、新蕎麦茶碗蒸し、蕪浸し数の子添え、秋の果物盛合せなど
4.11.29	はらこ飯、帆立フライ、蟹とアスパラ胡麻酢和え、石狩汁など
4.12.12	パセリライス、鶏肉オレンジソース、ポトフ、クリスマスケーキなど
5.1.1	祝い雑煮、寿三点盛、数の子山葵和え、栗きんとん、屠蘇など
5.1.1	鰻井、岩石玉子、梅花田楽、昆布巻き、清汁など
5.2.8	あさりご飯、豆腐五宝揚げ、ベリーベリーカップなど
5.3.24	弥生ちらし、山菜天ぷら、蕪そぼろあんかけなど

(平塚橋)

実施日	内 容
4.5.13	オムライス、ミックスフライ、ほうれん草グラタン、プリンなど
4.6.17	天ぷら、茗荷ご飯、枝豆茶碗蒸し、あおさ冷奴、あじさいゼリー
4.7.7	七夕ちらし、冬瓜煮物、短冊サラダ、ブラマンジェなど、天ぷら
4.8.23	しそ御飯、茄子グラタン、冷奴、もずく酢、マンゴープリン
4.9.19	お赤飯、松風焼き、きのこ茶碗蒸し、里芋サラダ、南瓜プリンなど
4.10.17	海老真薯、新蕎麦茶碗蒸し、きのこポタージュ、栗のブリュレなど
4.11.15	菊ご飯、ちゃんちゃん焼き、長芋蟹風味サラダ、茶碗蒸し、柿、おはぎ
4.12.23	トマトピラフ、チキンソテー、ポトフ、ケーキ、抹茶ババロアなど
5.1.1	(新型コロナウイルス感染対応のため延期) 鰻井、岩石玉子、梅花田楽
5.1.17	お雑煮、寿三点盛、煮め、日の出豆腐、黒豆、きんとん、フルーツなど
5.2.3	大豆ご飯、天ぷら、茶碗蒸し、鰯汁、ケーキ、はっさくなど
5.3.3	かざり稲荷、春野菜炊合せ、菜の花辛子和え、ねりきり、フルーツなど

d) 歳時食（四施設共通）

実施月	行事名	内 容
4月	花まつり	桜ご飯
5月	みどりの日	グリーンピースご飯
	端午の節句	筍ご飯、木の芽焼き
7月	七夕	七夕素麺
	土用の丑	「う」のつく料理、鰻料理
8月	終戦記念日	すいとん、さつま芋甘煮
	夏のイベント	焼そば、枝豆、西瓜、かき氷など
9月	防災の日	非常食品
	十五夜	月見にちなんだ料理
	敬老の日	赤飯、黄金焼き、真砂和え、紅白羊羹など
	秋の彼岸(秋分の日)	おはぎ風おやつ
11月	文化の日	菊花寿司、フルーツなど
12月	冬至	小豆ご飯、南瓜料理、生姜寒
	クリスマス	ケチャップライス、ローストチキンなど
	大晦日	年越し蕎麦
1月	正月	おせち料理
	七草	七草粥
	鏡開き	お汁粉
	小正月	小豆粥
2月	節分	鰯料理、節分豆ご飯
	バレンタイン	チョコレート菓子
	建国記念日	混ぜ寿司
3月	桃の節句	ちらし寿司、花清汁、桃色羊羹など
	春の彼岸(春分の日)	ぼた餅風おやつ

e) ホーム喫茶

新型コロナウイルス感染予防対策を講じながら実施した。

戸越台ホーム：年3回

f) その他

デリバリーなどご利用者がお好みの品を選び、楽しめるような機会を設けた。

成幸ホーム：未実施

戸越台ホーム：年2回

荏原ホーム：年3回

平塚橋ホーム：年2回

10) 栄養出納表 (年間平均)

区 分	成 幸		戸越台		荏 原		平塚橋	
	食事摂取基準	栄 養 出納量	食事摂取基準	栄 養 出納量	食事摂取基準	栄 養 出納量	食事摂取基準	栄 養 出納量
エネルギー(kcal)	1,344	1,322	1,300	1,332	1,301	1,419	1,400	1,384
タンパク質(g)	58.8	53.4	57.1	57.7	53.9	58.3	55.0	54.1
カルシウム(mg)	600	624	600	603	600	628	600	662
鉄(mg)	6.0	5.4	6.2	6.8	6.1	6.6	5.5	5.5
レチノール当量(μ g)	645	565	674	891	666	613	542	542
ビタミンB ₁ (mg)	1.00	0.68	1.00	0.81	1.00	0.79	1.00	0.76
ビタミンB ₂ (mg)	1.10	0.82	1.10	1.00	1.10	1.00	1.13	0.82
ビタミンC(mg)	100	64	90	79	100	76	100	84
食物繊維(g)	15.0	11.4	18.2	12.5	13.0	12.0	13.0	11.1

食事摂取基準については、日本人の食事摂取基準の策定方針に基づいて算出した。
基準量よりも低い値については、個別により強化（栄養補助食品等）をしている。

健康管理

1 1) 受診状況

(1) 各科受診状況

区 分	成 幸		戸越台		荏 原		平塚橋	
	人 数 (人)	延回数 (件)	人 数 (人)	延回数 (件)	人 数 (人)	延回数 (件)	人 数 (人)	延回数 (件)
内 科	91	1,178	92	1,095	110	1,048	120	1,536
眼 科	24	48	19	32	24	57	38	89
歯 科	15	58	22	50	26	137	47	281
皮 膚 科	7	39	4	14	16	121	26	85
泌尿器科	2	53	3	17	4	11	10	50
耳 鼻 科	3	5	2	2	1	1	2	4
脳 外 科	2	2	3	15	3	4	7	10
整形外科	6	8	5	15	5	12	15	40
神 経 科	4	27	3	9	2	2	2	5
そ の 他	—	—	40	4	—	—	1	2
合 計	154	1,418	193	1,253	191	1,393	268	2,102

(2) 認知症相談 (各施設月2回実施)

(単位：人)

区 分	R 4年度	R 3年度	R 2年度
成 幸	76	62	41
戸越台	14	16	35
荏 原	13	55	9
平塚橋	110	39	48

1 2) 利用者の診断病名

疾病名	成 幸	戸越台	荏 原	平塚橋
心疾患	27	24	30	30
高血圧症	35	27	46	46
ペースメーカー	1	1	1	6
閉塞性動脈硬化症	—	—	1	5
呼吸器疾患	—	21	4	22
脳卒中	13	32	36	25
てんかん	—	2	3	6
アルツハイマー型認知症	26	42	42	48
レビー小体型認知症	1	2	2	1
脳血管性認知症	4	5	12	6
老年精神病	12	3	4	9
パーキンソン病	3	2	6	7
腎疾患	2	6	6	7
肝胆系疾患	2	15	4	15
B型肝炎	18	—	8	—
C型肝炎	2	1	2	2
ストーマ	1	—	—	1
慢性関節リウマチ	—	—	—	2
骨粗鬆症	7	9	4	19
骨折	3	31	30	48
蜂窩織炎	—	2	—	6
類天疱瘡	—	—	1	1
貧血	6	5	6	9
糖尿病	8	6	13	16

※診断病名が重複している利用者あり

1 3) 入院・退所状況

(単位：人)

施設	入院数	救急車要請数	病院内死亡	施設内死亡	看取り	他施設内死亡	長期入院による退園	入院中
成 幸	14	7	1	9	9	2	2	1
戸越台	51	9	10	3	6	1	1	—
荏 原	54	22	7	6	18	2	2	1
平塚橋	45	21	8	1	18	1	1	5

1 4) 入院者病名および件数

(単位：人)

疾 病 名	成 幸	戸越台	荏 原	平塚橋
肺 炎	—	3	9	9
心 疾 患	—	2	3	7
脳 卒 中	—	1	1	4
癌	—	1	2	1
肝 胆 系 疾 患	—	1	—	1
イ レ ウ ス	2	1	1	1
尿 路 感 染 症	—	2	4	3
脱 水	—	—	—	—
骨 折	3	—	2	1
皮 膚 疾 患	—	—	—	—
精 神 神 経 疾 患	—	—	—	—
精 査	1	—	—	—
そ の 他	2	3	—	2
新型コロナウイルス感染症	3	37	32	14
合 計	11	51	54	45

15) その他

(1) 健康診断

秋健康診断実施対象者全員

(2) ワクチン予防接種実施

(単位：人)

区 分	成 幸	戸越台	荏 原	平塚橋
インフルエンザ	76	60	115	85
肺炎ワクチン	4	3	—	3

(3) 感染症

(単位：件)

区 分	成 幸	戸越台	荏 原	平塚橋
新型コロナウイルス	14	39	41	47
結 核	—	—	1	—
疥 癬	—	—	—	—
M R S A	—	1	—	—
肝炎 (B型)	18	—	8	—
肝炎 (C型)	2	—	2	2
インフルエンザ	—	—	—	—
急性胃腸炎	—	—	5	—

(4) 褥瘡

(単位：件)

成 幸	戸越台	荏 原	平塚橋
11	3	4	4

(5) 処置内容

ガーゼ交換（褥瘡、切創、皮膚剥離）、湿布貼布、軟膏塗布、酸素吸入（在宅酸素含む）、浣腸、排便、坐薬挿入、フランドルテープ（ホクナリン含む）交換、耳鼻咽喉科処置、眼科処置、酸素飽和度チェック、注射（点滴、筋肉、皮下）、経管栄養、ストマパウチ交換、吸引、その他

1 6) 機能訓練

訓練内容

(単位：件)

区 分	成 幸	戸越台	荏 原	平塚橋
関節可動域訓練	3,614	4,173	8,936	813
上下肢筋力強化	1,496	1,283	526	659
起居動作訓練	179	1,007	5	2
トランスファー訓練	101	588	15	22
立位・歩行訓練	2,058	1,094	786	385
歩行器・車椅子操作指導	371	193	224	140
マッサージ	1,338	4,736	8,837	138
集団体操	1,338	63	6,341	—
レクリエーション	1,330	57	6,334	108

2. 在宅サービス

1) 年間利用者状況

①通所介護事業（デイサービス）

成 幸

事業名・区分		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
		実施日数	26日間	26日間	26日間	26日間	27日間	26日間	26日間
基本 定員20名	総合事業	要支援1	7	7	8	9	9	9	10
		要支援2	8	9	6	9	9	7	9
		認定なし	2	1	2	3	3	3	3
		実人員	17	17	16	21	21	19	22
		利用者延べ人数	91	109	88	119	127	112	127
		1日当たり利用人員	3.5	4.2	3.4	4.6	4.7	4.3	4.9
	基本	要介護1	6	6	5	5	5	4	6
		要介護2	6	6	7	7	7	9	10
		要介護3	6	6	6	6	5	6	6
		要介護4	5	5	4	4	4	4	4
		要介護5	—	—	—	—	—	—	—
		申請中	—	—	—	—	—	—	—
		実人員	23	23	22	22	21	23	26
		利用者延べ人員	196	166	185	183	197	219	208
		1日当たり利用人員	7.5	6.4	7.1	7.0	7.3	8.4	8.0
	平均要介護度(申請中除)	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.3	
	総計	利用者延べ人員	287	275	273	302	324	331	335
		1日当たり利用人員	11.0	10.6	10.5	11.6	12.0	12.7	12.9
		予防割合(%)	31.7	39.6	32.2	39.4	39.2	33.8	37.9
		稼働率(%)	55.2	52.9	52.5	58.1	60.0	63.7	64.4
認知症 定員10名	予防	要支援1	—	—	—	—	—	—	—
		要支援2	—	—	—	—	—	—	—
		実人員	—	—	—	—	—	—	—
		利用者延べ人数	—	—	—	—	—	—	—
		1日当たり利用人員	—	—	—	—	—	—	—
	介護	要介護1	6	7	6	6	5	4	5
		要介護2	6	6	6	6	7	8	8
		要介護3	1	1	2	1	1	1	1
		要介護4	1	1	1	1	1	1	1
		要介護5	—	—	—	—	—	—	—
		申請中	—	—	—	—	—	—	—
		実人員	14	15	15	14	14	14	15
		利用者延べ人員	126	142	150	150	156	164	150
		1日当たり利用人員	4.8	5.5	5.8	5.8	5.8	6.3	5.8
	平均要介護度	1.8	1.7	1.9	1.8	1.9	1.9	1.9	
	総計	利用者延べ人員	126	142	150	150	156	164	150
		1日当たり利用人員	4.8	5.5	5.8	5.8	5.8	6.3	5.8
		予防割合(%)	—	—	—	—	—	—	—
		稼働率(%)	48.5	54.6	57.7	57.7	57.8	63.1	57.7
	総計	平均要介護度	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.1
総計(延べ人員)		413	417	423	452	480	495	485	
1日当たり利用人員総計		15.9	16.0	16.3	17.4	17.8	19.0	18.7	
予防割合(%)		22.0	26.1	20.8	26.3	26.5	22.6	26.2	

	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計	平均
	26日間	24日間	24日間	24日間	27日間	308日間	25.7日間
	8	9	9	12	10	107	8.9
	8	6	7	8	8	94	7.8
	5	5	2	3	4	36	3.0
	21	20	18	23	22	237	19.8
	132	95	84	109	137	1,330	110.8
	5.1	4.0	3.5	4.5	5.1		4.3
	6	6	6	6	9	70	5.8
	11	10	10	8	9	100	8.3
	6	7	8	7	9	78	6.5
	5	4	5	6	6	56	4.7
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	28	27	29	27	33	304	25.3
	216	195	205	221	289	2,480	206.7
	8.3	8.1	8.5	9.2	10.7		8.1
	2.4	2.3	2.4	2.5	2.4		2.4
	348	290	289	330	426	3,810	317.5
	13.4	12.1	12.0	13.8	15.8		12.4
	37.9	32.8	29.1	33.0	32.2		34.9
	66.9	60.4	60.2	68.8	78.9		62.1
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	5	4	4	3	3	58	4.8
	7	6	4	5	4	73	6.1
	1	1	2	2	1	15	1.3
	1	—	—	—	1	9	0.8
	—	—	—	—	1	1	0.08
	1	—	—	—	—	1	0.08
	15	11	10	10	10	157	13.1
	130	98	89	80	132	1,567	130.6
	5.0	4.1	3.7	3.3	4.9		5.1
	1.9	1.7	1.8	1.9	2.3		1.8
	130	98	89	80	132	1,567	130.6
	5.0	4.1	3.7	3.3	4.9		5.1
	—	—	—	—	—		—
	50	40.8	37.1	33	48.9		51.0
	2.2	2.2	2.3	2.3	2.3		2.2
	478	388	378	410	558	5,377	448.1
	18.4	16.2	15.8	17.1	20.7		17.5
	27.6	24.5	22.2	26.6	25.6		24.7

成 幸

事業名・区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月		
	実施日数	26日間	26日間	26日間	26日間	27日間	26日間	26日間		
短時間・障害者延べ人員		—	—	—	—	—	—	—		
その他利用		—	—	—	—	—	—	—		
身近でトレーニング	日数	—	—	—	—	—	—	—		
	実人員	—	—	—	—	—	—	—		
	延べ人数	—	—	—	—	—	—	—		
	1日当たり利用人員	—	—	—	—	—	—	—		
送迎	基本デイサービス	390	332	354	366	393	438	410		
	認知症デイサービス	247	277	294	296	310	327	300		
	総合事業	130	157	170	145	159	156	155		
	乗車延べ人数合計	767	766	818	807	862	921	865		
	1日当たり利用人員	29.5	29.5	31.5	31.0	31.9	35.4	33.3		
入浴	日数	26	26	26	26	27	26	26		
	総合	実利用者	14	12	10	13	13	12	14	
		延べ人数	71	80	59	83	84	72	85	
	基本	実利用者	23	22	20	21	20	22	24	
		延べ人数	142	118	119	129	136	146	140	
	認知	実利用者	11	11	12	11	11	11	12	
		延べ人数	81	86	97	93	93	100	94	
	1日当たり利用人員	11.3	10.9	10.6	11.7	11.6	12.2	12.3		
	訓練	機能訓練延べ人数	137	133	143	143	153	174	193	
1日当たり利用人員		5.3	5.1	5.5	5.5	5.7	6.7	7.4		
配食	配食延べ人数	124	107	108	104	91	83	80		
	1日当たり利用人員	4.8	4.1	4.2	4.0	3.4	3.2	3.1		

戸越台

事業名・区分		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
		実施日数	26日間	26日間	26日間	26日間	27日間	26日間	26日間	
基本 定員30名	総合事業	要支援1	11	11	11	11	9	9	8	
		要支援2	17	16	18	17	17	18	24	
		認定なし	6	5	5	4	1	2	3	
		実人員	34	32	34	32	27	29	35	
		利用者延べ人数	205	204	198	170	164	169	197	
		1日当たり利用人員	7.9	7.8	7.6	6.5	6.1	6.5	7.6	
	基本	要介護1	20	16	17	20	20	20	21	
		要介護2	17	16	16	15	15	16	17	
		要介護3	4	5	5	6	6	6	6	
		要介護4	1	1	1	1	3	3	3	
		要介護5	—	—	—	—	—	—	—	
		申請中	—	1	1	—	1	1	—	
		実人員	42	39	40	42	45	46	47	
		利用者延べ人員	366	348	321	358	310	356	360	
		1日当たり利用人員	14.1	13.4	12.3	13.8	11.5	13.7	13.8	
		平均要介護度(申請中除)	1.9	1.8	1.7	1.7	1.8	1.8	1.8	
	総計	利用者延べ人員	571	552	519	528	474	525	557	
		1日当たり利用人員	22.0	21.2	20.0	20.3	17.6	20.2	21.4	
		予防割合(%)	35.9	37	38.2	32.2	34.6	32.2	35.4	
		稼働率(%)	73.3	70.8	66.5	67.7	58.5	67.3	71.4	
	認知症 定員10名	予防	要支援1	—	—	—	—	—	—	—
			要支援2	—	—	—	—	—	—	—
			実人員	—	—	—	—	—	—	—
			利用者延べ人数	—	—	—	—	—	—	—
			1日当たり利用人員	—	—	—	—	—	—	—
			要介護1	—	2	3	4	4	3	2
要介護2		—	—	—	—	—	—	—		
要介護3		—	—	—	1	1	1	2		
要介護4		—	—	—	—	—	—	—		
要介護5		—	—	—	—	—	—	—		
申請中		—	—	1	—	—	—	1		
実人員		—	2	4	5	5	4	5		
利用者延べ人員		—	12	27	43	39	34	25		
1日当たり利用人員		—	0.5	1	1.7	1.4	1.3	1		
平均要介護度		—	1	1	1.4	1.4	1.5	2		
総計		利用者延べ人員	—	12	27	43	39	34	25	
		1日当たり利用人員	—	0.5	1	1.7	1.4	1.3	1	
		予防割合(%)	—	—	—	—	—	—	—	
		稼働率(%)	—	4.0	10.4	16.5	14.4	11.0	9.6	
総計		平均要介護度	1.9	1.8	1.7	1.8	1.8	1.8	1.8	
	総計(延べ人員)	571	564	546	571	513	559	582		
	1日当たり利用人員総計	22.0	21.7	21.0	22.0	19.0	21.5	22.4		
	予防割合(%)	35.9	36.2	36.3	29.8	32	30.2	33.8		

	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計	平均
	26日間	24日間	24日間	24日間	27日間	308日間	25.7日間
	8	9	8	7	10	112	9.3
	22	24	22	24	23	242	20.2
	3	3	3	3	3	41	3.4
	33	36	33	34	36	395	32.9
	197	202	174	185	208	2,273	189.4
	7.6	8.4	7.3	7.7	7.7		7.4
	19	19	19	20	19	230	19.2
	15	14	13	13	9	176	14.7
	4	6	4	5	7	64	5.3
	3	3	2	2	5	28	2.3
	—	—	—	—	1	1	0.08
	—	—	1	2	1	8	0.7
	41	42	39	42	42	507	42.3
	362	299	307	333	393	4,113	342.6
	13.9	12.5	12.8	13.9	14.6		13.4
	1.8	1.8	1.7	1.7	2.0		1.8
	559	501	481	518	601	6,386	532.2
	21.5	20.9	20.0	21.6	22.3		20.8
	35.2	40.3	36.2	35.7	34.6		35.6
	71.7	69.6	66.8	71.9	74.2		69.1
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	2	3	3	3	3	32	2.7
	—	—	—	—	—	—	—
	2	1	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	2	0.2
	4	4	3	3	3	42	3.5
	15	28	12	16	20	271	22.6
	0.6	1.2	0.5	0.7	0.7		0.9
	2	1.5	1	1.0	1.0		1.2
	15	28	12	16	20	271	22.6
	0.6	1.2	0.5	0.7	0.7		0.9
	—	—	—	—	—		—
	5.8	12.0	5.0	6.7	7.4		8.6
	1.8	1.8	1.7	1.7	2.0		1.8
	574	529	493	534	621	6,657	554.8
	22.1	22.0	20.5	22.3	23.0		21.6
	34.3	38.2	35.3	34.6	33.5		34.2

戸越台

事業名・区分		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
		実施日数	26日間	26日間	26日間	26日間	27日間	26日間	26日間	
短時間・障害者延べ人員			9	10	5	6	9	6	8	
その他利用			—	—	—	—	—	—	—	
身近でトレーニング	日数		4	3	5	4	4	4	4	
	実人員		12	11	10	10	10	10	12	
	延べ人数		37	30	39	33	33	28	44	
	1日当たり利用人員		9.3	10	7.8	8.3	8.3	7	11	
送迎	基本デイサービス		750	694	638	716	620	714	712	
	認知症デイサービス		0	24	53	86	78	68	52	
	総合事業		355	364	334	300	285	313	368	
	乗車延べ人数合計		1,105	1,082	1,025	1,102	983	1,095	1,132	
	1日当たり利用人員		20.9	19.3	18.9	20.5	17.5	20.5	21.1	
入浴	日数		18	18	17	17	18	18	17	
	総合	実利用者		14	13	14	13	14	14	19
		延べ人数		84	88	92	77	99	88	99
	基本	実利用者		32	30	31	31	33	36	35
		延べ人数		189	204	187	211	193	232	217
	認知	実利用者		—	2	3	4	4	4	5
		延べ人数		—	8	17	25	19	25	21
	1日当たり利用人員		15.2	16.7	17.4	18.4	17.3	19.2	19.8	
	訓練	機能訓練延べ人数		530	520	494	514	441	518	554
1日当たり利用人員			20.4	20.0	19.0	19.8	16.3	19.9	21.3	
配食	配食延べ人数		201	194	175	209	231	240	227	
	1日当たり利用人員		7.7	7.5	6.7	8.0	8.6	9.2	8.7	

	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計	平均
	26日間	24日間	24日間	24日間	27日間	308日間	25.7日間
	7	8	7	7	7	89	7.4
	—	—	—	—	—	—	—
	4	4	4	4	4	48	4.0
	12	12	12	12	12	135	11.3
	40	37	37	42	38	438	36.5
	10	9.3	9.3	10.5	9.5		9.0
	713	583	603	655	766	8,164	680.3
	30	55	24	32	40	542	45.2
	340	355	297	315	355	3,981	331.8
	1,083	993	924	1,002	1,161	12,687	1,057.3
	20.2	20.1	18.5	20.9	21.5		20.0
	7	16	16	16	18	206	17.2
	18	20	18	19	20	196	16.3
	100	102	91	105	123	1,148	95.7
	33	34	32	35	35	397	33.1
	222	185	182	196	225	2,443	203.6
	4	4	3	3	3	39	3.3
	15	19	10	10	13	182	15.2
	19.8	19.1	17.7	19.4	20.1		18.3
	536	497	460	503	556	6,123	510.3
	20.6	20.7	19.2	21.0	20.6		19.9
	223	207	202	212	238	2,559	213.2
	8.6	8.6	8.4	8.8	8.8		8.3

荏 原

事業名・区分		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
		実施日数	26日間	26日間	26日間	26日間	27日間	26日間	26日間	
基本 定員40名	総合事業	要支援1	16	14	16	17	16	17	16	
		要支援2	14	15	15	15	17	17	18	
		認定なし	2	2	2	2	2	2	2	
		実人員	32	31	33	34	35	36	36	
		利用者延べ人数	194	193	202	207	204	206	223	
		1日当たり利用人員	7.5	7.4	7.8	8.0	7.6	7.9	8.6	
	基本	要介護1	29	30	26	25	24	24	24	
		要介護2	14	15	17	16	17	17	16	
		要介護3	9	8	8	8	9	10	9	
		要介護4	7	6	7	5	5	5	5	
		要介護5	3	3	3	3	3	4	4	
		申請中	—	—	—	—	—	—	—	
		実人員	62	62	61	57	58	60	58	
		利用者延べ人員	489	531	518	497	503	508	476	
		1日当たり利用人員	18.8	20.4	19.9	19.1	18.6	19.5	18.3	
		平均要介護度(申請中除)	2.0	2.0	2.1	2.0	2.1	2.1	2.1	
	総計	利用者延べ人員	683	724	720	704	707	714	699	
		1日当たり利用人員	26.3	27.8	27.7	27.1	26.2	27.5	26.9	
		予防割合(%)	28.4	26.7	28.1	29.4	28.9	28.9	31.9	
		稼働率(%)	65.7	69.6	69.2	67.7	65.5	68.7	67.2	
	認知症 定員10名	予防	要支援1	—	—	—	—	—	—	—
			要支援2	—	—	—	—	—	—	—
			実人員	—	—	—	—	—	—	—
			利用者延べ人数	—	—	—	—	—	—	—
			1日当たり利用人員	—	—	—	—	—	—	—
			介護	要介護1	5	6	6	5	4	4
		要介護2		3	3	3	4	4	4	5
要介護3		6		7	5	4	4	3	3	
要介護4		2		2	3	3	2	3	3	
要介護5		2		2	2	2	2	2	2	
申請中		—		—	—	—	—	—	—	
実人員		18		20	19	18	16	16	17	
利用者延べ人員		165		180	175	161	152	153	161	
1日当たり利用人員		6.3		6.9	6.7	6.2	5.6	5.9	6.2	
平均要介護度		2.6		2.6	2.6	2.6	2.6	2.7	2.6	
総計		利用者延べ人員	165	180	175	161	152	153	161	
		1日当たり利用人員	6.3	6.9	6.7	6.2	5.6	5.9	6.2	
		予防割合(%)	—	—	—	—	—	—	—	
		稼働率(%)	63.5	69.2	67.3	61.9	56.3	58.8	61.9	
総計		平均要介護度	2.1	2.1	2.2	2.2	2.2	2.3	2.2	
	総計(延べ人員)	848	904	895	865	859	867	860		
	1日当たり利用人員総計	32.6	34.8	34.4	33.3	31.8	33.3	33.1		
	予防割合(%)	22.9	21.3	22.6	23.9	23.7	23.8	25.9		

	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計	平均
	26日間	24日間	24日間	24日間	27日間	308日間	25.7日間
	14	16	15	14	15	186	15.5
	22	22	23	22	25	225	18.8
	2	2	2	3	2	25	2.1
	38	40	40	39	42	436	36.3
	222	207	197	205	236	2,496	208.0
	8.5	8.6	8.2	8.5	8.7		8.1
	23	23	23	26	27	304	25.3
	16	18	19	19	19	203	16.9
	9	10	10	9	10	109	9.1
	4	4	4	4	4	60	5.0
	4	4	4	4	5	44	3.7
	—	—	—	—	—	—	—
	56	59	60	62	65	720	60.0
	473	454	443	485	533	5,910	492.5
	18.2	18.9	18.5	20.2	19.7		19.2
	2.1	2.1	2.1	2.0	2.1		2.1
	695	661	640	690	769	8,406	700.5
	26.7	27.5	26.7	28.8	28.5		27.3
	31.9	31.3	30.8	29.7	30.7		29.7
	66.8	68.9	66.7	71.9	71.2		68.2
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	5	6	6	8	8	67	5.6
	4	3	3	3	3	42	3.5
	3	3	3	3	4	48	4.0
	3	3	3	2	2	31	2.6
	2	2	2	3	3	26	2.2
	—	—	—	—	—	—	—
	17	17	17	19	20	214	17.8
	168	143	153	169	189	1,969	164.1
	6.5	5.9	6.4	7.0	7.0		6.4
	2.6	2.5	2.5	2.4	2.5		2.6
	168	143	153	169	189	1,969	164.1
	6.5	6.0	6.4	7.0	7.0		6.4
	—	—	—	—	—		—
	64.6	59.6	63.8	70.4	70.0		63.9
	2.2	2.2	2.2	2.1	2.2		2.2
	863	8.4	793	859	958	10,375	864.6
	33.2	33.5	33.0	35.8	35.5		33.7
	25.7	25.7	24.8	23.9	24.6		24.1

荏 原

事業名・区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月		
	実施日数	26日間	26日間	26日間	26日間	27日間	26日間	26日間		
短時間・障害者延べ人員		—	—	—	1	—	—	—		
その他利用		—	—	—	—	—	—	—		
身近でトレーニング	日数	5	4	4	4	3	4	—		
	実人員	20	19	19	17	16	19	—		
	延べ人数	89	70	71	56	43	71	—		
	1日当たり利用人員	17.8	17.5	17.8	14.0	14.3	17.8	—		
送迎	基本デイサービス	914	976	946	914	932	886	873		
	認知症デイサービス	306	329	325	301	248	283	299		
	総合事業	351	333	390	395	399	387	409		
	乗車延べ人数合計	1,571	1,638	1,661	1,610	1,579	1,556	1,581		
	1日当たり利用人員	60.4	63.0	63.9	61.9	58.5	59.8	60.8		
入浴	日数	26	26	26	26	27	26	26		
	総合	実利用者	18	15	16	15	15	17	19	
		延べ人数	89	89	88	82	88	92	103	
	基本	実利用者	44	43	46	41	40	42	42	
		延べ人数	283	297	291	257	281	275	273	
	認知	実利用者	18	19	18	17	15	16	17	
		延べ人数	117	121	117	99	99	98	107	
	1日当たり利用人員	18.8	19.5	19.1	16.8	17.3	17.9	18.6		
	訓練	機能訓練延べ人数	301	321	326	338	342	332	308	
1日当たり利用人員		11.6	12.3	12.5	13.0	12.7	12.8	11.8		
配食	配食延べ人数	88	71	95	70	81	71	66		
	1日当たり利用人員	3.4	2.7	3.7	2.7	3.0	2.7	2.5		

※10月～3月 身近でトレーニング休止

(小山の家は、改修工事期間中、機能訓練室を使用していたため)

	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計	平均
	26日間	24日間	24日間	24日間	27日間	308日間	25.7日間
	—	1	—	—	5	7	2.3
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	24	4.0
	—	—	—	—	—	110	18.3
	—	—	—	—	—	400	66.7
	—	—	—	—	—		16.7
	890	816	826	877	946	10,796	899.7
	311	258	292	319	347	3,618	301.5
	400	381	372	363	438	4,618	384.8
	1,601	1,455	1,490	1,559	1,731	19,032	1,586
	61.6	60.6	62.1	65.0	64.1		62.0
	26	24	24	24	27	308	25.7
	23	20	23	24	23	228	19.0
	122	96	106	115	129	1,199	99.9
	41	44	45	47	51	526	43.8
	262	264	257	275	311	3,326	277.2
	17	16	16	16	17	202	16.8
	116	98	104	93	113	1,282	106.8
	19.2	19.1	19.5	20.1	20.5		18.9
	302	266	242	281	343	3,702	308.5
	11.6	11.1	10.1	11.7	12.7		12.0
	80	75	75	72	88	932	77.7
	3.1	3.1	3.1	3.0	3.3		3.0

小山の家

事業名・区分		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
		実施日数	26日間	26日間	26日間	26日間	27日間	26日間	26日間	
認知症 定員10名	予 防	要支援1	—	—	—	—	—	—	—	—
		要支援2	—	—	—	—	—	—	—	—
		実人員	—	—	—	—	—	—	—	—
		利用者延べ人数	—	—	—	—	—	—	—	—
		1日当たり利用人員	—	—	—	—	—	—	—	—
	介 護	要介護1	4	4	6	6	5	5	6	
		要介護2	5	4	3	3	3	2	2	
		要介護3	3	4	3	3	3	3	4	
		要介護4	—	—	—	—	—	—	—	—
		要介護5	—	—	—	—	—	—	—	—
		申請中	—	—	—	—	—	—	—	—
		実人員	12	12	12	12	11	10	12	
		利用者延べ人員	97	98	94	92	69	77	74	
		1日当たり利用人員	3.7	3.8	3.6	3.5	2.6	3.0	2.8	
	平均要介護度(申請中除)	1.9	2.0	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8		
	総 計	利用者延べ人員	97	98	94	92	69	77	74	
		1日当たり利用人員	3.7	3.8	3.6	3.5	2.6	3	2.8	
		予防割合(%)	—	—	—	—	—	—	—	
		稼働率(%)	37.3	37.7	36.2	35.4	25.6	29.6	28.5	
	総 計	平均要介護度	1.9	2.0	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	
総計(延べ人員)		97	98	94	92	69	77	74		
1日当たり利用人員総計		3.7	3.8	3.6	3.5	2.6	3.0	2.8		
予防割合(%)		—	—	—	—	—	—	—		

	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計	平均
	26日間	24日間	24日間	24日間	27日間	308日間	25.7日間
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
6	5	7	7	7	68	5.7	
4	5	5	5	4	45	3.8	
4	4	4	4	5	44	3.7	
—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	
14	14	16	16	16	157	13.1	
90	84	89	97	133	1,094	91.2	
3.5	3.5	3.7	4.0	4.9	—	3.6	
1.9	1.9	1.8	1.8	1.9	—	1.9	
90	84	89	97	133	1,094	91.2	
3.5	3.5	3.7	4	4.9	—	3.6	
—	—	—	—	—	—	—	
34.6	35	37.1	40.4	49.3	—	35.6	
1.9	1.9	1.8	1.8	1.9	—	1.9	
90	84	89	97	133	1,094	91.2	
3.5	3.5	3.7	4.0	4.9	—	3.6	
—	—	—	—	—	—	—	

小山の家

事業名・区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月		
	実施日数	26日間	26日間	26日間	26日間	27日間	26日間	26日間		
短時間・障害者延べ人員		—	—	—	—	—	—	—		
その他利用		—	—	—	—	—	—	—		
身近でトレーニング	日数	—	—	—	—	—	—	—		
	実人員	—	—	—	—	—	—	—		
	延べ人数	—	—	—	—	—	—	—		
	1日当たり利用人員	—	—	—	—	—	—	—		
送迎	基本デイサービス	—	—	—	—	—	—	—		
	認知症デイサービス	167	171	158	163	110	134	122		
	総合事業	—	—	—	—	—	—	—		
	乗車延べ人数合計	167	171	158	163	110	134	122		
	1日当たり利用人員	6.4	6.6	6.1	6.3	4.1	5.2	4.7		
入浴	日数	19	16	20	16	18	16	11		
	総合	実利用者	—	—	—	—	—	—	—	
		延べ人数	—	—	—	—	—	—	—	
	基本	実利用者	—	—	—	—	—	—	—	
		延べ人数	—	—	—	—	—	—	—	
	認知	実利用者	6	6	4	5	5	4	4	
		延べ人数	28	24	22	23	22	19	13	
	1日当たり利用人員	1.5	1.5	1.1	1.4	1.2	1.2	1.2		
訓練	機能訓練延べ人数	—	—	—	—	—	—	—		
	1日当たり利用人員	—	—	—	—	—	—	—		
配食	配食延べ人数	—	—	—	—	—	—	—		
	1日当たり利用人員	—	—	—	—	—	—	—		

	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計	平均
	26日間	24日間	24日間	24日間	27日間	308日間	25.7日間
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—		—
	—	—	—	—	—	—	—
	152	155	169	188	240	1,929	160.8
	—	—	—	—	—	—	—
	152	155	169	188	240	1,929	160.8
	5.8	6.5	7.0	7.8	8.9		6.3
	14	12	12	13	17	184	15.3
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—
	4	4	4	4	5	55	4.6
	16	14	12	15	24	232	19.3
	1.1	1.2	1.0	1.2	1.4		1.3
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—		—
	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—		—

②短期入所生活介護施設事業（ショートステイ）

成幸ショートステイ月別利用状況（定員16名）

区 分	合計人数	延利用日数	1日平均人数	送迎利用者	稼働率%
4月	9	63	2.1	18	13.1
5月	12	74	2.4	19	14.9
6月	11	83	2.8	16	17.3
7月	8	55	1.8	13	11.1
8月	9	62	2.0	14	12.5
9月	6	48	1.6	13	10.0
10月	5	46	1.5	10	9.3
11月	6	44	1.5	15	9.2
12月	6	68	2.4	13	15.2
1月	8	66	2.4	16	14.7
2月	6	71	2.5	11	15.8
3月	7	83	2.6	13	16.7
R4年度 合 計	93	763	2.1	171	13.3
R3年度 合 計	256	2,469	6.8	416	42.3
R2年度 合 計	314	3,298	9.1	532	57.5

年間要介護度別利用状況				平均要介護度 2.9
区 分	人 数	%	延べ日数	
要 支 援 1	—	—	—	平均稼働率 13.3%
要 支 援 2	4	4.3	21	
要 介 護 1	2	2.2	8	
要 介 護 2	33	35.5	339	
要 介 護 3	29	31.2	265	
要 介 護 4	21	22.6	115	
要 介 護 5	4	4.3	15	
申 請 中	—	—	—	
合 計	93	100.1	763	

戸越台ショートステイ月別利用状況（定員8名）

区 分	合計人数	延利用日数	1日平均人数	送迎利用者	稼働率%
4月	11	71	6.5	16	29.6
5月	10	83	8.3	18	33.5
6月	10	72	7.2	17	30.0
7月	14	108	7.7	14	43.6
8月	13	100	7.7	20	40.3
9月	13	110	8.5	19	45.8
10月	11	105	9.6	16	42.3
11月	10	100	10.0	12	41.7
12月	10	67	6.7	7	27.0
1月	10	97	9.7	14	39.1
2月	11	80	7.3	14	35.7
3月	16	119	7.4	23	47.9
R4年度 合 計	139	1,112	8.0	190	38.1
R3年度 合 計	57	360	6.8	76	16.7
R2年度 合 計	—	—	—	—	—

年間要介護度別利用状況				平均要介護度
区 分	人 数	%	延べ日数	
要 支 援 1	1	0.7	3	2.0
要 支 援 2	11	7.9	71	
要 介 護 1	57	41.0	468	平均稼働率 38.1%
要 介 護 2	29	20.9	217	
要 介 護 3	22	15.8	161	
要 介 護 4	16	11.5	170	
要 介 護 5	3	2.2	22	
申 請 中	—		—	
合 計	139	100.0	1,112	

荏原ショートステイ月別利用状況（定員30名）

区 分	合計人数	延利用日数	1日平均人数	送迎利用者	稼働率%
4月	87	776	25.9	171	86.2
5月	91	802	25.9	169	86.2
6月	84	690	23.0	153	76.7
7月	93	862	27.8	142	92.7
8月	74	749	24.2	134	80.5
9月	57	465	15.5	95	51.7
10月	75	661	21.3	127	71.1
11月	82	718	23.9	144	79.8
12月	80	737	23.8	135	79.3
1月	72	683	22.0	127	73.4
2月	68	671	24.0	113	79.9
3月	77	722	23.3	131	77.6
R4年度 合 計	78	8,536	23.4	1,641	77.9
R3年度 合 計	881	7,899	21.6	1,531	72.2
R2年度 合 計	863	8,192	22.4	1,362	74.7

年間要介護度別利用状況				平均要介護度 3.0
区 分	人 数	%	延べ日数	
要 支 援 1	10	1.1	82	平均稼働率 77.9%
要 支 援 2	42	4.5	339	
要 介 護 1	178	18.9	1,331	
要 介 護 2	263	28.0	2,527	
要 介 護 3	243	25.9	2,321	
要 介 護 4	101	10.7	954	
要 介 護 5	53	5.6	508	
申 請 中	50	5.3	474	
合 計	940	100.0	8,536	

平塚橋ショートステイ月別利用状況（定員12名）

区 分	合計人数	延利用日数	1日平均人数	送迎利用者	稼働率%
4月	11	88	2.6	16	24.4
5月	15	116	3.3	25	31.2
6月	20	158	4.6	39	43.9
7月	21	181	5.2	48	48.7
8月	23	186	6.0	46	50.0
9月	16	89	2.4	28	24.7
10月	23	168	4.4	47	45.2
11月	22	151	4.2	45	41.9
12月	12	83	2.5	20	24.7
1月	19	132	4.0	35	39.3
2月	21	137	4.1	39	40.8
3月	15	100	3.2	34	26.9
R4年度 合 計	218	1,589	3.9	422	36.8
R3年度 合 計	263	2,028	5.1	534	46.4
R2年度 合 計	334	2,797	6.7	693	64.7

年間要介護度別利用状況			
区 分	人 数	%	延べ日数
要 支 援 1	2	0.9	8
要 支 援 2	12	5.5	45
要 介 護 1	43	19.7	245
要 介 護 2	62	28.4	453
要 介 護 3	40	18.3	303
要 介 護 4	17	7.8	82
要 介 護 5	41	18.8	439
申 請 中	1	0.5	14
合 計	218	100.0	1,589

平均要介護度
3.0

平均稼働率
36.8%

2) 機能訓練

訓練内容

(単位：件)

	成 幸	戸越台	荏 原
関節可動域訓練	1,981	3,902	3,760
上下肢筋力強化	1,904	6,212	3,760
起居動作訓練	4	—	—
トランスファー訓練	—	1,723	—
立位・歩行訓練	1,511	5,101	674
歩行器・車椅子操作指導	—	—	—
マ ッ サ ー ジ	767	11	3
集 団 体 操	1,781	6,241	3,611
レクレーション	1,765	5,660	3,587

「踊りでリハビリ」（なじみのある音楽を用いて行うリハビリ舞踊）は新型コロナウイルス感染症のため実施を見合わせた。

3) 食事サービス（ショートステイ・デイサービス・配食）

<喫食者の個別対応>

(単位：人)

項 目	成 幸			戸越台			荏 原			平塚橋
	シ ョ ー ト	デ イ	配 食	シ ョ ー ト	デ イ	配 食	シ ョ ー ト	デ イ	配 食	シ ョ ー ト
定 員	16	30	—	8	40	—	30	10	—	12
療 養 食	—	4	1	8	14	3	2	7	5	1
摂食障害	16	5	3	39	7	—	42	5	—	9
摂食嚥下	9	14	4	41	75	1	237	27	2	99
機能障害	20	4	1	44	28	14	198	16	—	115

4) 健康管理

※D. S. はデイサービス、S. S. はショートステイ

①受診及び入院状況

(単位：人)

区 分	成 幸		戸越台		荏 原		平塚橋
	D. S.	S. S.	D. S.	S. S.	D. S.	S. S.	S. S.
受 診	—	1	—	5	1	33	4
入 院	1	—	—	—	1	11	—

②入院時病名

(単位：人)

区 分	成 幸		戸越台		荏 原		平塚橋
	D. S.	S. S.	D. S.	S. S.	D. S.	S. S.	S. S.
肺 炎	—	—	—	—	—	1	—
心 疾 患	—	—	—	—	—	—	—
脳 卒 中	—	—	—	—	—	—	—
骨 折	—	—	—	—	—	2	—
脱 水 ・ 発 熱	—	—	—	—	—	1	—
そ の 他	1	—	—	—	1	7	—
救急車依頼回数	1	—	—	—	1	11	—

③医器処置者数

(単位：人)

区 分	成 幸		戸越台		荏 原		平塚橋
	D. S.	S. S.	D. S.	S. S.	D. S.	S. S.	S. S.
バルーンカテーテル	—	—	1	1	2	2	2
ス ト マ ー	1	—	—	—	1	2	—
貼 付 薬	5	2	8	2	5	9	4
ペースメーカー	1	—	5	—	2	3	—
酸素吸入	1	—	5	—	—	2	2
人工透析	2	—	4	1	—	—	—
胃 ろ う	—	—	1	—	1	1	1
インシュリン注射	1	1	4	1	13	5	1
血糖値チェック	1	1	1	1	12	3	—
皮下注射	—	—	—	—	—	—	1

5) 栄養調理

①高齢者と介護者のための料理教室

年4回、4施設の管理栄養士が共働で開催予定であったが、新型コロナウイルス拡大予防対策のため中止とした。今年度は、三徳だよりにレシピやコラムを掲載し、また、三徳レシピを作成し配布した。

②ゆうゆうクッキング

法人の地域貢献事業として平塚橋ゆうゆうプラザにおいて地域住民交流を図る「つながりクッキング」を企画した。新型コロナウイルス感染拡大予防対策のため開催は見合わせた。

3. 在宅介護支援センター

1) 年間利用者状況

(成 幸)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月
介護保険制度の説明・相談		22	27	24	13	24	32
要介護認定		53	47	47	32	55	55
基本チェックリスト		—	—	1	—	—	—
訪問 サービス	訪問介護	1	2	—	—	3	1
	訪問看護	1	3	2	—	1	1
	その他	2	—	—	—	—	4
通所 サービス	通所介護	4	2	2	3	4	7
	通所リハビリテーション	—	—	—	—	—	—
短期入所		1	—	—	—	—	—
福祉用具	貸与	5	14	8	3	5	4
	購入	—	—	1	—	—	1
住宅改修		2	2	—	2	—	1
(看護)小規模多機能型居宅介護		—	—	—	—	—	—
総合事業サービス		1	1	1	—	—	—
一般介護予防事業		—	1	—	—	—	—
区独自サービス		—	1	—	4	—	4
施設 サービス	特別養護老人ホーム	2	—	—	2	2	—
	老人保健施設	—	—	1	1	—	—
	認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	—	—	—	—	1	—
	特定施設入居者生活介護	—	—	—	—	—	—
	その他	2	2	—	—	—	—
医療・保健・健康相談		9	14	11	18	20	15
認知症		5	7	5	2	2	3
成年後見		—	—	4	—	—	—
虐待		—	1	—	—	—	—
安否確認		1	3	2	1	1	1
苦情		1	—	1	—	—	—
経済的問題		—	—	—	2	—	2
家族問題		—	2	—	—	—	—
その他		1	3	—	7	2	—
訪問相談		1,054	1,066	1,115	1,125	1,188	1,158
月計		1,167	1,198	1,225	1,215	1,308	1,289

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	平均
	35	21	15	17	14	26	270	22.5
	56	64	62	52	37	67	627	52.3
	—	1	—	1	—	—	3	0.3
	1	4	3	6	1	—	22	1.8
	2	4	2	2	1	2	21	1.8
	—	—	—	—	1	—	7	0.6
	4	1	7	4	3	3	44	3.7
	—	—	—	—	—	1	1	0.1
	—	—	—	—	—	1	2	0.2
	7	3	4	8	6	3	70	5.8
	—	—	—	—	—	—	2	0.2
	1	2	1	—	1	—	12	1.0
	—	—	—	2	—	—	2	0.2
	—	1	2	1	3	1	11	0.9
	—	1	—	—	1	—	3	0.3
	1	—	2	—	—	1	13	1.1
	—	1	1	—	1	—	9	0.8
	3	—	—	—	—	1	6	0.5
	—	—	—	—	—	—	1	0.1
	—	—	2	3	1	—	6	0.5
	1	1	—	2	—	—	8	0.7
	5	5	9	24	12	9	151	12.6
	9	4	3	3	1	2	46	3.8
	—	—	—	—	1	—	5	0.4
	—	—	—	1	—	1	3	0.3
	—	1	2	1	—	3	16	1.3
	—	—	—	—	—	2	4	0.3
	1	—	3	1	—	1	10	0.8
	—	1	—	1	—	—	4	0.3
	—	—	2	1	—	1	17	1.4
	1, 143	1, 168	1, 077	1, 110	1, 049	1, 057	13, 310	1, 109. 2
	1, 269	1, 283	1, 197	1, 240	1, 133	1, 182	14, 706	1, 225. 5

(戸越台)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月
介護保険制度の説明・相談		13	13	13	11	9	15
要介護認定		32	19	28	29	30	36
基本チェックリスト		—	—	1	2	—	—
訪問 サービス	訪問介護	2	2	4	3	1	1
	訪問看護	—	1	—	—	1	1
	その他	1	1	—	—	—	—
通所 サービス	通所介護	—	4	1	3	8	7
	通所リハビリテーション	—	—	—	—	—	—
短期入所		2	—	—	—	—	1
福祉用具	貸与	7	3	5	3	1	3
	購入	—	—	—	—	—	—
住宅改修		—	—	4	3	3	5
(看護)小規模多機能型居宅介護		—	—	—	—	—	—
総合事業サービス		—	—	—	—	—	—
一般介護予防事業		—	—	1	—	—	—
区独自サービス		—	—	3	1	1	3
施設 サービス	特別養護老人ホーム	—	1	—	1	2	—
	老人保健施設	—	—	3	1	—	1
	認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	—	—	—	—	—	1
	特定施設入居者生活介護	—	—	—	—	—	—
	その他	—	—	—	—	1	—
医療・保健・健康相談		24	22	17	22	17	17
認知症		1	—	4	5	7	9
成年後見		2	—	1	—	1	5
虐待		—	1	—	—	—	—
安否確認		—	1	—	7	6	—
苦情		—	—	—	1	—	—
経済的問題		—	2	—	1	3	—
家族問題		—	4	1	1	2	—
その他		—	—	—	1	—	1
訪問相談		1,050	996	985	1,037	1,066	1,065
月計		1,134	1,070	1,071	1,132	1,159	1,171

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	平均
	12	16	4	8	8	8	130	10.8
	32	15	39	31	26	36	353	29.4
	—	—	—	—	2	—	5	0.4
	1	4	4	1	3	—	26	2.2
	—	—	1	—	2	—	6	0.5
	—	—	—	—	—	—	2	0.2
	5	3	2	2	4	7	46	3.8
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	1	—	4	0.3
	2	3	3	5	9	8	52	4.3
	2	2	3	—	3	—	10	0.8
	1	3	1	1	2	5	28	2.8
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	1	—	—	—	—	1	0.1
	1	—	1	—	1	—	4	0.3
	6	3	3	—	1	1	22	1.8
	1	1	4	2	1	1	14	1.2
	1	—	—	1	—	—	7	0.6
	—	—	—	—	—	—	1	0.1
	2	—	4	1	2	—	9	0.8
	—	—	—	—	—	—	1	0.1
	18	22	22	26	23	28	258	21.5
	6	3	—	6	4	3	48	4.8
	6	—	—	2	—	—	17	0.4
	—	2	—	—	—	5	8	0.7
	2	1	4	6	1	1	29	2.4
	—	—	—	3	—	2	6	0.5
	2	2	—	1	1	1	13	1.1
	4	2	1	2	—	2	19	1.6
	—	—	1	2	1	—	6	0.5
	995	886	714	777	794	643	11,008	917.3
	1,099	969	811	877	889	751	12,133	1,011.1

(杜 松)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月
介護保険制度の説明・相談		15	23	21	29	28	22
要介護認定		36	23	34	23	30	30
基本チェックリスト		—	—	2	—	1	—
訪問 サービス	訪問介護	2	1	2	1	3	2
	訪問看護	4	1	3	3	1	—
	その他	—	—	3	1	1	1
通所 サービス	通所介護	4	2	2	1	3	15
	通所リハビリテーション	—	—	1	—	—	—
短期入所		—	—	—	1	1	—
福祉用具	貸与	8	9	5	4	5	6
	購入	—	—	—	1	3	—
住宅改修		—	2	1	—	6	1
(看護)小規模多機能型居宅介護		—	—	—	—	1	—
総合事業サービス		—	—	—	—	—	—
一般介護予防事業		—	—	—	—	—	—
区独自サービス		1	—	3	—	3	1
施設 サービス	特別養護老人ホーム	—	1	—	—	4	—
	老人保健施設	—	—	—	1	—	—
	認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	—	—	—	—	—	2
	特定施設入居者生活介護	1	—	—	—	—	—
	その他	—	—	—	—	—	—
医療・保健・健康相談		19	19	16	15	27	15
認知症		1	1	3	1	1	—
成年後見		—	—	1	—	—	—
虐待		—	—	—	—	—	—
安否確認		3	3	4	9	9	1
苦情		—	—	—	—	—	1
経済的問題		—	3	4	—	—	—
家族問題		—	1	—	—	—	—
その他		1	2	3	2	2	1
訪問相談		1,122	1,141	1,165	1,110	1,238	1,187
月計		1,217	1,232	1,273	1,202	1,367	1,285

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	平均
	31	25	19	32	25	21	291	24.3
	36	41	29	37	28	30	377	31.4
	1	—	—	1	—	—	5	0.4
	1	5	—	—	—	1	18	2.0
	2	—	4	3	1	2	24	2.4
	—	—	—	—	1	1	8	0.7
	8	3	1	6	6	—	51	4.6
	—	—	—	—	3	—	4	0.3
	—	1	2	1	—	—	6	0.5
	4	7	5	10	7	6	76	6.3
	—	1	—	—	—	—	5	0.4
	2	3	—	2	1	4	22	2.4
	1	—	—	—	—	—	2	0.2
	1	1	—	—	—	—	2	0.2
	—	—	—	—	—	—	—	—
	4	1	2	—	—	—	15	2.1
	—	—	3	4	3	1	16	2.7
	—	1	1	—	—	1	4	0.3
	—	—	—	—	—	—	2	0.2
	—	—	2	—	—	—	3	0.3
	—	1	1	—	—	—	2	0.2
	13	22	19	30	19	15	229	19.1
	1	2	3	1	1	—	15	1.3
	—	1	—	—	—	—	2	0.2
	—	—	—	1	—	—	1	0.1
	4	—	2	1	—	7	43	4.3
	—	—	—	—	—	—	1	0.1
	—	2	—	1	1	—	11	0.9
	2	1	—	—	—	—	4	0.3
	2	—	1	2	2	1	19	1.6
	1, 124	942	1, 056	1, 079	1, 072	1, 010	13, 246	1, 103. 8
	1, 237	1, 060	1, 150	1, 171	1, 170	1, 100	14, 464	1, 205. 3

(荏原)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月
介護保険制度の説明・相談		13	6	9	13	13	9
要介護認定		51	49	45	37	42	35
基本チェックリスト		—	—	1	—	—	1
訪問サービス	訪問介護	1	1	1	3	4	—
	訪問看護	1	—	—	—	2	—
	その他	—	—	—	—	—	—
通所サービス	通所介護	1	3	1	—	8	3
	通所リハビリテーション	—	—	—	—	—	—
短期入所		—	—	1	—	—	—
福祉用具	貸与	1	7	2	2	2	9
	購入	2	—	—	—	2	2
住宅改修		3	1	2	—	—	—
(看護)小規模多機能型居宅介護		—	—	—	—	—	—
総合事業サービス		—	—	—	—	—	—
一般介護予防事業		—	—	1	1	—	1
区独自サービス		1	—	2	—	—	—
施設サービス	特別養護老人ホーム	—	1	—	—	1	2
	老人保健施設	—	—	—	—	—	—
	認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	—	—	—	—	—	—
	特定施設入居者生活介護	—	1	1	1	1	—
	その他	—	—	3	—	—	—
医療・保健・健康相談		11	13	17	14	14	5
認知症		4	4	1	3	—	—
成年後見		—	—	—	—	—	—
虐待		—	—	—	—	—	1
安否確認		—	—	—	—	—	—
苦情		—	—	—	—	—	—
経済的問題		—	—	—	—	—	—
家族問題		—	—	—	—	1	—
その他		—	1	—	2	1	—
訪問相談		922	903	983	817	894	900
月計		1,011	990	1,070	893	985	968

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	平均
	5	14	4	17	11	11	125	10.4
	41	40	31	40	37	37	485	40.4
	—	—	—	—	—	—	2	0.2
	3	2	5	—	1	5	26	2.6
	1	—	2	—	1	—	7	0.6
	—	—	—	2	1	2	5	0.4
	5	8	3	1	3	2	38	3.5
	—	—	—	—	—	—	—	—
	1	—	—	—	—	—	2	0.2
	8	7	4	6	5	1	54	4.5
	1	1	2	1	—	—	11	0.9
	3	1	2	—	4	1	17	1.4
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	1	1	0.1
	—	—	—	—	—	—	3	0.3
	1	—	—	—	—	2	6	0.5
	—	—	—	2	4	—	10	0.8
	—	—	1	—	1	—	2	0.2
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	1	—	—	—	5	0.4
	—	3	2	—	3	1	12	1.0
	17	11	13	21	19	16	171	14.3
	1	4	5	1	6	2	31	3.1
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	1	—	—	—	—	2	0.2
	1	—	—	—	2	1	4	0.3
	—	—	—	—	1	—	1	0.1
	1	1	—	—	—	—	2	0.2
	—	—	—	1	—	4	6	0.8
	—	1	—	2	2	—	9	0.8
	860	856	923	739	881	616	10,294	857.8
	949	950	998	833	982	702	11,331	944.3

(小 山)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月
介護保険制度の説明・相談		24	39	15	21	32	28
要介護認定		32	28	41	44	50	32
基本チェックリスト		2	2	—	—	—	1
訪問 サービス	訪問介護	2	3	1	1	1	2
	訪問看護	—	1	2	2	10	2
	その他	1	2	—	—	4	1
通所 サービス	通所介護	4	8	6	1	3	7
	通所リハビリテーション	1	2	—	1	—	—
短期入所		—	—	2	1	—	1
福祉用具	貸与	4	2	3	1	2	—
	購入	2	1	—	1	1	2
住宅改修		—	5	4	2	3	7
(看護)小規模多機能型居宅介護		—	—	—	—	—	2
総合事業サービス		—	—	—	—	4	2
一般介護予防事業		—	—	—	—	—	1
区独自サービス		—	—	2	4	3	6
施設 サービス	特別養護老人ホーム	1	—	—	—	1	1
	老人保健施設	3	—	—	—	—	1
	認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	—	—	—	—	—	—
	特定施設入居者生活介護	3	4	2	3	3	7
	その他	3	1	7	5	2	7
医療・保健・健康相談		15	20	25	35	26	23
認知症		7	2	1	3	5	6
成年後見		2	—	1	—	3	3
虐待		—	—	—	1	2	—
安否確認		1	8	2	2	1	1
苦情		3	—	1	—	4	—
経済的問題		1	1	2	—	2	2
家族問題		2	—	1	2	7	4
その他		—	2	—	4	1	2
訪問相談		1,207	1,072	1,215	1,122	1,152	1,268
月計		1,320	1,183	1,333	1,256	1,322	1,419

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	平均
	28	26	17	46	20	26	322	26.8
	36	36	25	49	34	41	448	37.3
	—	—	—	—	—	1	6	0.5
	4	5	9	5	4	2	39	3.3
	5	7	1	5	—	2	37	3.4
	3	2	2	1	3	—	19	2.1
	7	10	2	10	5	9	72	6.0
	—	—	—	—	—	—	4	0.3
	2	—	3	—	—	—	9	0.8
	3	11	9	11	9	10	65	5.9
	1	3	2	—	—	—	13	1.6
	7	2	1	6	4	3	44	4.0
	—	—	—	—	—	—	2	0.2
	—	—	—	—	—	—	6	0.5
	—	—	—	—	—	1	2	0.2
	2	4	7	—	1	—	29	3.6
	—	—	1	—	6	1	11	1.8
	1	—	—	—	2	1	8	0.7
	—	—	—	—	—	—	—	—
	3	5	5	1	1	3	40	3.3
	3	2	6	1	—	1	38	3.5
	17	21	30	36	35	19	302	25.2
	3	4	5	2	6	6	50	4.2
	2	1	7	—	2	—	21	2.3
	—	—	—	1	—	—	4	0.3
	—	3	5	3	5	1	32	2.9
	1	—	—	1	—	—	10	0.8
	3	7	1	—	1	1	21	2.1
	4	14	8	11	2	1	56	5.1
	2	1	1	1	4	1	19	1.9
	1,098	1,048	1,197	1,098	1,089	1,033	13,599	1,133.3
	1,235	1,212	1,314	1,288	1,233	1,163	15,278	1,273.2

(小山台)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月
介護保険制度の説明・相談		11	23	21	6	28	9
要介護認定		17	14	16	8	19	23
基本チェックリスト		3	—	—	—	—	—
訪問サービス	訪問介護	—	7	1	—	3	1
	訪問看護	—	—	2	1	3	1
	その他	—	—	—	—	—	—
通所サービス	通所介護	2	9	3	13	3	2
	通所リハビリテーション	—	—	—	—	—	—
短期入所		—	—	—	—	—	1
福祉用具	貸与	5	3	6	8	3	5
	購入	1	—	—	—	—	—
住宅改修		3	2	3	3	2	4
(看護)小規模多機能型居宅介護		—	—	—	—	—	—
総合事業サービス		—	—	—	—	—	—
一般介護予防事業		—	—	—	—	—	—
区独自サービス		1	—	1	—	—	3
施設サービス	特別養護老人ホーム	—	—	—	1	3	—
	老人保健施設	—	—	—	—	—	—
	認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	1	—	—	—	—	—
	特定施設入居者生活介護	1	—	2	12	1	1
	その他	3	3	1	2	—	3
医療・保健・健康相談		19	10	18	19	13	16
認知症		2	—	—	2	1	—
成年後見		—	—	—	—	—	—
虐待		—	—	—	—	—	—
安否確認		1	—	—	—	2	—
苦情		—	1	—	—	—	—
経済的問題		—	—	—	—	1	1
家族問題		—	—	—	1	—	—
その他		—	1	—	—	1	—
訪問相談		552	457	551	652	633	628
月計		622	530	625	728	716	698

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	平均
	10	13	9	24	28	16	198	16.5
	17	27	32	20	16	23	232	19.3
	1	—	—	1	1	—	6	0.5
	3	2	3	1	1	3	25	2.1
	2	1	1	—	1	—	12	1.0
	—	—	—	—	—	—	—	—
	3	5	4	3	7	5	59	4.9
	—	—	—	1	1	—	2	0.2
	—	1	—	—	—	—	2	0.2
	2	1	4	3	3	4	47	3.9
	—	2	—	1	—	—	4	0.3
	1	1	3	—	1	2	25	2.1
	—	—	—	—	—	—	—	—
	1	—	—	—	—	—	1	0.1
	—	1	—	—	—	—	1	0.1
	2	—	—	4	3	—	14	1.2
	—	1	—	1	—	—	6	0.5
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	1	0.1
	—	—	—	—	2	1	20	1.7
	1	2	1	—	2	1	19	1.6
	20	18	16	14	9	11	183	15.3
	—	4	—	3	3	—	15	1.3
	—	—	—	—	—	—	—	—
	2	—	—	—	—	6	8	0.7
	2	—	—	1	—	—	6	0.5
	—	1	7	—	—	—	9	0.8
	2	—	—	—	—	—	4	0.3
	—	—	1	—	—	1	3	0.3
	—	1	1	—	2	—	6	0.5
	542	493	599	419	455	360	6,341	528.4
	611	574	681	496	535	433	7,249	604.1

2) 介護保険利用者状況

(成 幸)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月		
相談	時間外相談対応	13	21	8	16	2	4		
介護報酬請求件数	居宅介護支援	居宅支援Ⅰ 1	71	74	72	75	77	79	
		居宅支援Ⅰ 2	47	52	43	48	43	47	
		居宅介護支援合計	118	126	115	123	120	126	
		初回加算	6	7	6	9	4	9	
		特定事業所加算Ⅱ	—	—	—	—	—	—	
		特定事業所加算Ⅲ	118	126	115	123	120	126	
		特定事業所医療介護連携加算	—	—	—	—	—	—	
		入院時情報連携加算Ⅰ	2	5	3	6	5	6	
		入院時情報連携加算Ⅱ	—	1	—	—	—	—	
		退院退所加算Ⅰイ	—	1	1	1	3	—	
		退院退所加算Ⅰロ	—	—	—	—	—	—	
		退院退所加算Ⅱイ	—	—	—	—	—	—	
		退院退所加算Ⅱロ	—	—	—	—	—	—	
		退院退所加算Ⅲ	—	—	—	—	—	—	
		通院時情報連携加算	—	—	1	—	—	—	
		緊急時等居宅カンファレンス加算	—	—	—	—	—	—	
		ターミナルケアマネジメント加算	—	—	—	—	—	—	
		看取り期相談調整支援Ⅰ 1	—	—	—	—	—	—	
	看取り期相談調整支援Ⅰ 2	—	—	—	—	—	—		
	介護予防支援	a 介護予防支援・基本	134	147	146	153	146	154	
介護予防支援・初回		1	4	6	2	2	7		
総合事業	b 原則型マネジメント	92	84	85	86	92	97		
	c 簡略型マネジメント	18	18	19	23	20	21		
	d 初回型マネジメント	—	—	—	—	—	—		
	初回加算	7	3	5	8	3	5		
	介護予防ケアマネジメント(b+c+d)	110	102	104	109	112	118		
	介護予防支援・原則型合計(a+b)	226	231	231	239	238	251		
	介護予防支援+原則型+簡略型(a+b+c)	244	249	250	262	258	272		
調査	認定調査	15	23	16	10	7	4		
実態把握	介護給付	15	11	21	13	17	8		
	予防給付・介護予防	12	11	14	8	13	18		

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	平均
	26	17	12	32	9	18	172	14.3
	77	8	82	7	66	71	744	62.0
	41	43	51	51	46	46	558	46.5
	118	43	133	51	112	117	1,302	108.5
	5	5	15	2	2	6	76	6.3
	—	—	—	—	—	—	—	—
	118	123	133	121	112	119	1,454	121.2
	—	—	—	—	—	—	—	—
	4	6	9	9	5	7	67	5.6
	—	1	—	—	1	—	3	0.3
	1	3	—	1	1	2	14	1.2
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	1	0.1
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	156	152	159	158	156	163	1,824	152.0
	2	3	4	2	5	6	44	3.7
	100	101	98	91	97	97	1,120	93.3
	19	22	20	19	21	18	238	19.8
	—	—	—	1	—	1	2	0.2
	3	8	2	1	7	2	54	4.5
	119	123	118	111	118	116	1,360	113.3
	256	253	257	249	253	260	2,944	245.3
	275	275	277	268	274	278	3,182	265.2
	11	3	11	3	4	6	113	9.4
	11	15	12	22	12	12	169	14.1
	16	20	13	21	20	17	183	15.3

(戸越台)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月		
相談	時間外相談対応	4	10	—	4	2	3		
介護報酬請求件数	居宅介護支援	居宅支援Ⅰ 1	87	89	90	94	91	99	
		居宅支援Ⅰ 2	30	32	29	36	37	36	
		居宅介護支援合計	117	121	119	130	128	135	
		初回加算	7	10	7	7	4	8	
		特定事業所加算Ⅱ	117	121	119	130	128	135	
		特定事業所加算Ⅲ	—	—	—	—	—	—	
		特定事業所医療介護連携加算	—	—	—	—	—	—	
		入院時情報連携加算Ⅰ	5	8	3	8	4	6	
		入院時情報連携加算Ⅱ	—	—	—	—	2	1	
		退院退所加算Ⅰイ	1	1	5	5	3	3	
		退院退所加算Ⅰロ	—	—	—	—	1	—	
		退院退所加算Ⅱイ	—	—	—	—	—	—	
		退院退所加算Ⅱロ	—	—	—	—	—	—	
		退院退所加算Ⅲ	—	—	—	—	—	—	
		通院時情報連携加算	—	—	3	—	—	—	
		緊急時等居宅カンファレンス加算	—	—	—	—	—	—	
		ターミナルケアマネジメント加算	—	—	—	—	—	—	
		看取り期相談調整支援Ⅰ 1	—	—	—	—	—	—	
	看取り期相談調整支援Ⅰ 2	—	—	—	—	—	—		
	介護予防支援	a 介護予防支援・基本	121	117	114	108	102	101	
介護予防支援・初回		3	2	1	2	1	1		
総合事業	b 原則型マネジメント	70	75	67	57	60	59		
	c 簡略型マネジメント	15	18	21	18	16	17		
	d 初回型マネジメント	—	—	—	—	—	—		
	初回加算	5	5	3	—	1	4		
	介護予防ケアマネジメント(b+c+d)	85	93	88	75	76	76		
	介護予防支援・原則型合計(a+b)	191	192	181	165	162	160		
	介護予防支援+原則型+簡略型(a+b+c)	206	210	202	183	178	177		
調査	認定調査	19	17	11	19	19	13		
実態把握	介護給付	24	15	7	18	11	3		
	予防給付・介護予防	24	8	10	32	21	20		

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	平均
	—	6	6	11	8	6	60	5.0
	88	96	81	84	81	77	1,057	88.1
	37	37	28	24	22	29	377	31.4
	125	133	109	108	103	106	1,434	119.5
	5	5	5	5	6	5	74	6.2
	125	133	—	4	1	—	1,013	84.4
	—	—	109	104	102	106	421	35.1
	—	—	—	—	—	—	—	—
	2	5	6	2	4	2	55	4.6
	1	—	1	—	—	1	6	0.5
	2	3	3	2	—	3	31	2.6
	1	—	—	—	—	—	2	0.2
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	3	0.3
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	104	104	99	104	106	111	1,291	107.6
	5	4	1	3	2	4	29	2.4
	63	63	63	56	56	54	743	61.9
	16	15	18	16	16	13	199	16.6
	—	—	—	—	—	—	—	—
	9	4	2	1	4	1	39	3.3
	79	78	81	72	72	67	942	78.5
	167	167	162	160	162	165	2,034	169.5
	183	182	180	176	178	178	2,233	186.1
	11	13	6	12	15	20	175	14.6
	15	12	10	14	16	7	152	12.7
	16	10	10	16	15	18	200	16.7

(杜 松)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月		
相談	時間外相談対応	6	3	2	1	3	1		
介護報酬請求件数	居宅介護支援	居宅支援Ⅰ 1	70	70	75	75	77	74	
		居宅支援Ⅰ 2	26	31	28	28	27	40	
		居宅介護支援合計	96	101	103	103	104	114	
		初回加算	3	9	8	4	10	9	
		特定事業所加算Ⅱ	2	1	—	—	—	—	
		特定事業所加算Ⅲ	94	100	103	103	104	114	
		特定事業所医療介護連携加算	—	—	—	—	—	—	
		入院時情報連携加算Ⅰ	2	5	4	5	7	3	
		入院時情報連携加算Ⅱ	—	—	—	—	—	—	
		退院退所加算Ⅰイ	—	2	—	1	—	3	
		退院退所加算Ⅰロ	—	—	—	—	—	1	
		退院退所加算Ⅱイ	1	—	1	1	—	—	
		退院退所加算Ⅱロ	—	—	—	—	—	—	
		退院退所加算Ⅲ	—	—	—	—	—	—	
		通院時情報連携加算	—	—	—	—	—	—	
		緊急時等居宅カンファレンス加算	—	—	—	—	—	—	
		ターミナルケアマネジメント加算	—	—	1	—	—	—	
		看取り期相談調整支援Ⅰ 1	—	—	—	—	—	—	
	看取り期相談調整支援Ⅰ 2	—	—	—	—	—	—		
	介護予防支援	a 介護予防支援・基本	129	128	124	133	134	128	
介護予防支援・初回		3	3	3	3	5	1		
総合事業	b 原則型マネジメント	67	64	66	63	60	57		
	c 簡略型マネジメント	21	22	19	22	22	21		
	d 初回型マネジメント	—	—	—	—	—	—		
	初回加算	3	2	4	8	2	2		
	介護予防ケアマネジメント(b+c+d)	88	86	85	85	82	78		
	介護予防支援・原則型合計(a+b)	196	192	190	196	194	185		
	介護予防支援+原則型+簡略型(a+b+c)	217	214	209	218	216	206		
調査	認定調査	27	44	35	25	17	20		
実態把握	介護給付	16	12	16	19	17	14		
	予防給付・介護予防	10	10	12	9	8	12		

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	平均
	4	5	3	5	3	4	40	3.3
	69	42	46	49	51	58	756	63.0
	29	20	28	22	21	25	325	27.1
	98	62	74	71	72	83	1,081	90.1
	4	4	10	5	7	8	81	6.8
	—	—	—	—	—	—	3	0.3
	98	—	71	71	72	83	1,013	84.4
	—	—	—	—	—	—	—	—
	2	4	6	4	—	3	45	3.8
	—	—	—	—	—	—	—	—
	1	—	2	1	1	1	12	1.0
	—	—	1	—	—	—	2	0.2
	—	—	2	2	—	—	7	0.6
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	2	—	—	—	2	0.2
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	1	0.1
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	136	132	128	122	133	136	1,563	130.3
	5	6	1	2	4	7	43	3.6
	64	63	64	65	66	72	771	64.3
	21	17	19	18	18	15	235	19.6
	2	1	—	—	—	—	3	0.3
	8	1	5	3	5	1	44	3.7
	87	81	83	83	84	87	1,009	84.1
	200	195	192	187	199	208	2,334	194.5
	221	212	211	205	217	223	2,569	214.1
	11	25	12	15	12	18	261	21.8
	6	2	26	13	12	12	165	13.8
	18	13	18	6	11	16	143	11.9

(荏 原)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月		
相談	時間外相談対応	7	3	4	14	12	18		
介護報酬請求件数	居宅介護支援	居宅支援Ⅰ 1	82	83	82	82	78	78	
		居宅支援Ⅰ 2	48	47	48	46	42	42	
		居宅介護支援合計	130	130	130	128	120	120	
		初回加算	11	6	5	6	3	2	
		特定事業所加算Ⅱ	130	130	8	1	—	—	
		特定事業所加算Ⅲ	—	—	122	127	120	120	
		特定事業所医療介護連携加算	—	—	—	—	—	—	
		入院時情報連携加算Ⅰ	5	3	7	5	3	6	
		入院時情報連携加算Ⅱ	—	—	1	1	—	—	
		退院退所加算Ⅰイ	—	5	1	1	3	1	
		退院退所加算Ⅰロ	—	—	—	—	—	—	
		退院退所加算Ⅱイ	—	—	—	1	—	1	
		退院退所加算Ⅱロ	—	—	—	—	—	—	
		退院退所加算Ⅲ	—	—	—	—	—	—	
		通院時情報連携加算	1	1	—	1	1	—	
		緊急時等居宅カンファレンス加算	—	—	—	—	—	—	
		ターミナルケアマネジメント加算	1	1	—	—	1	—	
		看取り期相談調整支援Ⅰ 1	—	—	—	—	—	—	
	看取り期相談調整支援Ⅰ 2	—	—	—	—	—	—		
	介護予防支援	a 介護予防支援・基本	116	115	110	108	110	107	
介護予防支援・初回		1	—	1	1	1	1		
総合事業	b 原則型マネジメント	50	45	48	47	48	47		
	c 簡略型マネジメント	15	15	15	15	16	17		
	d 初回型マネジメント	—	—	—	—	1	1		
	初回加算	6	—	2	1	3	2		
	介護予防ケアマネジメント(b+c+d)	65	60	63	62	65	65		
	介護予防支援・原則型合計(a+b)	166	160	158	155	158	154		
	介護予防支援+原則型+簡略型(a+b+c)	181	175	173	170	174	171		
調査	認定調査	19	19	15	9	6	5		
実態把握	介護給付	19	29	9	16	15	9		
	予防給付・介護予防	9	2	5	8	7	26		

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	平均
	16	6	21	38	10	1	150	12.5
	82	76	81	83	88	89	984	82.0
	42	46	45	44	49	43	542	45.2
	124	122	126	127	137	132	1,526	127.2
	6	6	6	3	8	7	69	5.8
	120	120	126	127	137	132	1,031	85.9
	4	2	—	—	—	—	495	41.3
	—	—	—	—	—	—	—	—
	3	4	2	11	6	7	62	5.2
	—	1	—	—	—	—	3	0.3
	4	2	7	3	3	3	33	2.8
	—	—	—	—	—	1	1	0.1
	—	—	—	1	—	1	4	0.3
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	1	1	—	1	7	0.6
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	1	—	1	1	6	0.5
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	112	110	116	111	126	120	1,361	113.4
	2	3	4	3	8	4	29	2.4
	47	47	40	44	42	44	549	45.8
	15	13	13	11	13	14	172	14.3
	—	—	—	—	—	—	2	0.2
	3	1	2	2	2	5	29	2.4
	62	60	53	55	55	58	723	60.3
	159	157	156	155	168	164	1,910	159.2
	174	170	169	166	181	178	2,082	173.5
	10	12	11	13	9	12	140	11.7
	6	11	13	11	30	30	198	16.5
	15	8	12	7	16	31	146	12.2

(小 山)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月		
相談	時間外相談対応	10	14	15	20	15	15		
介護報酬請求件数	居宅介護支援	居宅支援Ⅰ 1	95	96	98	94	101	99	
		居宅支援Ⅰ 2	36	33	35	35	38	41	
		居宅介護支援合計	131	129	133	129	139	140	
		初回加算	8	5	6	5	12	8	
		特定事業所加算Ⅱ	131	129	133	129	139	140	
		特定事業所加算Ⅲ	—	—	—	—	—	—	
		特定事業所医療介護連携加算	126	128	133	129	139	140	
		入院時情報連携加算Ⅰ	5	6	8	5	9	6	
		入院時情報連携加算Ⅱ	—	—	—	—	2	—	
		退院退所加算Ⅰイ	—	1	4	1	3	4	
		退院退所加算Ⅰロ	—	—	—	—	—	—	
		退院退所加算Ⅱイ	1	3	4	2	4	4	
		退院退所加算Ⅱロ	—	—	—	—	—	—	
		退院退所加算Ⅲ	—	—	—	—	—	—	
		通院時情報連携加算	—	—	—	1	—	—	
		緊急時等居宅カンファレンス加算	—	—	—	—	—	—	
		ターミナルケアマネジメント加算	2	—	—	1	—	2	
		看取り期相談調整支援Ⅰ 1	—	—	—	—	—	—	
	看取り期相談調整支援Ⅰ 2	—	—	—	—	—	—		
	介護予防支援	a 介護予防支援・基本	151	152	151	151	155	157	
介護予防支援・初回		2	3	1	6	8	—		
総合事業	b 原則型マネジメント	63	69	72	68	62	72		
	c 簡略型マネジメント	32	32	31	30	30	28		
	d 初回型マネジメント	—	—	—	—	—	—		
	初回加算	4	6	5	4	1	1		
	介護予防ケアマネジメント(b+c+d)	95	101	103	98	92	100		
	介護予防支援・原則型合計(a+b)	214	221	223	219	217	229		
	介護予防支援+原則型+簡略型(a+b+c)	246	253	254	249	247	257		
調査	認定調査	16	17	35	31	32	12		
実態把握	介護給付	10	14	6	16	12	13		
	予防給付・介護予防	10	11	20	12	25	13		

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	平均
	16	26	20	25	18	19	213	17.8
	96	95	94	92	88	84	1,132	94.3
	41	38	44	44	41	40	466	38.8
	137	133	138	136	129	124	1,598	133.2
	6	3	8	5	—	2	68	5.7
	137	133	138	136	129	124	1,598	133.2
	—	—	—	—	—	—	—	—
	137	133	138	136	129	124	1,592	132.7
	11	5	7	5	1	2	70	5.8
	1	—	—	—	—	—	3	0.3
	3	3	2	—	—	2	23	1.9
	—	—	—	—	—	—	—	—
	1	3	2	2	1	1	28	2.3
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	1	0.1
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	1	1	—	—	7	0.6
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	159	163	164	169	153	160	1,885	157.1
	4	5	3	—	2	9	43	3.6
	74	77	77	74	71	70	849	70.8
	24	22	21	27	24	26	327	27.3
	—	—	—	—	—	—	—	—
	7	2	5	11	—	5	51	4.3
	98	99	98	101	95	96	1,176	98.0
	233	240	241	243	224	230	2,734	227.8
	257	262	262	270	248	256	3,061	255.1
	8	20	22	17	19	23	252	21.0
	5	19	13	9	7	10	134	11.2
	15	23	11	15	15	18	188	15.7

(小山台)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月		
相談	時間外相談対応	7	8	7	5	2	9		
介護報酬請求件数	居宅介護支援	居宅支援Ⅰ 1	49	47	43	43	49	52	
		居宅支援Ⅰ 2	28	26	27	30	26	26	
		居宅介護支援合計	77	73	70	73	75	78	
		初回加算	2	4	5	5	3	3	
		特定事業所加算Ⅱ	—	—	—	—	—	—	
		特定事業所加算Ⅲ	77	—	70	73	75	78	
		特定事業所医療介護連携加算	—	—	—	—	—	—	
		入院時情報連携加算Ⅰ	3	—	3	1	—	2	
		入院時情報連携加算Ⅱ	—	—	1	1	—	1	
		退院退所加算Ⅰイ	—	—	—	1	3	—	
		退院退所加算Ⅰロ	—	—	—	—	—	—	
		退院退所加算Ⅱイ	—	—	—	—	—	2	
		退院退所加算Ⅱロ	—	—	—	—	—	—	
		退院退所加算Ⅲ	—	—	—	—	—	—	
		通院時情報連携加算	—	—	—	—	—	—	
		緊急時等居宅カンファレンス加算	—	—	—	—	—	—	
		ターミナルケアマネジメント加算	—	—	—	—	1	—	
		看取り期相談調整支援Ⅰ 1	—	—	—	—	—	—	
	看取り期相談調整支援Ⅰ 2	—	—	—	—	—	—		
	介護予防支援	a 介護予防支援・基本	70	76	75	74	72	69	
介護予防支援・初回		2	6	3	2	1	2		
総合事業	b 原則型マネジメント	42	42	43	45	48	50		
	c 簡略型マネジメント	10	10	9	8	7	6		
	d 初回型マネジメント	—	—	—	—	—	—		
	初回加算	2	1	3	3	3	2		
	介護予防ケアマネジメント(b+c+d)	52	52	52	53	55	56		
	介護予防支援・原則型合計(a+b)	112	118	118	119	120	119		
	介護予防支援+原則型+簡略型(a+b+c)	122	128	127	127	127	125		
調査	認定調査	12	14	18	15	20	7		
実態把握	介護給付	4	6	14	15	6	13		
	予防給付・介護予防	5	6	11	9	11	13		

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	平均
	1	7	1	8	2	2	59	4.9
	49	49	50	53	52	57	593	49.4
	29	28	34	34	27	34	349	29.1
	78	77	84	87	79	91	942	78.5
	2	4	5	7	3	5	48	4.0
	—	—	—	—	—	—	—	—
	78	77	84	87	79	91	869	72.4
	—	—	—	—	—	—	—	—
	2	1	3	3	2	5	25	2.1
	—	—	1	—	—	—	4	0.3
	—	—	3	—	—	1	8	0.7
	—	—	—	—	—	—	—	—
	1	—	2	3	—	2	10	0.8
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	1	0.1
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	78	76	75	80	75	77	897	74.8
	3	—	1	1	3	3	27	2.3
	47	49	48	45	46	46	551	45.9
	7	8	8	10	10	11	104	8.7
	—	—	—	—	—	—	—	—
	3	4	—	—	2	5	28	2.3
	54	57	56	55	56	57	655	54.6
	125	125	123	125	121	123	1,448	120.7
	132	133	131	135	131	134	1,552	129.3
	9	19	17	23	16	28	198	16.5
	7	13	11	17	10	5	121	10.1
	10	9	7	14	11	12	118	9.8

3) 障害者計画相談支援

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者数	身体障害	11	6	6	8	9	9	
	重症心身障害	—	—	—	—	—	—	
	知的障害	2	2	2	4	2	4	
	高次脳機能障害	—	—	—	—	—	—	
	その他	—	—	—	—	—	—	
	実人数	13	8	8	12	11	13	
支援方法	訪問	13	4	4	5	4	8	
	来所相談	—	—	—	—	—	—	
	同行	—	—	—	—	—	—	
	電話相談	—	—	1	—	3	4	
	電子メール	—	—	1	1	—	2	
	個別支援会議	—	—	—	—	—	—	
	関係機関	—	—	—	—	—	—	
	その他	—	—	—	—	—	—	
	月計	13	4	6	6	7	14	
支援内容	福祉サービスの利用等	13	4	4	3	7	8	
	障害や病状の理解	2	2	2	2	3	3	
	健康・医療	2	2	2	1	2	3	
	不安の解消・情緒安定	3	3	3	2	3	—	
	保育・教育	—	—	—	—	—	—	
	家族関係・人間関係	—	—	—	—	—	—	
	家計・経済	—	—	—	—	—	—	
	生活技術	—	—	—	—	—	—	
	就労	—	—	—	—	1	1	
	社会参加・余暇活動	—	—	—	—	—	—	
	権利擁護	—	—	—	—	—	—	
	その他	—	—	—	—	—	—	
月計	20	11	11	8	16	15		
計画相談件数	新規作成	9	9	9	2	1	2	
	更新作成	—	—	—	1	—	—	
	モニタリング	—	—	—	—	3	—	
	月計	9	9	9	3	4	2	

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	平均
	14	3	3	13	13	13	108	9.0
	9	—	—	—	—	—	9	0.8
	5	4	4	3	3	3	38	3.2
	—	1	—	—	—	1	2	0.2
	—	—	1	1	1	—	3	0.3
	28	8	8	17	17	17	160	13.3
	11	13	16	10	9	12	109	9.1
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	2	—	—	—	—	2	0.2
	7	11	7	4	—	—	37	3.1
	2	2	1	—	2	2	13	1.1
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	3	5	—	—	—	8	0.7
	—	—	—	—	—	—	—	—
	20	31	29	14	11	14	169	14.1
	11	10	14	10	8	10	102	8.5
	4	5	8	1	2	2	36	3.0
	3	2	3	—	—	1	21	1.8
	1	2	3	4	4	4	32	2.7
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	1	—	—	—	—	1	0.1
	—	—	—	—	—	—	—	—
	1	1	1	1	2	2	10	0.8
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	20	21	29	16	16	19	202	16.8
	3	1	2	2	7	2	49	4.1
	—	—	—	2	—	—	3	0.3
	—	—	—	—	—	—	3	0.3
	3	1	2	4	7	2	55	4.6

4) 認知症サポーター養成事業・認知症サポーターレベルアップ事業

開催日	担 当	対 象	場 所	人数
4.7.5	戸越台	戸越台中学校7年生	戸越台中学校	83
4.7.11	成幸・戸越台	荏原第三地区民生委員*	荏原第三地域センター	27
4.7.13	荏原・小山台	荏原第一地区民生委員	荏原第一地域センター	2
4.7.21	戸越台	大東京信用組合職員	戸越台支援センター 杜松支援センター	16
4.10.4	杜松	東京都美容生活衛生同業組合品川支部・昭和大学看護実習生	荏原第四地域センター	40
4.10.4	小山	荏原第二地区民生委員	荏原第二地域センター	17
4.10.15	小山	東京医療保健福祉大学医療保健学部看護学科実習生	小山支援センター	1
4.10.29	小山	東京医療保健福祉大学医療保健学部看護学科実習生	小山支援センター	2
4.11.24	小山	旗の台白寿会（高齢者クラブ）	旗の台南町会会館	9
4.11.26	小山	東京医療保健福祉大学医療保健学部看護学科実習生	小山支援センター	2
4.12.9	荏原	平塚二丁目町会地域住民*	平塚二丁目町会会館	16
4.12.12	小山	イオン旗の台店スタッフ	旗の台第二町会会館	10
4.12.13	成幸	東京医療保健福祉大学医療保健学部看護学科実習生	成幸支援センター	2
5.2.20	杜松	荏原第五地区民生委員	荏原第五地域センター	18
5.3.8	杜松	品川介護福祉専門学校1・2年生	品川介護専門学校	31
5.3.14	戸越台	戸越台中学校9年生*	戸越台中学校	95
5.3.23	平塚橋	平塚橋ゆうゆうプラザ受付	平塚橋ゆうゆうプラザ	2

*はレベルアップ事業

4. 高齢者多世代交流支援施設（ゆうゆうプラザ）

1) 各事業参加状況

	項目	日にち・曜日	回数	内容	参加者数
物作り等講座	体操教室	月曜日	22	足腰の体操を中心とした体操	246
	らくらく体操	水曜日	46	体と頭の体操	568
	クラフトバンド	土曜日	11	クラフトバンドを用いたかご編み等	141
	布ぞうり	水曜日	11	布ぞうりの作成	96
	手芸	水曜日	18	編み物の作成	77
	親子リトミック	土曜日	12	親子でリトミック	97
	いきいきリズム体操	土曜日	6	リズムに合わせた体操、ストレッチ	71
	書道	12月25日	1	子ども対象の書道教室	7
	メイク講座	4月3日 4月10日	2	多世代対象のメイク講座	18
高齢者介護等事業	ミニデイ卒業体操	水曜日	24	地域ミニデイ参加者が引き続き介護予防に取り組む体操	24
	つながりサロン	火曜日	49	体操、脳トレ	540
その他	もりあげ隊	4月3日	4	地域住民で地域を「盛り上げる」	24
	人生まだまだ彩りまショー	1月20日	1	思い出の品を身に着けて、思い出をスピーチする	30
	マジックショー	7月27日	1	ボランティアによるマジックショー	22

介護者教室	11月18日	1	在宅での介護者対象のリフレッシュ教室	6
キットパス	6月～2月	3	「キットパス」(食べても安心のクレヨン)を使用して窓ガラスに絵を描く	10
今年の漢字一文字	12月	1	「今年の漢字一文字」を予想し、応募してもらう	30
フラダンス	12月24日	1	フラダンス	59
利用者アンケート	3月	1	施設サービス、コロナ対策などについてのアンケート実施	70
合同作品展	2月15日 ～21日	1	登録団体、自主事業講座の作品発表	—
ミニ作品展	不定期	1	書道・世界アルツハイマー週間・保育園児の作品・スクラッチアート	—
脳活(3種類)	月1回 (塗り絵は2回)	47	大人の塗り絵・川柳・音楽鑑賞	272

2) 地域ミニデイ実施状況

開催回数	延べ参加人数
50	379名

3) 利用者状況

		4月	5月	6月	7月	8月
目的内 利用者数 (高齢者)	男	293	252	232	317	233
	女	1,011	964	888	964	737
	計	1,304	1,216	1,120	1,281	970
	1日平均人数	59	61	56	64	49
新規登録者数	男	—	2	1	2	2
	女	2	6	6	14	7
	計	2	8	7	16	9
新規登録団体数		—	—	—	2	1
入浴者数 (火曜日・金曜日)	男	91	93	90	86	86
	女	94	90	91	98	104
	計	185	183	181	184	190
	1日平均人数	26	26	26	26	27
マッサージ (第1・3水曜日)	男	5	5	3	2	—
	女	25	25	26	26	—
	計	30	30	29	28	—
部屋別稼働率 午前 (%)	レクリエーション室	71.4	67.7	76.7	83.9	83.9
	コミュニティ室1	70.0	60.7	70.0	54.8	41.9
	コミュニティ室2	43.3	29.6	43.3	32.3	9.7
	コミュニティ室3	30.0	16.1	33.3	22.6	9.7
	スタジオ1	13.3	6.5	10.0	38.7	6.5
	スタジオ2	16.7	16.1	20.0	38.7	12.9
部屋別稼働率 午後 (%)	レクリエーション室	78.6	67.9	75.0	87.1	45.2
	コミュニティ室1	63.3	63.3	83.3	67.7	35.5
	コミュニティ室2	69.0	51.7	53.3	45.2	36.7
	コミュニティ室3	26.7	32.3	53.3	22.6	19.4
	スタジオ1	23.3	17.9	26.7	48.4	29.0
	スタジオ2	3.3	3.3	3.3	54.8	3.2
部屋別稼働率 夜間 (%)	レクリエーション室	3.8	0.0	15.4	36.0	26.9
	コミュニティ室1	—	—	—	—	—
	コミュニティ室2	—	—	3.8	—	3.8
	コミュニティ室3	3.8	—	—	—	—
	スタジオ1	19.2	13.0	11.5	24.0	26.9
	スタジオ2	3.8	—	—	—	3.8
部屋別稼働率 合計 (%)		30.7	26.5	33.3	38.3	22.6
自主事業 (ゆうゆうプラザ主催分)		253	189	224	225	217
品川区事業		406	366	456	390	285
目的外利用者数 (区事業・高齢者団体以外等)		249	228	327	362	181
総利用者数 (延人数)		2,233	2,017	2,152	2,286	1,672
言語・聴覚 相談件数	聞こえの障害 (第1・3木曜日)	1	1	—	—	—
	子ども (第2・4火・木曜日)	15	15	19	22	13
	言葉の障害 (第2・4火曜日)	1	2	3	4	4
	飲み込みの障害 (第1・3木曜日)	—	—	3	2	1
	高次脳機能障害 (第1～4土曜日)	4	—	—	—	1
	計	21	18	25	28	19

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	平均
	225	303	383	369	300	420	411	3,738	311.5
	852	1,001	1,217	1,102	998	1,113	1,186	12,033	1,002.8
	1,077	1,304	1,600	1,471	1,298	1,533	1,597	14,174	1,181.2
	54	65	80	74	65	77	80		65.2
	3	6	6	4	8	2	2	38	3.2
	5	5	5	7	12	9	10	88	7.3
	8	11	11	11	20	11	12	126	10.5
	—	—	1	—	—	—	—	4	0.3
	84	72	102	84	89	94	89	1,060	88.3
	89	97	103	94	93	92	94	1,139	94.9
	173	169	205	178	182	186	183	2,199	183.3
	25	24	29	25	26	27	26		26.2
	4	3	5	5	—	5	3	40	3.3
	26	22	23	24	—	24	27	248	20.7
	30	25	28	29	—	29	30	288	24.0
	86.7	87.1	96.6	89.3	82.1	85.7	90.3		83.5
	53.3	54.8	48.3	46.4	50.0	57.1	48.4		54.6
	26.7	45.2	42.9	39.3	21.4	32.1	29.0		32.9
	23.3	35.5	27.6	28.6	32.1	35.7	35.5		27.5
	6.7	25.8	48.3	46.4	39.3	53.6	48.4		28.6
	13.3	32.3	48.3	53.6	42.9	53.6	48.4		33.1
	73.3	83.9	72.4	92.9	71.4	67.9	71.0		73.9
	60.0	67.7	72.4	71.4	60.7	64.3	64.5		64.5
	53.3	58.1	58.6	57.1	50.0	57.1	61.3		54.3
	46.7	51.6	44.8	35.7	32.1	50.0	41.9		38.1
	26.7	51.6	58.6	64.3	50.0	67.9	61.3		43.8
	6.7	32.3	69.0	71.4	53.6	60.7	67.7		35.8
	24.0	44.0	45.8	16.7	43.5	45.5	15.4		26.4
	12.0	16.0	8.3	—	4.3	—	—		3.4
	8.0	12.0	16.7	—	13.0	4.5	3.8		5.5
	4.0	4.0	—	—	—	4.5	—		1.4
	24.0	24.0	8.3	71.4	4.3	18.2	23.1		22.3
	4.0	—	—	—	—	—	—		1.0
	68.2	42.0	44.4	41.5	37.8	44.4	41.3		39.3
	235	243	235	260	221	285	188	2,775	231.3
	316	392	396	374	317	426	467	4,591	382.6
	400	447	396	221	241	234	287	3,573	297.8
	2,056	2,411	2,650	2,352	2,102	2,497	2,563	26,991	2,249.3
	2	—	—	1	1	—	—	6	0.5
	20	18	15	16	16	13	15	197	16.4
	5	2	3	4	3	4	3	38	3.2
	—	2	—	—	—	—	2	10	0.8
	1	3	5	5	5	2	4	30	2.5
	28	25	23	26	25	19	24	281	23.4

5. 防災

1) 防災委員会の開催

(成 幸)

開催日	検討内容
4.4.7	区役所閉庁時における地震発生時の被害状況確認について
4.5.19	緊急事態によるエレベーター停止時の対応について
4.6.23	非常食について
4.7.21	災害発生時の感染物品について
4.8.18	扇風機の24時間連続使用における安全性について
4.9.15	備蓄品の使用期限について
4.10.20	停電時のシミュレーションを行う
4.11.17	福祉避難所について
4.12.15	B C P策定について
5.1.19	防災訓練と福祉避難所について
5.2.16	しながわ防災学校による研修について
5.3.16	荏原警察署を招いての防災訓練および町会の方を招いての合同防災訓練について

(戸越台)

開催日	検討内容
4.4.7	令和4年度防災訓練実施計画、災害時の緊急連絡網の確認
4.5.19	館内の防災設備把握と防災用品の確認
4.6.2	緊急連絡網の対応について、B C P計画書の確認
4.7.21	福祉避難所、職員応援体制について
4.8.18	総合防災訓練内容の確認、戸越台中学校、町会との合同訓練について
4.9.15	法定電気点検の停電時の対応について
4.10.20	総合防災訓練実施後の評価、館内防火用品・非常食確認
4.11.17	自衛消防隊の組織業務適正による表彰について
4.12.22	防火管理者再講習内容について
5.1.19	大規模災害時の品川区防災課との連絡手段、I P無線機設置
5.2.16	自衛消防技術認定資格保持者（中核要員）変更
5.3.23	防火対象物点検報告について

(荏原)

開催日	検討内容
4.4.1	防火管理者、各種訓練について
4.5.9	令和4年法定電気点検に伴う全館停電の実施について
4.6.16	5月全館停電の状況報告、防火対象物定期点検について
4.7.21	荏原ホーム消防計画、緊急連絡網の作成について
4.8.18	荏原ホーム消防計画完成報告
4.9.15	トラッキング火災の防止について
4.10.20	荏原複合施設自衛消防訓練について
4.11.17	福祉避難所について、荏原複合施設自衛消防訓練実施の報告
4.12.15	火災予防について
5.1.19	福祉避難所開設について
5.2.16	自衛消防活動中核要員制度について 「しながわ防災学校」 報告
5.3.16	道路交通法（令和5年4月1日以降）の改定について

(平塚橋)

開催日	検討内容
4.4.7	緊急電話連絡網について、非常時必要物品について
4.5.6	備蓄品について
4.6.2	福祉避難所について、防火管理者研修受講について
4.7.7	4階ベランダ入り口非常用のカギ交換、清掃について
4.8.4	延長コードが焦げていた箇所の報告、対応方法について
4.9.1	総合防災訓練の内容について
4.10.6	防災計画検討、備蓄食料の入れ替えについて
4.11.10	町会との合同防災訓練内容確認
4.12.1	合同防災訓練実施確認
5.1.5	合同防災訓練実施内容確認
5.2.16	BCP内容確認
5.3.2	BCP机上訓練

2) 防災訓練の実施

今年度も下表の防災訓練を実施した。

○防災訓練等の実施状況

(成 幸)

実施日	訓練内容
4.4.28	火災通報装置・非常通報装置の使い方(14名)
4.5.25	初期消火、消火器の使い方、消火栓の使い方(12名)
4.6.29	2階避難経路の確認、誘導訓練(10名)
4.7.28	夜間災害時の連絡と対応について、区への報告、管理者からの状況確認(10名)
4.8.25	防災週間の周知、広報。福祉避難所としての物品管理、使用の周知(13名)
4.9.29	災害時の行政(品川区)への連絡方法、非常用発電機の使用法、物品の使い方など(10名)
4.10.31	B C Pに基づく緊急時の対応、発電機の操作法(12名)
4.12.17	福祉避難所としての役割と機能の確認、備蓄品および保管場所の確認(9名)
5.1.26	デイサービスから出火したときの訓練、避難口の確認、消火器具・設備について(16名)
5.3.22	荏原警察署担当者の講義、福祉避難所、品川区避難支援個別計画についての説明、110番通報装置説明、デイを出火元と想定した避難訓練(15名)
5.3.27	町会と合同の防災訓練、福祉避難所について、品川区避難支援個別計画について、デイを出火元と想定した避難訓練(18名)

(戸越台)

実施日	訓練内容
4.4.28	館内防災設備の説明(集中管理システム、機器等の説明)(7名)
4.5.26	館内防災設備の説明(集中管理システム、機器等の説明)(8名)
4.6.2	勤務時間外緊急連絡網の手順について(9名)
4.7.20	自衛消防訓練、避難・誘導・通報、A E D使用法を学ぶ(15名)
4.8.25	スプリンクラー設備の使用について(8名)
4.9.1	総合防災訓練、避難誘導訓練、自衛消防訓練、消火器・1号消火栓による放水訓練(120名)
4.9.29	心肺蘇生、A E D使用による救命の手順(12名)
4.10.27	新型コロナウイルス感染症発生により中止
4.11.7	緊急時の無線機使用、非常放送設備の使用訓練(12名)
4.12.11	大規模災害時の福祉避難所の対応について(8名)
5.1.28	非常食などの備蓄品の確認、利用者への提供方法について(10名)
5.2.27	夜間想定自衛消防訓練(8名)

(荏原)

実施日	訓練内容
4.4.21	荏原ホーム館内の防火設備について・夜間火災発生時の通報連絡について (11名)
4.5.26	東京消防庁HPより「着衣着火にご用心」消毒用アルコールの取り扱いについて (12名)
4.6.23	地下駐車場にて消火栓を使った放水訓練 (12名)
4.7.28	「地震その時10のポイント」を使った地震の際の行動確認 (11名)
4.8.	新型コロナウイルス感染症のため中止
4.9.22	ホーム内スプリンクラー制御室の場所確認、停止の際のバルブ操作について (11名)
4.10.26	荏原複合施設、合同防災訓練実施 (15名)
4.11.24	合同防災訓練実施報告 (11名)
4.12.22	電子レンジ火災について、119番通報手順の確認 (11名)
5.1.26	1Fフロア内の消火器、消火栓の設置個所および台数について (11名)
5.2.22	東京消防庁HPより「ネットで自衛消防訓練」の紹介 (11名)
5.3.23	防災訓練実施内容報告 (12名)

(平塚橋)

実施日	訓練内容
4.4.28	館内防災設備確認 (7名)
4.5.30	館内防災設備確認 (5名)
4.6.1	避難経路、通報機器の確認 備蓄品に関して情報共有 (2名)
4.7.1	避難方法、避難経路の確認、消火設備の確認 (10名)
4.8.1	備蓄品確認、状態、期限など確認 (2名)
4.9.30	1階事務所の非常業務用放送設備説明、避難経路 (窓の開放方法の確認) (3名)
4.10.31	5階備蓄品の確認 (3名)
4.11.5	2～4階各ユニットの備蓄品確認 (日付、状況) (3名)
4.12.9	町会との合同訓練 (認知症、避難に利用する器具について、避難経路、備蓄品の確認、消防署より講評) (10名)
5.1.25	避難経路の確認 (2名)
5.2.1	避難経路の確認 (2名)
5.3.31	防火設備確認 (2名)

6. 委員会活動

1) 苦情解決・サービス向上委員会

(成 幸)

開催日	内 容
4.6.16	1. 新型コロナウイルス感染症についての報告 2. 事故報告 3. 委員からの助言、意見など
4.9.15	1. 新型コロナウイルス感染症についての報告 2. 事故報告 3. 委員からの助言、意見など
4.12.15	1. 支援センター職員による接触事故報告 2. ショートステイ事故報告 3. 法人40周年の報告 4. 外国人採用について 5. 委員からの助言、意見など
4.3.16	1. 新型コロナウイルス感染症の発生報告 2. 事故報告 3. 第三者評価の結果報告 4. 家族懇談会の実施報告 5. 委員からの助言、意見など

(戸越台)

開催日	内 容
4.6.14	1. 新型コロナウイルス感染症対策について 2. 工事関係について 3. 委員からの助言、意見など
4.9.27	1. 新型コロナウイルス感染症対策について 2. 苦情・車両事故等について 3. 委員からの助言、意見など
4.12.13	1. 新型コロナウイルス感染症対策について 2. 苦情等について 3. 委員からの助言、意見など
5.3.14	1. 新型コロナウイルス対策について 2. お知らせ (40周年記念誌完成・来年度の体制) 3. 委員からの助言、意見など

(荏原・小山)

開催日	内容
4.6.15	1. 新型コロナワクチン接種の報告 2. 感染症対策についての報告 3. 委員からの助言、意見など
4.9.21	1. 新型コロナウイルス感染症の発生報告 2. 苦情の報告 3. 委員からの助言、意見など
4.12.21	1. ボランティア再開の報告 2. 特養、ショートステイより事故報告 3. 委員からの助言、意見など
5.3.15	1. 新型コロナウイルス感染症の発生報告 2. ショートステイ、デイサービスより事故報告 3. 委員からの助言、意見など

(平塚橋)

開催日	内容
4.6.16	1. 新型コロナウイルス感染症についての報告 2. 経営改善プロジェクトについての経過報告 3. 三徳会40周年について 4. 委員からの助言、意見など
4.9.15	1. 新型コロナウイルス感染症についての報告 2. 介護報酬改定（介護職員等ベースアップ等支援加算）について 3. 外国人介護職員採用について 4. 委員からの助言、意見など
4.12.16	施設内での新型コロナ感染症発生により中止
5.3.16	1. 新型コロナウイルス感染症感染状況についての報告 2. 不在者投票について 3. 委員からの助言、意見など

2) 安全衛生委員会

(成 幸)

[構成：産業医、施設長、衛生管理者、衛生委員6人]

開催日	会議内容
4.4.6	職員体調確認、新年度の安全衛生管理計画について、新型コロナウイルス感染症発生報告
4.5.11	職員体調確認、利用者の面会方法について、移乗用リフトの点検
4.6.21	合同開催 各施設の状況を報告、産業医変更について
4.7.19	職員体調確認、夜勤者健康診断の結果について
4.8.16	職員体調確認、新型コロナウイルス感染症発生報告、新型コロナウイルスワクチン接種について
4.9.6	職員体調確認、新型コロナウイルス感染症発生報告、腰痛予防研修、外国人（特定技能）雇用について
4.10.18	職員体調確認、喫煙場所の確保
4.11.15	職員体調確認、新型コロナウイルス感染症発生報告、インフルエンザ予防接種、職員健康診断
4.12.20	職員体調確認、健康診断結果報告 新型コロナウイルス感染症発生報告
5.1.17	職員体調確認、新型コロナウイルスワクチン接種について、新型コロナウイルス感染症発生報告
5.2.21	職員体調確認、ストレスチェック、
5.3.14	職員体調確認、マスク着用について、家族懇談会報告

(戸越台)

[構成：産業医、施設長、衛生管理者、衛生委員6人]

開催日	会議内容
4.4.6	職員体調確認、感染症予防対策、結核の報告、高ストレス者について
4.5.11	職員体調確認、感染症予防対策、結核の報告、人材確保について
4.6.21	合同開催 各施設の状況を報告、産業医変更について
4.7.19	職員体調確認、食中毒対策、感染症予防対策、超過勤務、面会の状況
4.8.16	職員体調確認、感染症・熱中症・食中毒予防対策、面会時の状況、利用者健康診断について
4.9.6	職員体調確認、感染症・食中毒予防対策、結核の経過報告について
4.10.18	職員体調確認、感染症予防対策、健康診断実施の報告、歯科検診実施の報告、面会の状況報告について
4.11.15	職員体調確認、ホーム利用者クラスター発生報告、インフルエンザ予防接種、ストレスチェックについて
4.12.20	職員体調確認、健康診断の経過報告、ノロウイルス・新型コロナウイルス感染症対策、面会の状況について
5.1.7	職員体調確認、ノロウイルス・新型コロナウイルス感染症対策、ストレスチェック、面会の状況について
5.2.21	職員体調確認、感染症対策、職員健康診断の報告、面会の状況について
5.3.14	職員体調確認、感染症対策、職員健康診断要医療者の経過、外国人労働者について、感染症予防の注意喚起

(荏原)

[構成：産業医、施設長、衛生管理者、衛生委員7人]

開催日	会議内容
4.4.6	職員体調確認、新型コロナウイルス感染症発生報告
4.5.11	職員体調確認、新型コロナウイルス感染症発生報告
4.6.21	合同開催 各施設の状況を報告、産業医変更について
4.7.19	職員体調確認、産業医へ荏原拠点の説明
4.8.16	職員体調確認、新型コロナウイルス感染症発生報告、感染予防の注意喚起
4.9.6	職員体調確認、新型コロナウイルス感染症発生報告
4.10.18	職員体調確認、職員健診について
4.11.15	職員体調確認、インフルエンザ予防接種について
4.12.20	職員体調確認、ストレスチェックについて
5.1.17	職員体調確認、感染予防の注意喚起
5.2.21	職員体調確認、ストレスチェックについて
5.3.14	職員体調確認、職員通勤途中の交通事故について

(平塚橋)

[構成：産業医、施設長、衛生管理者、衛生委員6人]

開催日	会議内容
4.4.6	職員体調確認
4.5.11	職員体調確認、冷蔵庫チェック、水分補給の重要性
4.6.21	合同開催 各施設の状況を報告、産業医変更について
4.7.19	職員体調確認、利用者コロナワクチン
4.8.16	職員体調確認、職員コロナウイルス感染症陽性報告
4.9.6	職員体調確認、職員コロナウイルス感染症陽性報告、腰痛対策
4.10.18	職員体調確認職員状況報告
4.11.15	職員体調確認
4.12.20	施設内新型コロナウイルス感染症発生状況
5.1.7	施設内新型コロナウイルス感染症発生状況
5.2.21	職員体調確認、12、1月の新型コロナ感染症の経過、ノロウイルス感染症の対応、ストレスチェック結果
5.3.14	職員体調確認、今後の新型コロナウイルス感染症対応、面会対応方法

3) 給食委員会

新型コロナウイルス感染症のため利用者参加は規模を縮小または中止とした。

(成 幸)

開催日	活動内容
4.4.14	水分払い出し、ご逝去時の食事箋提出、トロミについて
4.5.12	お楽しみ食の天ぷら（種類、かたさ）について、異物混入について
4.6.9	新しいコップの検討、カップシート異食の代替えについて
4.7.14	牛乳トロミの代替えについて、主食小盛対応用の茶碗について
4.8.18	摂取状況に合わせた形状での提供、食事のかたさについて
4.9.8	朝食の検食担当変更、温冷配膳車の入替、献立表について
4.10.13	全館停電の確認、補助食品について、正月料理の加算について
4.11.10	お正月料理、カップシートの代替え、ソフト食（酸味）について
4.12.8	お粥の水分、ペースト食、デザート（かたさ）、新米の行事について
5.1.12	正月料理の感想、粥ペーストの検食、感染対応について
5.2.9	備蓄用補助食品の提供について、七草粥・小豆粥について
5.3.9	食事（味・かたさ）について、選択食（丼・麺）の汁物について

(戸越台)

開催日	活動内容
4.4.6	利用者の意見、電子レンジ使用の際の注意点、魚のかたさ
4.5.13	利用者の意見、情報共有の大切さについて、おやつについて
4.6.8	利用者の意見、薬使用時の器、電子レンジ対応の食器について
4.7.8	利用者の意見、西瓜割りについて、そうめんの時の配慮について
4.8.12	利用者の意見、お粥のかたさ、行事食、感染予防について
4.9.9	利用者の意見、あんかけ焼きそば、食事のかたさについて
4.10.11	利用者の意見、豚肉のピカタ、ソフト食、行事食の意見交換
4.11.11	利用者の意見、年末年始の確認、餅の形態調査、感染症について
4.12.9	利用者の意見、とろみの状態、感染症勉強会について
5.1.13	利用者の意見、年末年始の評価、バナナについて
5.2.14	利用者の意見、来年度の予定、食事・残菜調査について
5.3.10	利用者の意見、補助食品について、行事食のやり方について確認

(荏原)

開催日	活動内容
4.4.14	食器の補充や提供方法、給食委託業者の人事異動について
4.5.12	利用者からの声の聴取、停電に伴う食事提供について
4.6.9	個別デリバリーの実施、嗜好品の考え方について
4.7.14	メニュー変更の周知について、暑い日のおやつ提供について
4.8.4	(書面開催)夏の行事(西瓜割り大会)、職員食の器の変更について
4.9.8	禁忌食品への対応の周知、夏の行事(かき氷大会)について
4.10.13	魚料理の提供、新米の提供について
4.11.10	検食提供の周知、食事提供に関する事故について
4.12.8	おやつ提供時間、職員食の提供方法について
5.1.12	正月料理の感想、一時移転に伴う小山の家の食事提供について
5.2.9	在宅での個別対応、鳥インフルエンザの影響について
5.3.9	感染症への対応、季節の行事にちなんだ食事、次年度の資料配布について

(平塚橋)

開催日	活動内容
4.4.14	新型コロナウイルスのため書面での開催 感染対応について
4.5.12	感染症対策、消毒について、各ユニットの冷蔵庫チェック
4.6.9	ソフト食や食形態について、水分補給について
4.7.14	季節の変わり目による食品管理について
4.8.12	水分補給、ユニット冷蔵庫管理について
4.9.8	お米の保管方法について、新しい箸への変更について
4.10.13	配膳時間について 禁止食の見直しについて
4.11.10	残食調査について、食事変更の時間について
4.12.8	ユニットでの盛付け方法や衛生管理について
5.1.12	配膳食品の保管について、衛生管理について
5.2.9	感染症予防について、残食調査について
5.3.9	食札の修正および変更について

7. その他

1) 研修報告

令和4年度は新型コロナウイルス感染症のため主にリモートによる研修に参加した。

※リモート研修は*で表記

施設外研修

(成 幸)

年	月	日	研 修 会 名	人数 (人)
4	7	5	令和4年度1期東京都介護支援専門員専門研修課程Ⅱ*	1
		13	品川福祉カレッジ ケアマネジメント講座①*	2
	8	10	品川福祉カレッジ ケアマネジメント講座②*	2
	9	12	栄養ケア・マネジメント研修会*	1
		27	生活支援記録法【F-SOAIP】研修①*	1
		27	東京都福祉保健財団 「高齢者の車いす」	1
	10	7	主任介護支援専門員更新研修1回目 東京都「リハビリテーション及び福祉用具活用に関する実例」*	1
		7	全国社会福祉協議会 「国際福祉機器展」	2
		17~18	令和4年度「中堅職員研修」*	1
		20	ケアプランサポート研修	1
		25	東京都福祉保健財団 「歩行補助具の選び方と使い方」	1
		29	主任介護支援専門員更新研修2回目 東京都「看取り等における看護サービスの活用に関する実例」*	1
		29	東京都「認知症に関する実例」*	1
	11	10	品川福祉カレッジ ケアマネジメント講座③*	2
		14	主任介護支援専門員更新研修3回目 東京都「入退院等における医療との連携に関する実例」*	1
		14	主任介護支援専門員更新研修3回目 東京都「家族への支援視点が必要な実例」*	1
		16	東京都 高齢者虐待防止研修	1
		24	品川区 高齢者虐待における集合研修	1
		25	生活支援記録法【F-SOAIP】研修②*	1
		29	日本環境感染学会「介護施設における新型コロナウイルス感染症への対応」*	1
		29	精神保健福祉研修「ストレングスモデルを用いた伴走型支援」*	1
	12	1	高齢者福祉施設におけるサービスマナー研修会*	5
		2	精神保健福祉研修「家族支援研修1」*	1
		6	品川区 身体拘束廃止研修	2
		7	主任介護支援専門員更新研修4回目 東京都「社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する実例」*	1
		7	主任介護支援専門員更新研修4回目 東京都「状態に応じた多様なサービスの活用に関する実例」*	1

5	1	20	精神保健福祉研修「トラウマのある人の理解と支援」＊	1
	2	2	東京都福祉保健財団 自立支援・介護予防に向けた地域ケアアドバイザー養成研修①＊	1
		14	東京都福祉保健財団 自立支援・介護予防に向けた地域ケアアドバイザー養成研修②＊	1
		20	しながわ防災学校「福祉避難所のイメージ」と「在宅避難における備え」＊	5
		21	品川区 「高齢者虐待の基礎知識と対応のヒントを学ぶ」＊	1
		21	しながわ防災学校「福祉避難所のイメージ」と「在宅避難における備え」＊	5
	3	3	品川区 「ヤングケアラーのためにできること」	1
		15	介護予防ケアマネジメント研修	2
			計	52

施設外研修

(戸越台)

年	月	日	研 修 会 名	人数 (人)
4	4	26, 27	品川区 高齢者総合支援システム研修	1
	6	7	東京都高齢者福祉施設協議会 職員研修会 栄養研修委員会	1
		13	品川福祉カレッジ 認知症ケア専門ケース「いろいろな認知症をよく知ろう」＊	3
		13	給食施設管理講習会 アレルギーの最新情報と給食施設の対応＊	1
		16	品川区 高齢者虐待予防基礎研修＊	1
	7	7, 8	東京都地域包括支援センター職員 初任者研修＊	1
		13	品川福祉カレッジ ケアマネジメント講座①＊	3
8		10, 11/10	品川福祉カレッジ ケアマネジメント講座②＊	3
		26～10/11	東京都社会福祉協議会 福祉現場におけるハラスメント対応の実務＊	1
		26～10/11	東京都社会福祉協議会 管理職のためのメンタルヘルス講習会＊	1
9		12	栄養ケアマネジメント研修会	1
		19, 10/1, 9, 13	東京都介護支援専門員専門研修課程Ⅱ	1
		27, 11/25	生活支援記録法【F-SOAIP】研修①＊	2
		27, 11/29	生活支援記録法【F-SOAIP】研修②＊	2
		27	福祉用具サービス事業従事者講習①	1
		30	結核患者支援講習会	1
10		2, 11, 22, 29, 11/18, 26	第2期 東京都介護支援専門員専門研修課程Ⅰ	1
		7	全国社会福祉協議会 「国際福祉機器展」	1
		20	品川区 ケアマネジメントの質の向上研修会	1
		21	品川区 ケアマネジメントの質の向上研修会	1
		25	福祉用具サービス事業従事者講習②	1
11		16	東京都 高齢者虐待防止研修	1
		17	品川区ゲートキーパー研修 初級～中級編	2

	17, 18	東京都地域包括支援センター職員研修 現任者研修	1
	25, 12/12, 19, 25	東京都介護支援専門員専門研修課程Ⅱ	1
	29	日本環境感染学会「介護施設における新型コロナウイルス感染症への対応」*	2
12	6	品川区 身体拘束廃止研修	2
	7	医療・福祉事業所内メンタルヘルスケア研修	1
	19	甲種防火管理再講習	1
5	1	第5回認知症対応サービス事業管理者研修 現任者研修*	1
	17	品川区 「自立支援・重度化防止のために」	1
	20	品川区 「自立支援・重度化防止のために」	2
2	20	しながわ防災学校「福祉避難所のイメージ」と「委託避難における備え」*	7
	21	品川区 「高齢者虐待の基礎知識と対応のヒントを学ぶ」*	1
3	16	品川福祉カレッジ「認知症の人と共によりよく生きる地域づくり」*	3
		計	55

施設外研修

(荏原・小山)

年	月	日	研 修 会 名	人数 (人)
4	4	26, 27	品川区高齢者総合支援システム研修	2
	5	19	生活支援記録法初心者向け編*	1
	6	4	品川区認定調査員新規研修*	1
		6~20	東京都社会福祉協議会LIFEの意義と必要性*	1
		16	品川区高齢者虐待予防基礎研修*	2
	7	13	品川福祉カレッジケアマネジメント講座①*	7
		21	品川区福祉カレッジ医療・リハビリテーション講座①*	1
		26	ケアカルテセミナー2022	2
	8	10, 11/10	品川福祉カレッジ ケアマネジメント講座②*	7
		26~10/11	東京都社会福祉協議会福祉現場におけるハラスメント対応の実務*	5
		26~10/11	東京都社会福祉協議会管理職のためのメンタルヘルス講習会*	6
		26~10/11	東京都社会福祉協議会職場内研修担当になった時に必要な基礎知識*	1
		26~10/11	東京都社会福祉協議会リスクマネジメント研修*	1
	9	2, 22, 30, 10/11, 18, 30, 11/11, 17, 26, 12/6	第1期東京都主任介護支援専門員研修*	1
		13, 14	東京都相談支援従事者初任者研修*	1
		26, 10/17, 27, 11/3	第1期東京都介護支援専門員専門研修課程Ⅱ	2
		27, 11/25	生活支援記録法【F-SOAIP】研修①*	4
		30, 11/29	生活支援記録法【F-SOAIP】研修②*	5

5	10	4, 23, 11/10, 29	第1期東京都主任介護支援専門員更新研修*	1		
		5	東京都福祉保健財団区市町村職員等高齢者権利擁護研修①	1		
		8	HUG研修	1		
		20	品川区第2回ケアプランサポート研修	1		
		22, 11/10, 19, 24	第1期東京都介護支援専門員専門研修課程Ⅱ*	1		
		26	品川区福祉カレッジ医療・リハビリテーション講座②*	2		
		26, 27	防火・防災管理新規講習	1		
		11	9~12/23	東京都福祉保健財団外国人従事者指導担当者向け研修*	1	
			21~12/16	ケアプラン作成とライフ加算マネジメント	1	
			16	東京都高齢者虐待防止研修	1	
			25	生活支援記録法【F-SOAIIP】研修③*	1	
		12	1~1/16	東京都社会福祉協議会「部下・後輩を育てるコーチング」*	1	
			6	品川区身体拘束廃止研修	2	
			8	東京都福祉保健財団介護サービス事業管理者高齢者権利擁護研修	3	
			16	福祉医療機構社会福祉法人会計実務セミナー	1	
		5	1	11, 21, 2/9, 18, 24, 3/9	第3期東京都介護支援専門員専門研修課程Ⅰ*	1
				13, 3/17	品川区適切なケアマネジメント手法疾患別ケア研修*	3
			17	品川区「自立支援・重度化防止のために」	1	
			26, 2/9, 23, 3/2	第1期東京都介護支援専門員専門研修課程Ⅱ*	1	
			2	2	東京都福祉保健財団施設職員向け福祉用具講習会	1
20, 21	しながわ防災学校*			20		
3	2	東京都安全運転管理者講習	1			
			計	97		

施設外研修

(平塚橋)

年	月	日	研 修 会 名	人数 (人)	
4	5	2	東京都社会福祉協議会 LIFEの意義と必要性*	1	
		12	品川区環境法令研修*	1	
		28, 29	防火・防災管理新規講習	1	
	10	7	全国社会福祉協議会「国際福祉機器展」	1	
	11	16	東京都高齢者虐待防止研修	1	
		29	東京都高齢者虐待防止研修③	1	
	12	6	品川区身体拘束研修	1	
	5	2	8	品川区虐待防止研修	1
			10	東京都心理的安全性を高めるためのカウンセリング型「10N1」	1
3	6~20	東京都機能訓練計画書の作成から訓練の展開と評価*	1		
			計	10	

法人勉強会（成幸・戸越台・荏原・平塚橋）

令和4年度は法人組織と運営について階層別研修を実施した。

年	月	日	研修会名	内 容	担当・講師
4	10	14	法人勉強会 (経営層)	内部統制と予算管理 ～予算は内部統制機能を持つ～	(株)福祉会計サービスセンター 宮内眞木子
		11	17	法人勉強会 (課長・事務)	内部統制と予算管理 ～予算は内部統制機能を持つ～
5	3	1	法人勉強会 (リーダー職員)	令和4年度東京都事業者支援 「組織について」	(株)エイデル研究所経営支援部 川崎理代
		9	法人勉強会 (一般職員)	令和4年度東京都事業者支援 「組織について」	(株)エイデル研究所経営支援部 川崎理代

施設内研修 (成 幸)

年	月	日	研修会名	内 容	担当・講師
4	4	1～5/31	オンライン動画 研 修	褥瘡予防 リスクマネジメント 記録・情報	ジョブメドレー アカデミー
		28	サービス研究会	令和4年度のサービス計画	施 設 長
	5	26	サービス研究会	腰痛予防について	医 務 訓 練 室
	6	30	サービス研究会	食中毒予防について	栄 養 室
		1～7/31	オンライン動画 研 修	身体拘束廃止 高齢者虐待防止	ジョブメドレー アカデミー
	7	28	サービス研究会	高齢者虐待について	課 長
	8	25	サービス研究会	看取り介護～専門職の視点から～について	課 長
	9	22	サービス研究会	これだけは知っておきたい感染症の基礎 知識	医 務 訓 練 室
	10	27	サービス研究会	多様な人材が介護を支える	施 設 長
		1～10/31	オンライン動画 研 修	リスクマネジメント②	ジョブメドレー アカデミー
	11	24	サービス研究会	適切なケアマネジメント手法	成幸支援センター
		1～11/30	オンライン動画 研 修	身体拘束廃止② 高齢者虐待②	ジョブメドレー アカデミー
	12	16	サービス研究会	介護事業所におけるサービスマナーとス トレスコーピング	生活サービス室
		22	サービス研究会	F-SOAIP 多職種の実践を可視化 する新しい経過記録	デイサービス
5	1	1～3/31	オンライン動画 研 修	プライバシー保護 認知症ケア	ジョブメドレー アカデミー
		3	23	サービス研究会	事業計画と予算について
		24	合 同 研 修 会	施設でのICT活用	八潮南ホーム・ 中延ホームとの 合同研修
		24	サービス研究会	勤怠等届出について	事 務

施設内研修

(戸越台)

年	月	日	研修会名	内 容	担当・講師
4	4	1～ 5/31	オンライン動画 研 修	褥瘡予防 リスクマネジメント 記録・情報	ジョブメドレー アカデミー
		21	サービス研究会	令和4年度のサービス計画	施 設 長
	5	19	サービス研究会	令和3年度施設ケア実践報告	生活サービス室
	6	1～ 7/31	オンライン動画 研 修	身体拘束廃止 高齢者虐待防止	ジョブメドレー アカデミー
		30	サービス研究会	認知症実践者研修	デイサービス
	7	21	サービス研究会	食中毒・夏バテ予防について	栄 養 室
	8	1～ 9/30	オンライン動画 研 修	感染症対策 看取り研修	ジョブメドレー アカデミー
		18	サービス研究会	「利用者の緊急時の対応について」 AEDを用いた救命処置の流れ	医 務 訓 練 室
	9	15	サービス研究会	「適切なケアマネジメント手法」の 手引き研修	戸越台支援センター
	10	1～ 10/31	オンライン動画 研 修	リスクマネジメント②	ジョブメドレー アカデミー
		20	サービス研究会	介護サービス事業者における高齢者 虐待防止 ～現状把握と対応手順を考える～	施 設 長
	11	1～ 11/30	オンライン動画 研 修	身体拘束廃止② 高齢者虐待防止②	ジョブメドレー アカデミー
		17	サービス研究会	介護センサー機器類の特徴と活用方 法について	生活サービス室
	12	1～ 1/31	オンライン動画 研 修	感染症対策② 看取り研修②	ジョブメドレー アカデミー
		8, 12, 21	施 設 勉 強 会	感染症について（吐物の処理方法）	医務訓練室
		10, 14	施 設 勉 強 会	感染症について（コロナウイルス感染 拡大防止に向けて）	栄養室・在宅サ ービス室
		15	サービス研究会	感染症について	医務訓練室
		27, 28, 30	施 設 勉 強 会	餅や異物がのどにつまった時の対応法	医務訓練室
5	1	19	サービス研究会	在宅サービスについて	杜松支援センター
	2	16	サービス研究会	腰痛の予防と対策	医 務 訓 練 室
		1～ 3/31	オンライン動画 研 修	プライバシー保護 認知症ケア	ジョブメドレー アカデミー
	3	16	サービス研究会	認知症対応型通所介護について	デイサービス
		24	合 同 研 修 会	施設でのICT活用	八潮南ホーム・ 中延ホームとの 合同研修

※毎週日曜日 介護技術勉強会実施

※火・水・金・土曜日 サービスマナー勉強会

※毎週月曜日・木曜日 ケア向上勉強会

施設内研修

(荏原)

年	月	日	研 修 会 名	内 容	担 当 ・ 講 師
4	4	4/1～ 5/31	オンライン動画 研 修	褥瘡予防・リスクマネジメント記録・ 情報	ジョブメドレー アカデミー
		28	サービス研究会	令和4年度の計画を決定	施 設 長
	5	26	サービス研究会	食中毒について 食品衛生の窓【親子 で学ぶ食中毒ずかん】	栄 養 室
	6	6/1～ 7/31	オンライン動画 研 修	身体拘束廃止 高齢者虐待防止	ジョブメドレー アカデミー
		23	サービス研究会	褥瘡とは、新型コロナウイルス感染症 の情報、対策、注意喚起	医 務 室
	7	28	サービス研究会	パート・アルバイトの社会保険加入条 件の変更 その他住宅ローン・保険の 基礎知識	事 務 室
	8	8/1～ 9/30	オンライン動画 研 修	感染症対策 看取り研修	ジョブメドレー アカデミー
		26	サービス研究会	リーダーのための心理的安全性の高い チームの作り方	施 設 長
		22	サービス研究会	社会福祉援助活動の展開過程について	小山台支援センター
	10	10/1～ 11/30	オンライン動画 研 修	リスクマネジメント②	ジョブメドレー アカデミー
		27	サービス研究会	腰痛予防について	訓 練 室
	11	24	サービス研究会	新型コロナウイルス集団感染 現場で の実際	生活サービス室
	12	12/1～ 1/31	オンライン動画 研 修	感染症対策② 看取り研修②	ジョブメドレー アカデミー
		22	サービス研究会	私たちが目指す相談支援専門員の姿～ 障害当事者である本人の生活を支援す るために～	荏原支援センター
5	1	26	サービス研究会	感染予防のため延期	
	2	2/1～ 3/31	オンライン動画 研 修	プライバシー保護 認知症ケア	ジョブメドレー アカデミー
	3	22	サービス研究会	もう一度BPSDのケアを考えてみる ～エビデンスに基づくパーソンセンタ ードケア	小 山 の 家
		23	サービス研究会	カンフォータブルケアのエッセンス	ショートステイ
		24	合同研修会	施設でのICT活用	八潮南ホーム・ 中延ホームとの 合同研修

施設内研修

(平塚橋)

年	月	日	研修会名	内 容	担当・講師
4	4	4/1～ 5/31	オンライン動画 研 修	褥瘡予防・リスクマネジメント 記録・情報	ジョブメドレー アカデミー
		21	サービス研究会	令和4年度計画	施 設 長
	5	26	サービス研究会	人権・虐待	施 設 長
	6	6/1～ 7/31	オンライン動画 研 修	身体拘束廃止 高齢者虐待防止	ジョブメドレー アカデミー
		16	サービス研究会	食中毒	栄 養 室
	7	21	サービス研究会	看取り	医 務 訓 練 室
		8	8/1～ 9/30	オンライン動画 研 修	感染症対策 看取り研修
	18		サービス研究会	社会福祉法人にまつわるお金の話	事 務 室
	9	15	サービス研究会	ストレスマネジメント	生活サービス室
	10	10/1～ 11/30	オンライン動画 研 修	リスクマネジメント②	ジョブメドレー アカデミー
		20	サービス研究会	感染症	医 務 訓 練 室
	11	17	サービス研究会	褥瘡	生活サービス室
12	12/1～ 1/31	オンライン動画 研 修	感染症対策② 看取り研修②	ジョブメドレー アカデミー	
	15	サービス研究会	腰痛	医 務 訓 練 室	
5	1	19	サービス研究会	身体拘束	施設サービス課長
	2	2/1～ 3/31	オンライン動画 研 修	プライバシー保護 認知症ケア	ジョブメドレー アカデミー
		16	サービス研究会	腰痛予防	医 務 訓 練 室
	3	16	サービス研究会	今後のICTについて	施 設 長
24		合 同 研 修 会	施設でのICT活用	八潮南ホーム・ 中延ホームとの 合同研修	

※上記勉強会資料を各ユニットで回覧、休憩室に資料を設置。

2) 実習生受入れ

(単位：人)

区 分	延べ人数	福祉系大学 専門学校等		その他	
		人数	延人数	人数	延人数
成 幸	40	2	37	3	3
戸 越 台	200	3	51	36	149
荏 原	335	14	136	66	199
小山の家	47	6	12	7	35
平 塚 橋	44	2	28	8	16

区 分	主な実習依頼先
成 幸	品川介護福祉専門学校、東京医療保健大学、東京医科大学、 昭和大学医学部附属看護専門学校
戸越台	品川介護福祉専門学校、品川区社会福祉協議会、淑徳短期大学、 東京医療保健大学、女子栄養大学、昭和大学歯学部、 昭和大学医学部附属看護専門学校、東京医科大学
荏 原	品川区社会福祉協議会、品川介護福祉専門学校、日本福祉教育専門学校、 女子栄養大学、東京家政大学、東京家政大学短期大学部、 東京医療保健大学、人間総合科学大学、貞静学園短期大学
小山の家	昭和大学医学部附属看護専門学校、東京女子体育大学、日本体育大学
平塚橋	品川介護福祉専門学校、東京医療保健大学、東京医科大学

※新型コロナウイルス感染症予防のため、例年受入れしている実習を制限した。

3) 見学

入所検討の見学は新型コロナウイルス感染症予防のため、状況によりビデオやパンフレットで案内した。小山の家については、デイサービスの雰囲気や環境をみていただくため見学案内を実施した。

<年間の見学>

(単位：人)

区 分	入所(居)検討 サービス利用前検討	就職検討 職場見学	団体・企業
成 幸	12	13	—
戸越台	26	17	—
荏 原	18	14	—
小山の家	—	—	—
平塚橋	27	11	5

※平塚橋の団体・企業は品川区・他法人高齢者施設

4) 近隣との交流

新型コロナウイルス感染予防のため、地域のイベントや交流事業が中止となった。

【実施した事業】

(戸越台ホーム)

- 令和4年7月5日 戸越台中学校「認知症サポート養成講座」
7月6日 第21回戸越台中学校との七夕交流会
7月11日 荏原第三地区民生委員「認知症サポーターレベルアップ講座」
7月21日 大東京信用組合職員「認知症サポート養成講座」
11月30日 戸越台中学校 職場体験(職員へのインタビュー方式)
12月17日 戸越台中学校とのクリスマスコンサート(リモート演奏会)
令和5年3月14日 戸越台中学校「認知症サポーターレベルアップ講座」

【中止した主な事業】

地域事業：荏原第1・3地区区民まつり、みんな集まれ「ふくしまつり」

職場体験：荏原平塚学園、荏原第五中学校、

小・中学校交流事業：中延小学校、宮前小学校、小山小学校、荏原平塚学園

保育園交流：東戸越保育園、清水台保育園

地域交流：各町会祭礼(盆踊り、神輿)、戸越八幡神社、三谷八幡神社、戸越銀座商店街、平塚橋ゆうゆうプラザ

5) ボランティア事業報告

【ボランティア活動状況】

新型コロナウイルス感染症予防のため、年間を通して一部のボランティアの受け入れ以外は活動を見合わせた。ボランティア活動者へはホームページや「三徳だより」等を郵送するなど広報を行い、活動が可能になったら再開していただけるよう、ボランティア登録を継続している。予定していた施設まつりは開催を見合わせた。

区分	行事名	参加人数(人)
成幸	成幸まつり	開催せず
	クリスマス会	12月18日
戸越台	戸越台まつり	開催せず
	クリスマス会	12月18日
荏原	荏原まつり	開催せず
	クリスマス会	12月25日
平塚橋	合同作品展	2月15日～21日

※成幸、戸越台、荏原はクリスマス会を実施したがボランティアの受入れせず

別表 ボランティア登録状況（定期）

施設名	活動内容	登録人数	活動回数
成 幸	リハビリ	3	週1～2回
	洗濯たたみ	2	週1～3回
	ホーム喫茶・バイキング（民生委員）	11	計11回
	ピアノとアコーディオン	4	月1回
	話し相手	1	週1回
	クラブ手伝い	1	月2回
	ピアノ演奏	1	週1回
戸 越 台	リハビリ	9	週1～2回
	ドライヤー	1	週1～2回
	夕食手伝い	1	週1回
	生花	1	月1回
	車いす清掃	12	月1回
	シーツ交換	4	月1回
	エレクtoon演奏	1	月1回
	三味線演奏紙芝居・歌	6	月1回
	ホーム喫茶（民生委員）	12	月1回
	昼食手伝い	3	週1回
	フロア清掃	4	週2回
	洗濯たたみ	6	週1～2回
	ホーム喫茶	5	月1回
荏 原	デイサービスお茶出し	2	週1回
	ショートステイ話し相手	1	週1回
	デイサービスカラオケ補助	1	週1回
	デイサービス下膳	6	週1回
	ピアノ演奏	3	週1～2回
	縫いもの	1	不定期
	紙芝居	1	週2回
	リハビリ手伝い	3	週1回
小山の家	昼食手伝い	3	なし
	おやつ手伝い	2	週2回
	食後の片づけ手伝い	1	週2回
	散歩介助	2	なし

※ボランティア登録者を掲載（活動実績と異なる）

各施設の実施状況 成幸ホーム：ピアノ演奏 戸越台ホーム：洗濯たたみ、車いす清掃 荏原ホーム、平塚橋ホーム：車いす清掃

6) 令和4年度行事表

(成 幸)

月	日	行 事	場 所
5	3～7	菖蒲湯	浴室
8	13～16	お盆	館内
	18	敬老式典	1階
	20～26	お彼岸	館内
12	18	クリスマス会	2・3・4階
	19～22	デイサービス クリスマス週間	デイサービスセンター
	19, 20, 21	ゆず湯	浴室
2	3	お屠蘇・節分	2・3・4階
3	18～24	お彼岸	館内

(戸越台)

月	日	行 事	場 所
5	2～7	菖蒲湯	浴室
6	22	ランチ会	9階
7	6	七夕(戸越台中学校来園)	7階
	6	七夕会	5・6・7階
8	8	すいか割り	5階
		夏まつり	デイサービスセンター
9	1	総合防災訓練	屋上
	18	敬老式典	8階
	10	お月見	
11	11	ランチ会(デリバリー)	9階
12	14	クリスマスコンサート (戸越台中学校とのリモート演奏)	デイサービスセンター
	18	クリスマス会(特養)	8階
	19～25	ゆず湯	浴室
1	1・3	初詣	8階
	4～10	新年週間	デイサービスセンター
	20～24	作品展	戸越台中学校ランチルーム
2	3	節分(特養)	5・6・7階
	3	節分	デイサービスセンター

(荇原・小山)

月	日	行 事	場 所
5	1	菖蒲湯 (デイサービスセンター5/5~11)	各浴室
6	22	お寿司、天井のデリバリー	3階
7	5	おそばのデリバリー	4階
	7	七夕	3・4階
	1~30	えばら風鈴まつり	荇原全館
	29	すいかわり	3・4階
8	7	かき氷大会 (デイ8/16~18)	特養フロア
9	19	敬老式典	荇原ホーム1階
10	20	荇原複合施設総合防災訓練	全館
11	13	秋のおやつ会	3階・4階
12	12	お寿司のデリバリー	4階
	25	特養クリスマス会	3・4階
	19~24	デイサービス クリスマス週間	デイサービスセンター
	19~21	ゆず湯(デイサービスセンター12/19~24)	各浴室
1	1, 2	初詣	特養
	4~10	デイサービス新春週間	デイサービスセンター
2	3	節分	3階

(平塚橋)

月	日	行 事	場 所
5	4~6	菖蒲湯	浴室
9	14	敬老式典	1階ゆうゆうプラザ館内
12	9	合同防災訓練 (非常用通路確認・ホーム利用者状況等)	1階ゆうゆうプラザ館内
	21~23	ゆず湯	浴室

社会福祉法人 三 徳 会
令和 4 年度事業報告書

令和 5 年 6 月 25 日発行
〒142-0053 東京都品川区中延1-8-7
TEL. 03 (3787) 3616 (代表)

